

観光アンケート調査結果

2024年3月



**観光アンケート調査結果
(2023年7月～2024年2月)**

アンケート調査概要

◆調査の考え方・調査方法

対象 伊豆半島に来遊する旅行者

調査主体 美しい伊豆創造センター 分析（委託）：株式会社JTB総合研究所

期間 2023年7月1日～2024年2月29日

- 方法
- ・伊豆半島内の観光関連施設に二次元バーコードを掲載したポスター及びチラシを配架
 - ・関心ある旅行者が任意でWeb回答
 - ・アンケート参加にあたり特定の条件無し
 - ・回答協力を促進するため、伊豆半島の特産品を抽選で提供
 - ・ポスターやWEBの表示言語は日本語のみ（主に日本人を対象）

- 集計
- ・回答ルールから逸脱、矛盾したものや極端な値等をクリーニング
 - ・地域的な回答の偏りの補正なし、期間中の当条件下での自然回答として集計

有効回答 2,426人の有効回答を得た

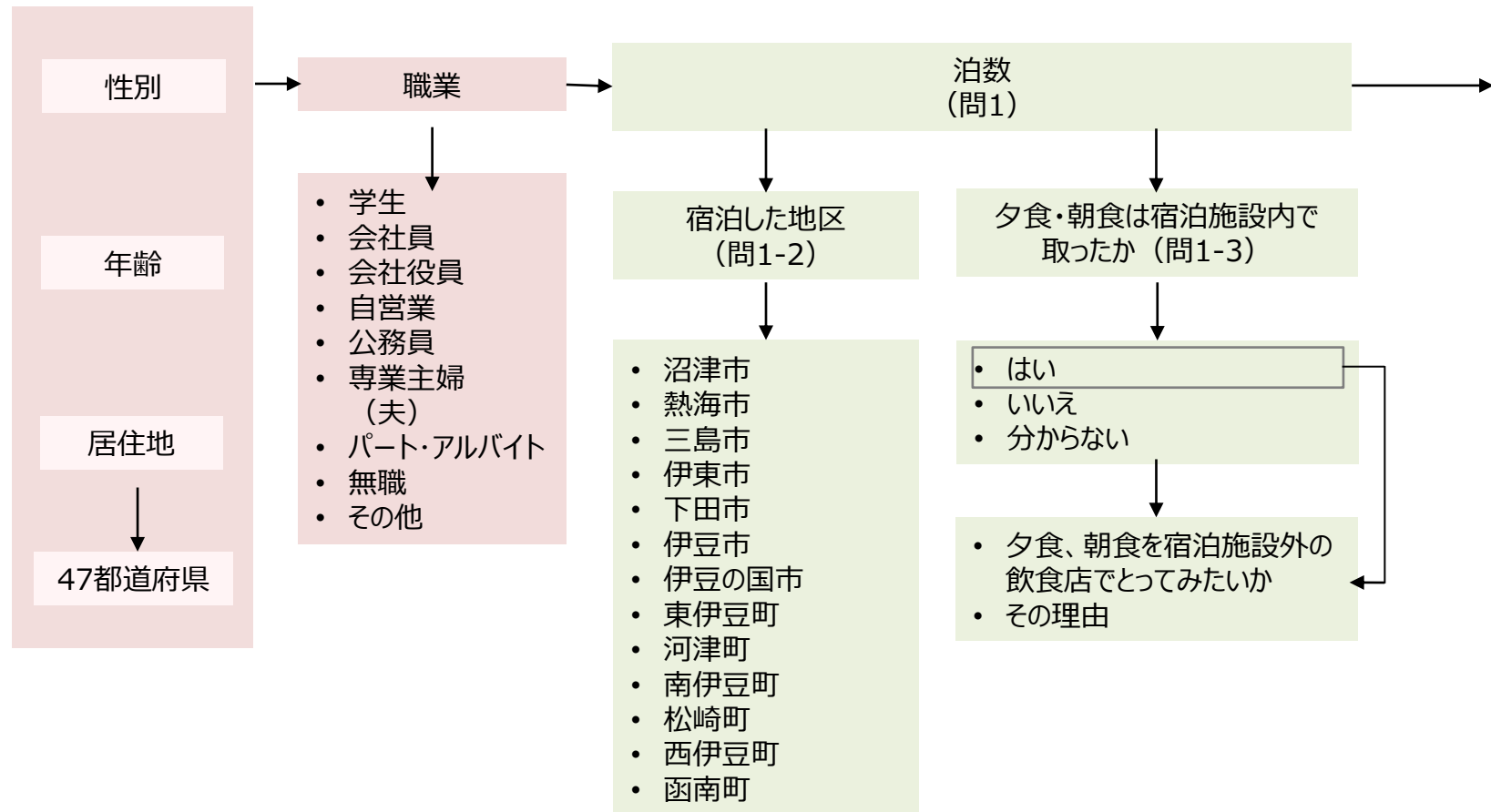
その他 この方法による来遊客の行動・動態に関するデータ収集は一例であり、位置情報や決済情報等のデータベースの活用を妨げるものではない。地域や事業上の課題や特性を踏まえつつ、持続性あるデータ収集分析体制と地域経営に資するデータ構築の一助とすることを念頭に実施



【ポスター・チラシ（イメージ）】

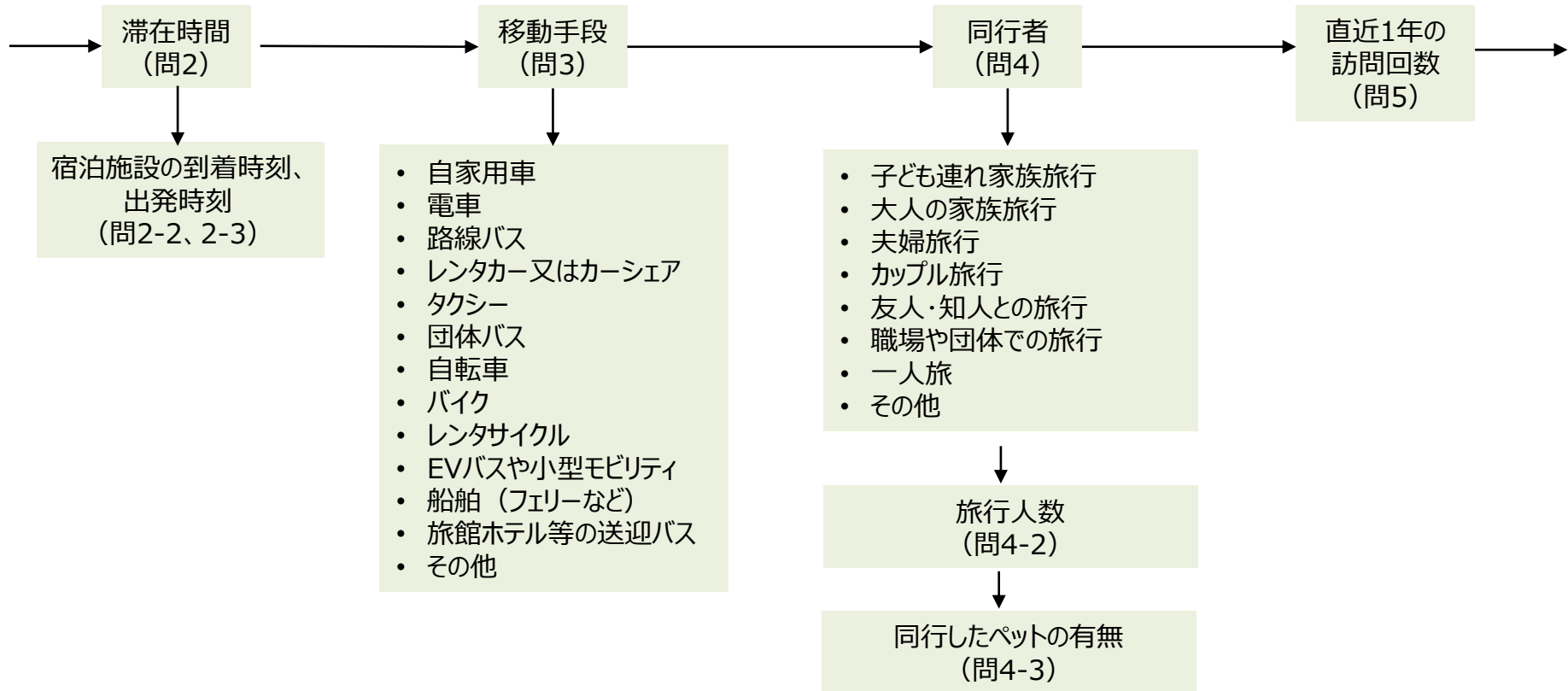
アンケート調査概要

調査設問フロー①



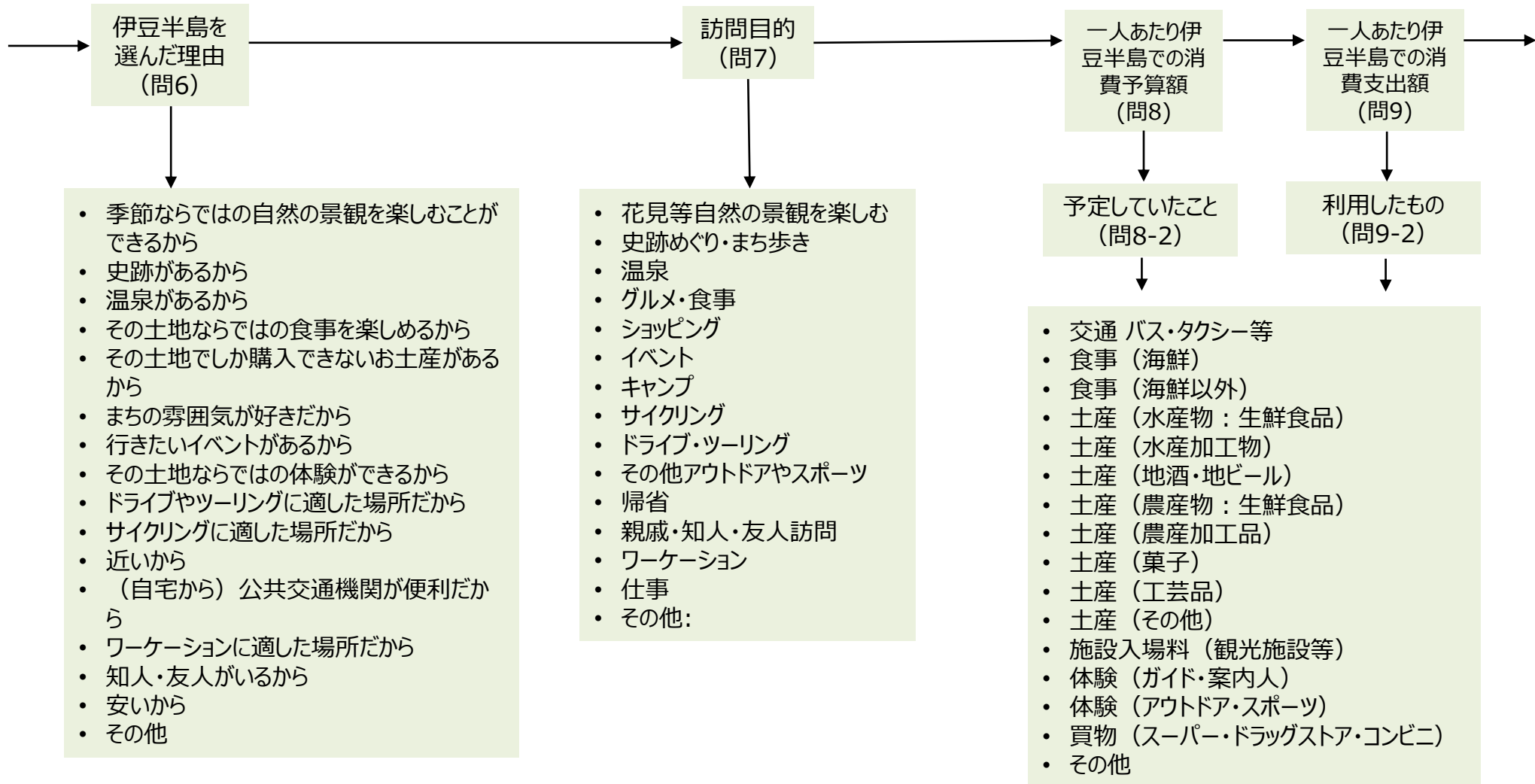
アンケート調査概要

調査設問フロー②



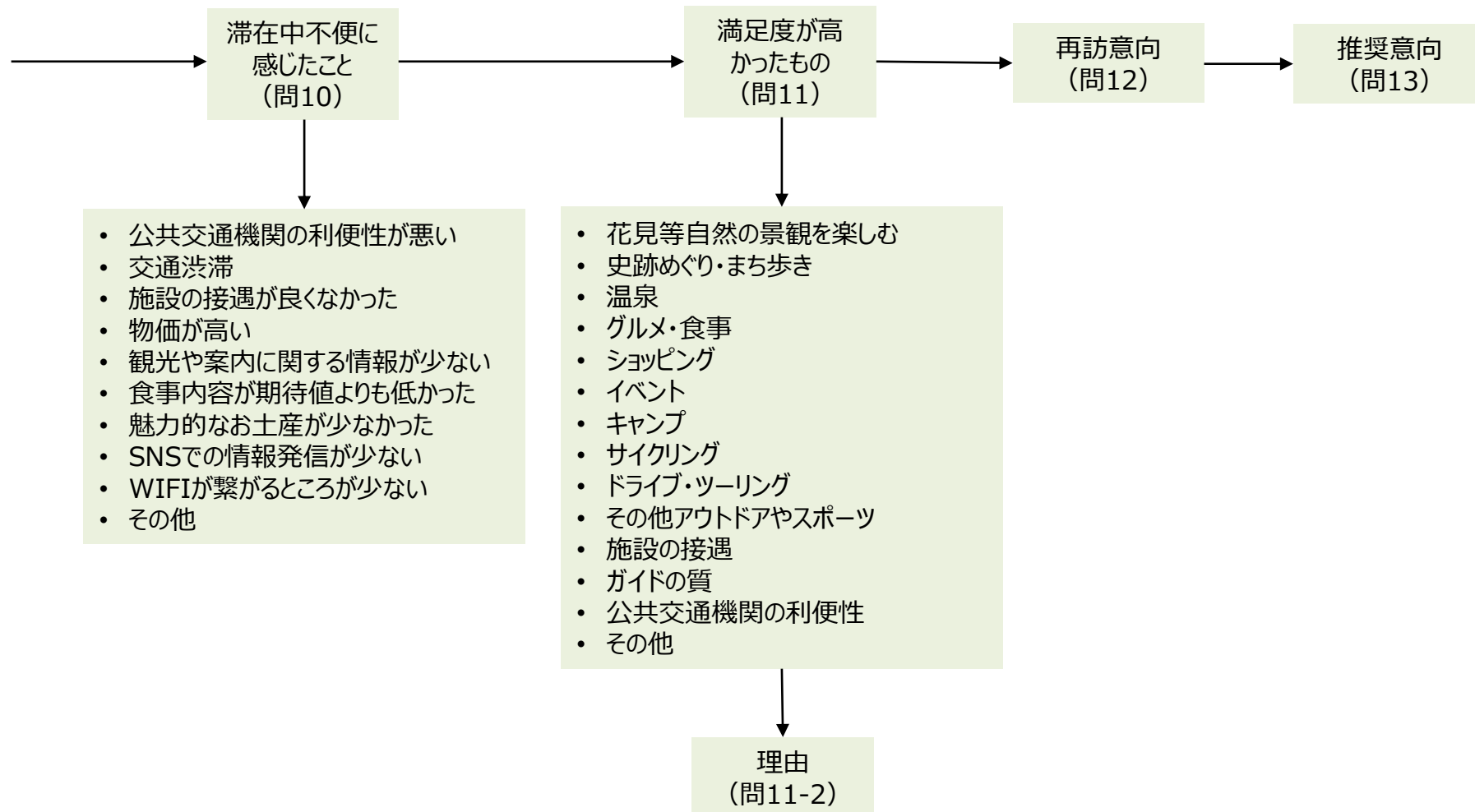
アンケート調査概要

調査設問フロー③



アンケート調査概要

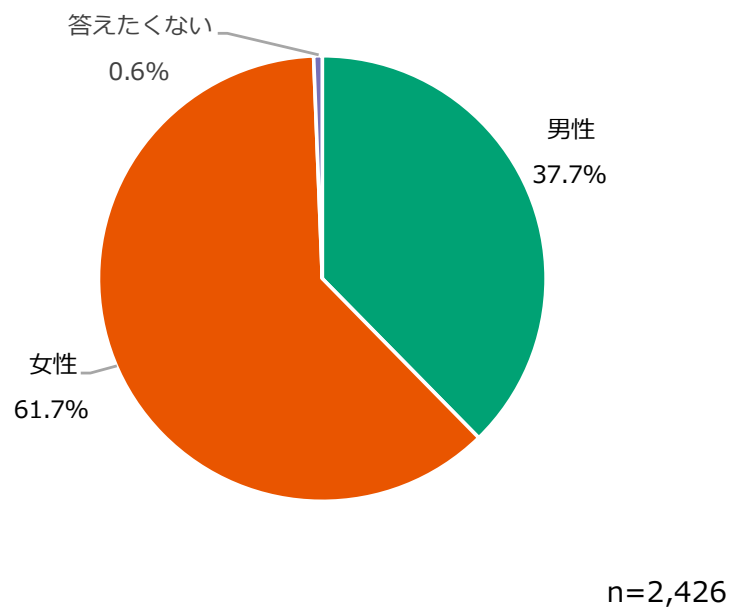
調査設問フロー④



観光アンケート 回答結果（単純集計）

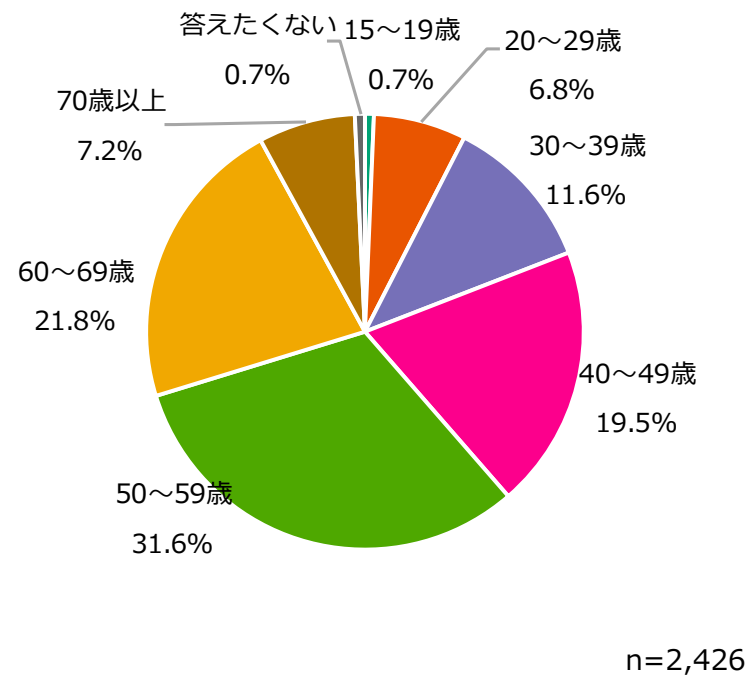
性別

- 女性が多く、61.7%を占めた。



年齢

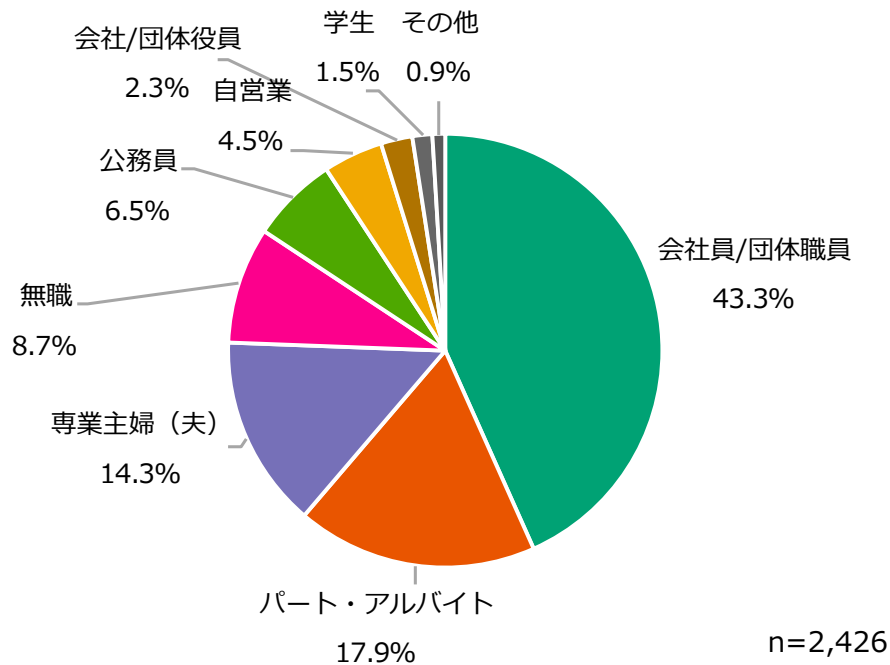
- 50代が最も多く、31.6%を占めた。
- 次いで60代が21.8%、40代が19.5%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

職業

- 会社員/団体職員が最も多く、43.3%を占めた。
- 次いでパート・アルバイト、専業主婦（夫）の順となっている。

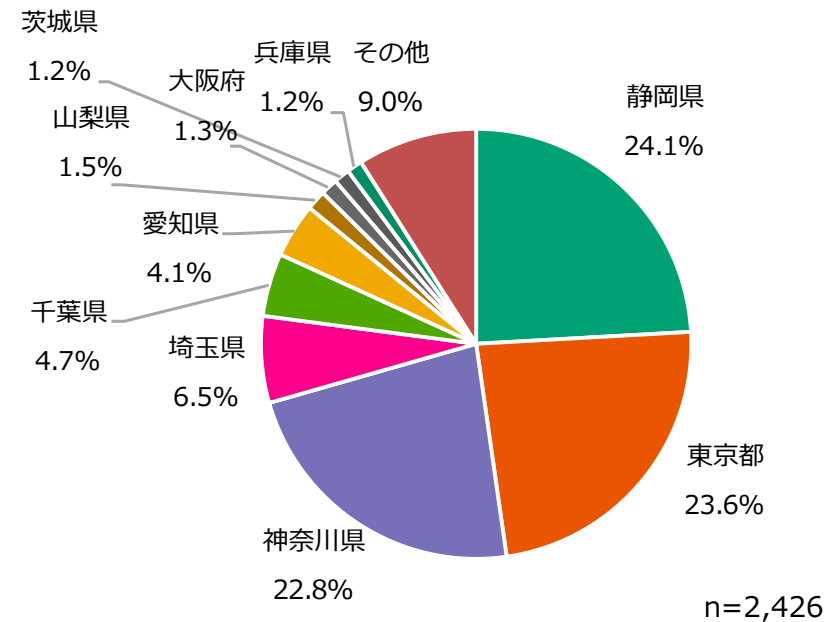


【その他】※回答数の多い順

派遣社員（6名）、医師（3名）、教員（3名）、契約社員（2名）、看護師（2名）、ドライバー（1名、以降同じ）、フリーランス、介護士、放課後児童支援員、牧師、雑誌編集、非常勤職員

居住地（都道府県名）

- 静岡県24.1%、東京都23.6%、神奈川県22.8%と上位を構成する。



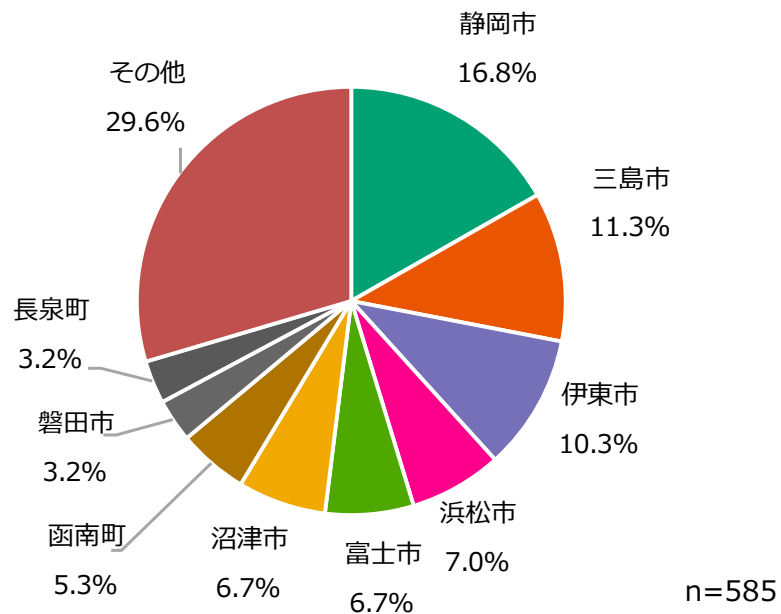
【その他】※回答数の多い順

長野県、栃木県、京都府、群馬県、新潟県、三重県、宮城県、福島県、北海道、岐阜県、滋賀県、岡山県、奈良県、山形県、岩手県、広島県、青森県、島根県、石川県、福岡県、高知県、和歌山県、秋田県、大分県、宮崎県、富山県、徳島県、愛媛県、沖縄県、熊本県、福井県、香川県

観光アンケート 回答結果（単純集計）

静岡県に居住している場合の市町名（単一回答）

- 静岡市が最も多く、16.8%を占めており、次いで三島市が11.3%となっている。
- 次いで、伊東市や浜松市、富士市などが多い。

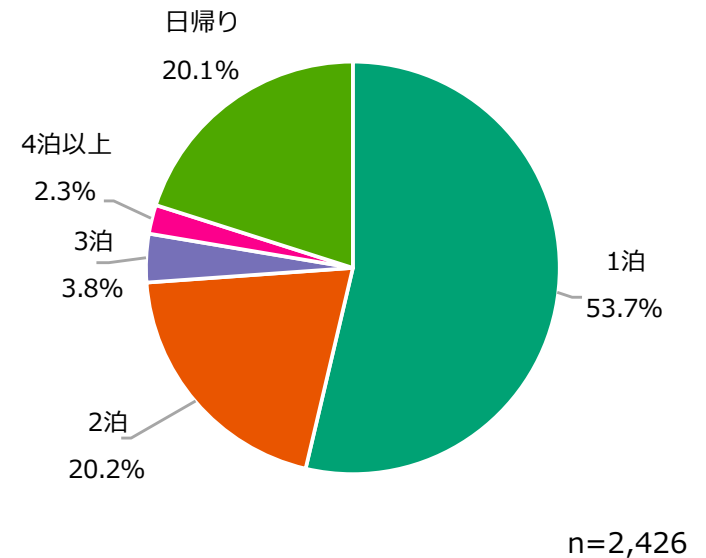


【その他】※回答数の多い順

伊豆の国市、富士宮市、裾野市、御殿場市、藤枝市、下田市、伊豆市、掛川市、清水町、熱海市、袋井市、東伊豆町、南伊豆町、島田市、焼津市、菊川市、河津町、西伊豆町、松崎町、牧之原市、吉田町、御前崎市、森町、湖西市

問1. 今回の旅行で伊豆半島に何泊しましたか。（単一回答）

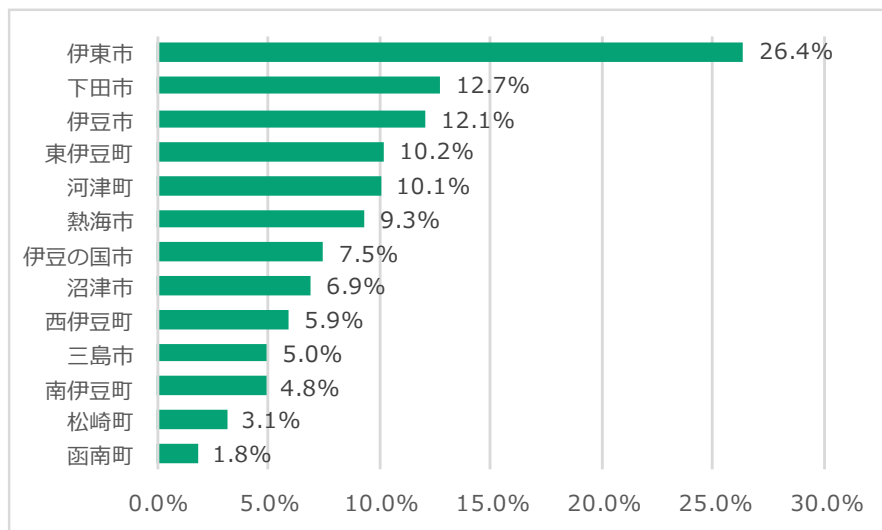
- 1泊が最も多く、53.7%を占めた。
- 次いで2泊が20.2%、日帰りが20.1%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問1-2. 今回の旅行でどこに宿泊しましたか。（複数回答）

- 宿泊者の中では伊東市での宿泊が最も多く、26.4%を占めた。
- 次いで下田市が12.7%、伊豆市が12.1%となっている。



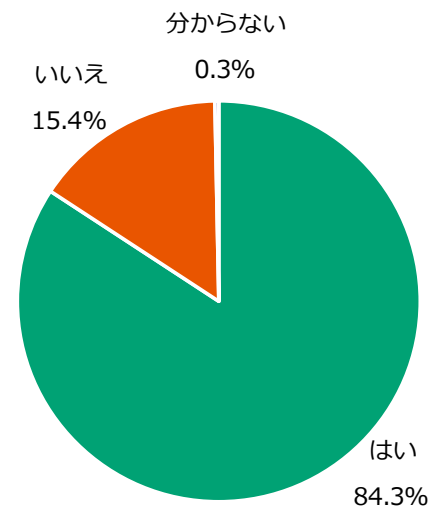
n=1,939

※地理的な偏りは補正しない

問1-3. 夕食・朝食は宿泊施設内でとりましたか。（とる予定ですか）

（単一回答）

- 「はい」が圧倒的に多く、84.3%を占めた。
- 「いいえ」は15.4%となっている。

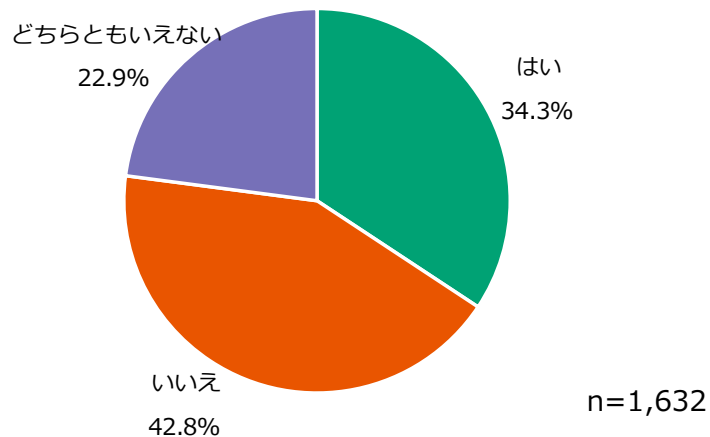


n=1,937

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問1-4. 問1-3で「はい」とお答えした方に伺います。夕食、朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたいですか。(単一回答)

- 「はい」34.3%、「いいえ」42.8%で、8%程度の差となっている。
- 「どちらともいえない」は22.9%となっている。



その理由

「はい」

- 地元の飲食店を楽しみたい
- 新鮮な海鮮を食べたい
- 伊豆を満喫したい
- 街の魅力を知りたい
- 色々なものを食べたい
- 地元民が良く行くところに行きたい
- など

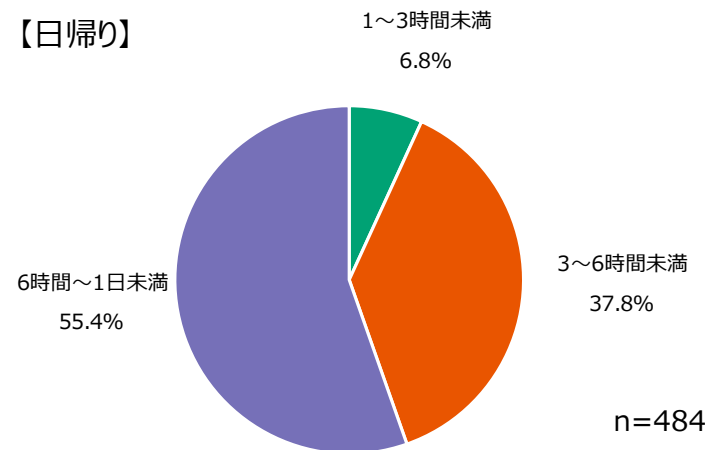
「いいえ」

- ゆっくりしたい、移動したくない
- 食事を優先して宿を選んでいる
- 晩酌すると車に乗れない
- 徒歩圏内に飲食店がない
- 探すのが面倒
- 土地勘がない
- など

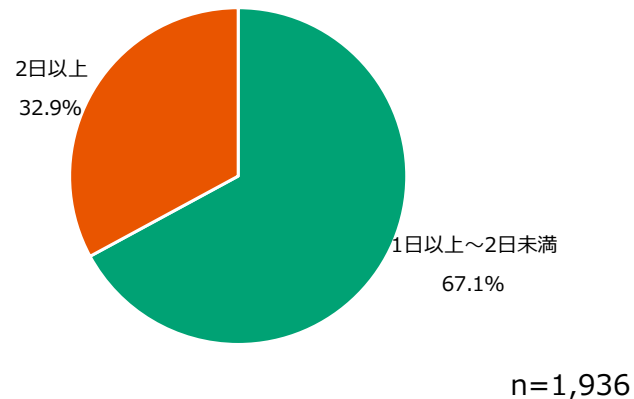
問2. 伊豆半島でのおおよその滞在時間をお答えください。

- 日帰りでは、6時間～1日未満が最も多く過半を占めた。次いで3～6時間未満が多い。
- 宿泊では、2日未満が7割弱を占めた。

【日帰り】



【宿泊】

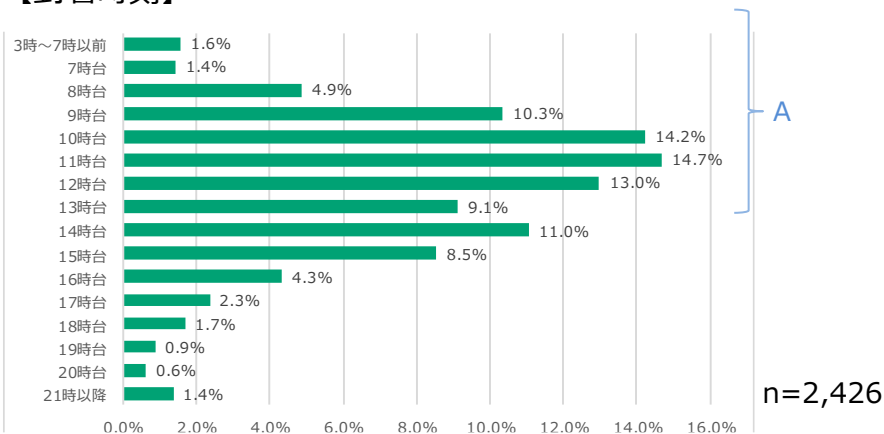


観光アンケート 回答結果（単純集計）

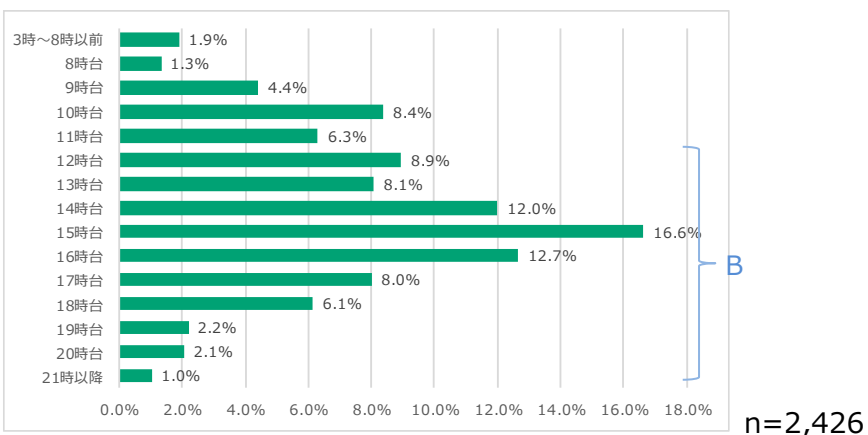
問2-2. 伊豆半島到着時刻と出発時刻を教えてください。

- 到着は11時台が最も多く、出発は15時台が最も多かった。
- 69.2%がチェックイン以前に到着し、近くで過ごしている（A）。
- 77.7%がチェックアウト後も館外で過ごしている（B）。

【到着時刻】

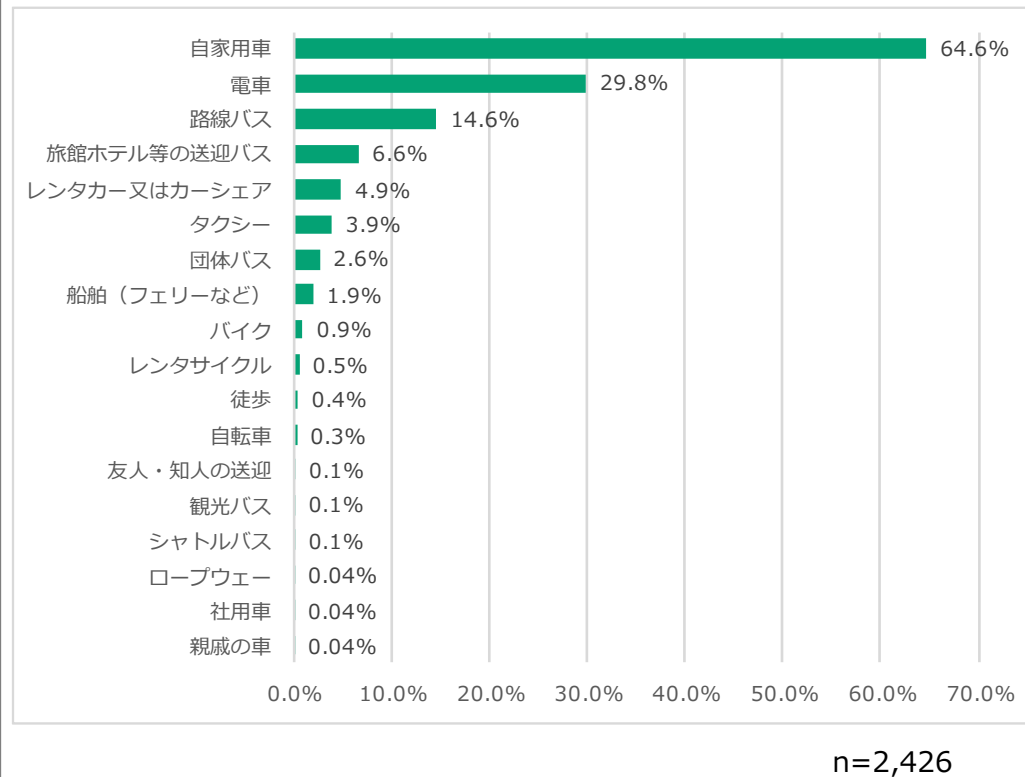


【出発時刻】



問3.伊豆半島での利用交通機関について教えてください。（複数回答）

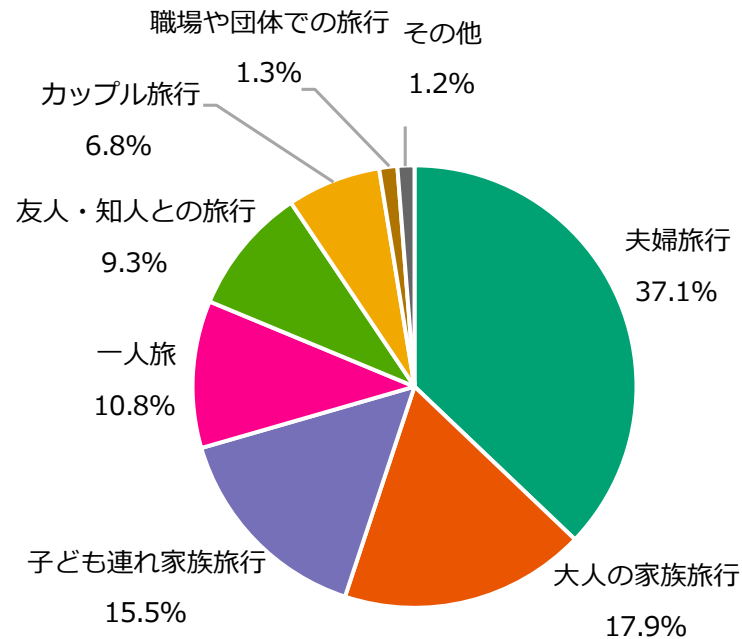
- 自家用車が64.6%を占めた。
- 次いで電車が多く、29.8%となっている。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

問4. 今回の旅行は、どなたと一緒に来ましたか。（単一回答）

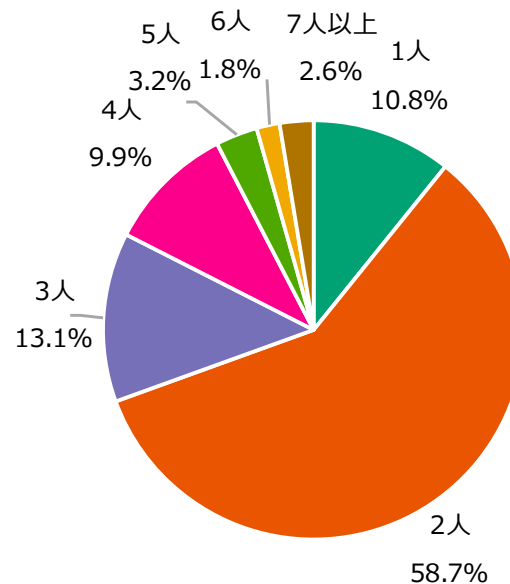
- 夫婦旅行が最も多く、37.1%を占めた。
- 次いで大人の家族旅行、子ども連れ家族旅行となっている。



n=2,426

問4-2. 今回の旅行の人数を教えてください。（単一回答）

- 2人が最も多く、58.7%を占めた。
- 次いで3人が13.1%、1人が10.8%となっている。

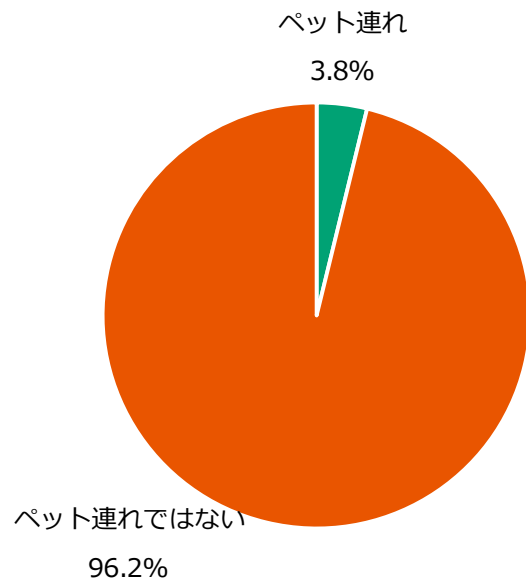


n=2,426

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問4-3. 今回の旅行はペット連れですか。（単一回答）

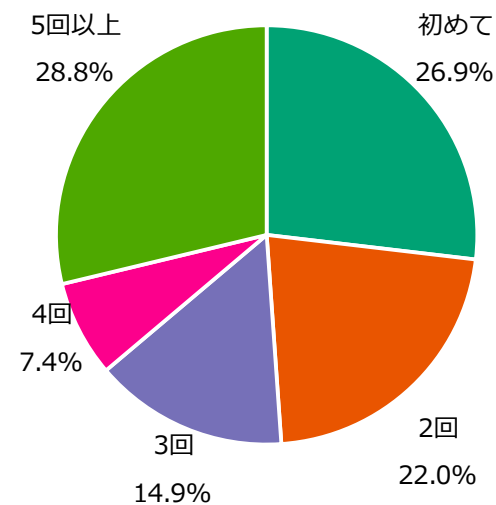
- ペット連れは3.8%となった。



n=876

問5. 伊豆半島への訪問頻度について、「直近1年間」での来訪回数を教えてください。（単一回答）

- 5回以上が最も多く、28.8%を占めた。
- 次いで初めてが26.9%、2回が22.0%となっている。

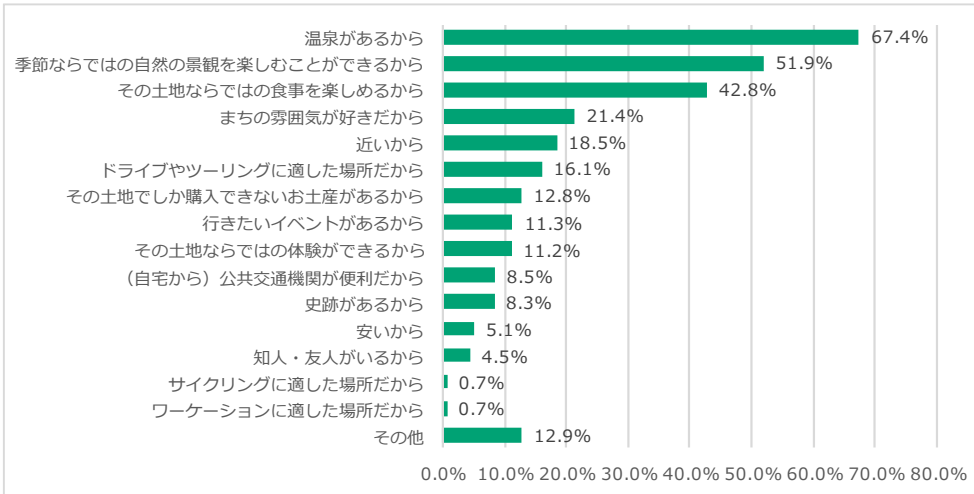


n=2,426

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問6. 今回、旅行先として伊豆半島を選んだ理由をお答えください。（複数回答）

- 「温泉があるから」が最も多く、67.4%を占めた。
- 次に「季節ならではの自然の景観を楽しむことができるから」、「その土地ならではの食事を楽しめるから」、「まちの雰囲気が好きだから」の順となっている。



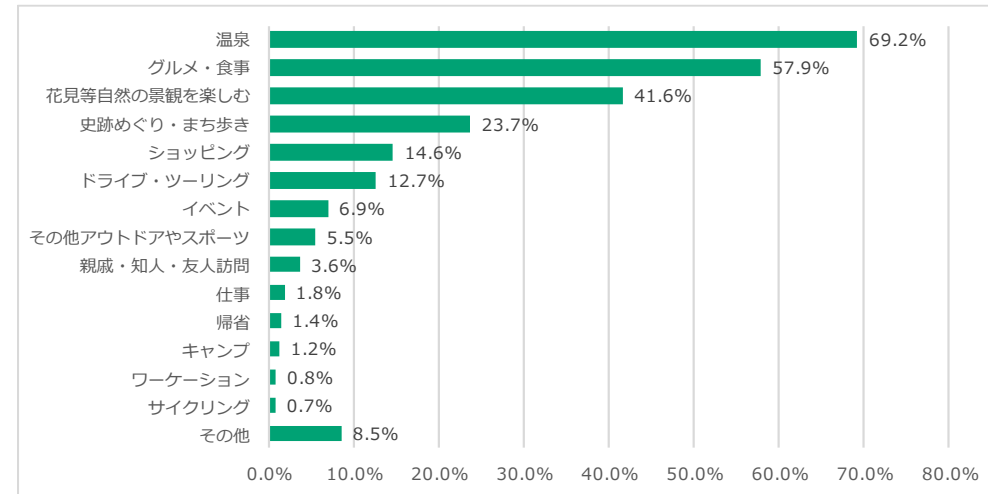
n=2,426

【その他】

- 保養所があるから
- 釣りができるから
- ゴルフ
- スタンプラリー
- ダイビング
- 伊豆が好きだから など

問7. 今回の伊豆半島に訪れた目的をお答えください。（複数回答）

- 「温泉」が最も多く、69.2%を占めた。
- 次に「グルメ・食事」「花見等自然の景観を楽しむ」「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。



n=2,426

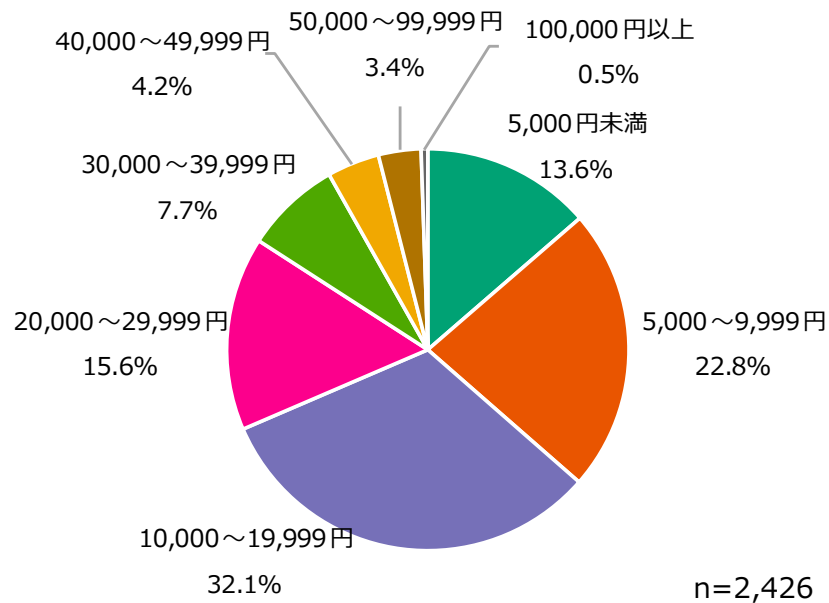
【その他】

- 海水浴
- 釣り
- みかん狩り
- 動物園
- リフレッシュ
- 水族館 など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

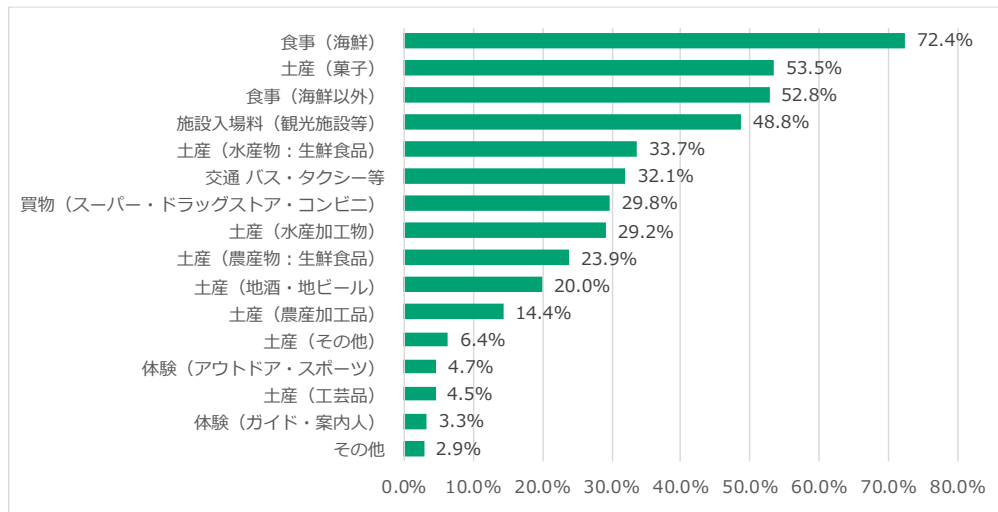
問8. 今回の旅行で、事前の予定では伊豆半島で一人あたり、お金をいくら使うつもりでしたか。（宿泊費を除く）
（単一回答）

- 1万円台が最も多く、32.1%を占めた。
- 次いで5,000～9,999円が22.8%、2万円台が15.6%となった。



問8-2. 問8でお聞きした使うつもりであった金額に含まれるものを教えてください。（複数回答）

- 「食事（海鮮）」が最も多く、72.4%を占めた。
- 次いで「土産（菓子）」「食事（海鮮以外）」「施設入場料（観光施設等）」の順となっている。



n=2,426

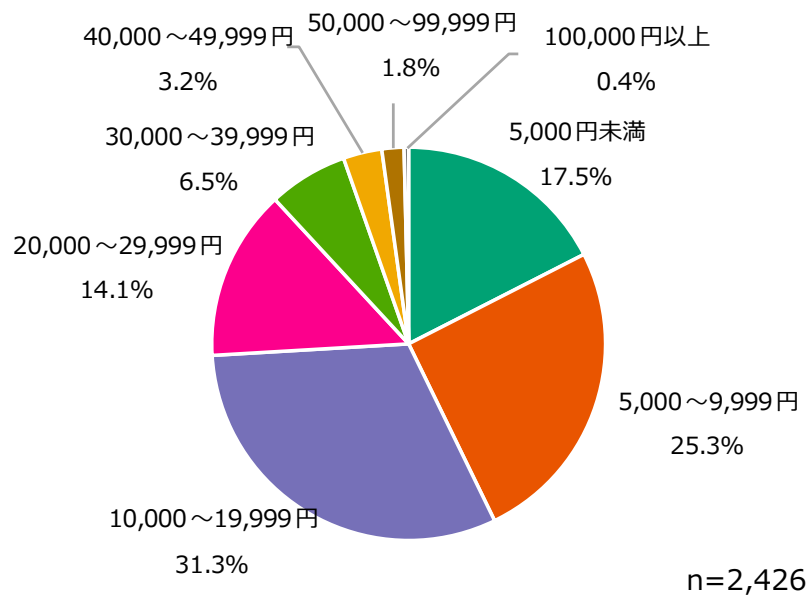
【その他】

- 駐車場代
- 温泉
- いちご狩り
- みかん狩り
- イベント
- ガソリン代
- マッサージ など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

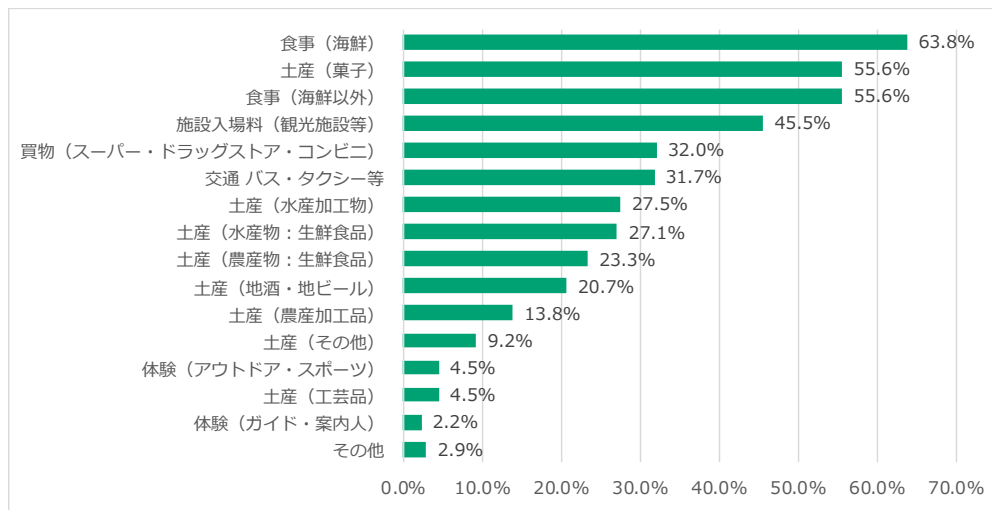
問9. 今回の旅行中、伊豆半島で実際に使った一人あたりの金額（宿泊費を除く）を教えてください。（単一回答）

- 1万円台が最も多い（31.3%）。次いで5,000円～9,999円（25.3%）。
- 20,000円以上が約4分の1の割合を占める。



問9-2. 問9でお聞きしたお金は何に使いましたか。教えてください。（複数回答）

- 旅行前の予定と同様に食事（海鮮）が最も多く、土産（菓子）、食事（海鮮以外）と続く。



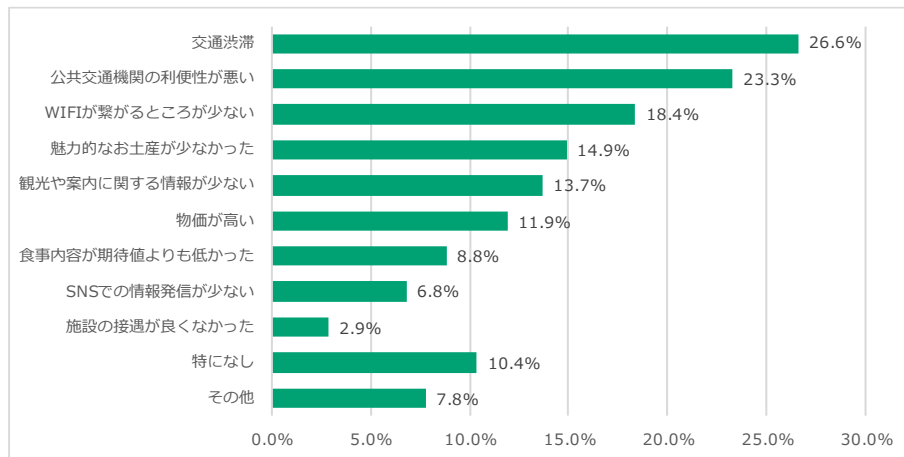
【その他】

- 温泉
- 駐車場代
- いちご狩り
- みかん狩り
- マッサージ
- カフェ
- ガソリン代 など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問10. 今回の伊豆半島での滞在において不便に感じたことを教えてください。（複数回答）

- 「交通渋滞」が最も多く、26.6%を占めた。
- 次いで「公共交通機関の利便性が悪い」、「Wi-Fiが繋がる場所が少ない」、「魅力的なお土産が少なかった」の順となっている。



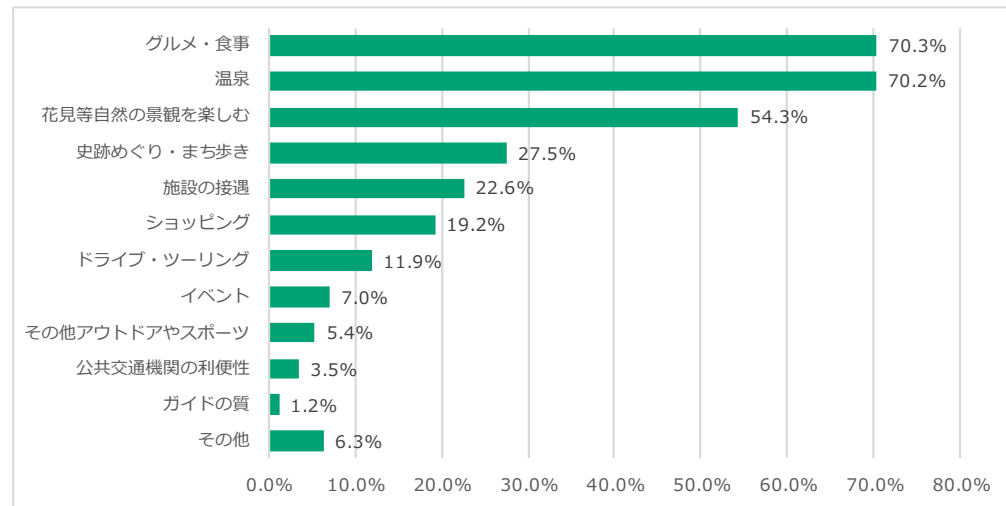
n=2,426

【その他】

- 駐車場が少ない
- コンビニが少ない
- 犬連れで入れる施設が少ない
- 道が狭い
- 道路が整備されていない
- 閉店が早い
- 駐車料金が高い
- 携帯電話の電波が弱い など

問11. 今回の伊豆半島での滞在において満足度が高かったものを3つお答えください。（複数回答）

- 「グルメ・食事」が最も多く、70.3%を占めた。
- 次いで「温泉」、「花見等自然の景観を楽しむ」、「史跡めぐり・まち歩き」の順となっている。



n=2,426

【その他】※回答数の多い順

- キャンプ
- サイクリング
- 宿
- 海
- 釣り
- 海水浴
- みかん狩り など

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問11-2. 問11で選んだ3項目について、その理由をお答えください。

【グルメ・食事】

- 宿のお料理が魚づくしで良かった
- ソフトクリームがとても美味しかった
- 海の幸が新鮮
- 金目鯛が美味しい
- 店の人が親切
- 海鮮丼が美味しい など

【温泉】

- 他の地域に比べて源泉が多い
- 温泉設備が良い
- 宿の温泉が最高に気持ちいい
- 泉質が良い
- 伊豆は色々な温泉があって良い
- リフレッシュできた など

【花見等自然の景観を楽しむ】

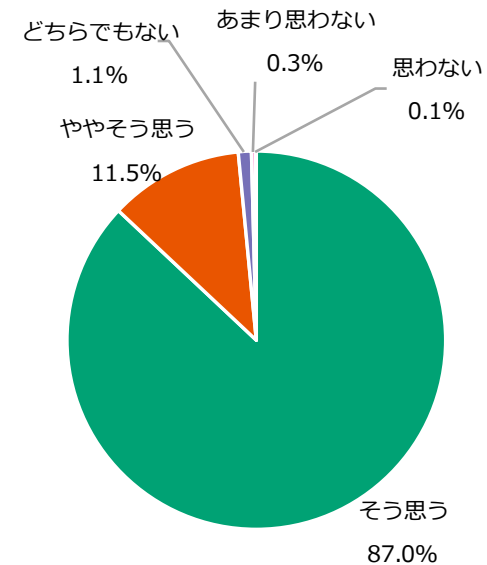
- 見頃がちょうど良かった
- アジサイがたくさん咲いていてきれいだった
- 自然豊かで異国に来たよう
- 海沿いの遊歩道にたくさんの花が咲いていてとてもきれい
- 車窓からの風景がきれいだった
- 癒やされた など

【史跡めぐり・まち歩き】

- 修善寺のまちはコンパクトで、歩いて散策できる
- 三島の街と修善寺は、街歩きをするのにちょうどよい規模
- 歴史的建造物が多い など

問12. 今後、伊豆半島に来たいと思いますか。（単一回答）

- 「そう思う」が圧倒的に多く、87.0%を占めた。
- 「やや思う」との合算では、98.5%に達している。

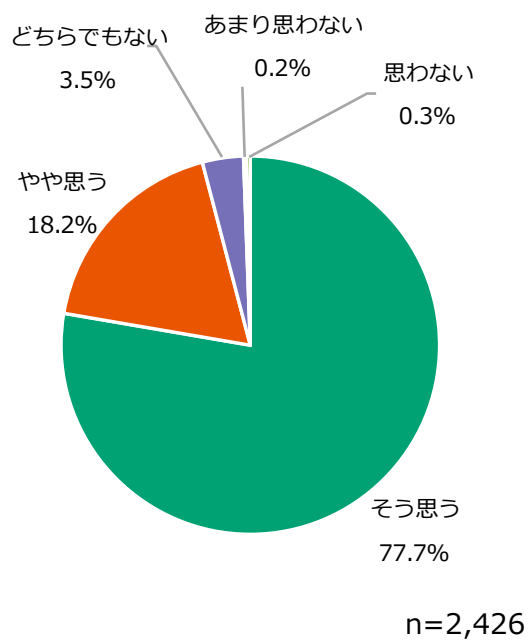


n=2,426

観光アンケート 回答結果（単純集計）

問13. あなたの身近な人に伊豆半島の訪問を勧めたいと思いますか。（単一回答）

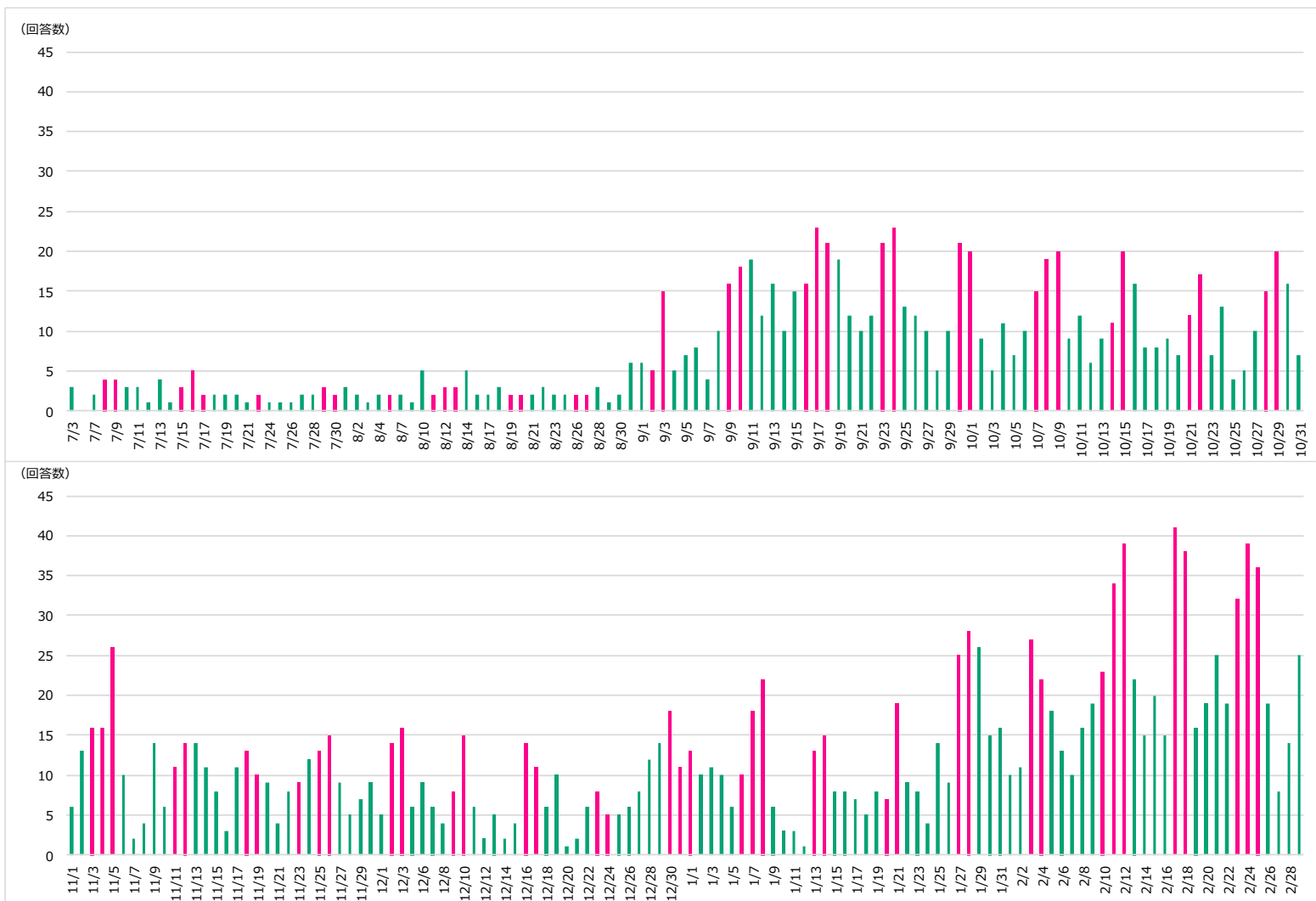
- ・「そう思う」が多く、77.7%を占めた。
- ・「やや思う」との合算では、95.9%に達している。



観光アンケート 回答結果（単純集計）

回答日

- 平日の回答数は1,316で、全体の54.2%を占めた。
- 土日および祝日の回答数は1,110で、全体の45.8%を占めた。
- 9月から回答数が急増。2月はさらに増加している。



n=2,426

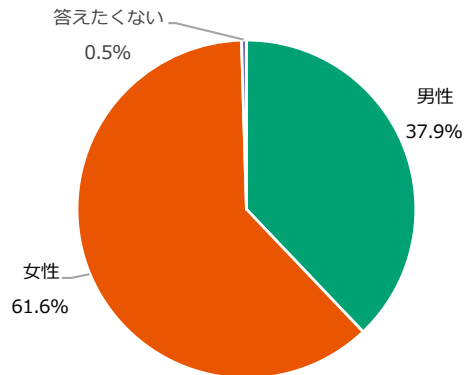
観光アンケート 回答結果 (クロス分析)

宿泊者全体の状況－基本属性

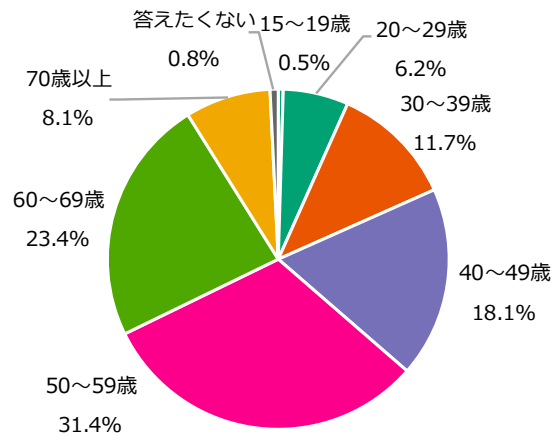
- 年齢では、50代が最も多く（31.4%）、次いで60代（23.4%）が多い。50代以上が全体の6割以上を占める。
- 来訪回数は初めてが最も多く（29.1%）、次いで5回以上（25.8%）が多い。
- 居住地では東京都（27.1%）が最も多く、神奈川県（24.0%）、静岡県（15.6%）・・・と続く。上位6都県で84.1%を占める。

宿泊者全体

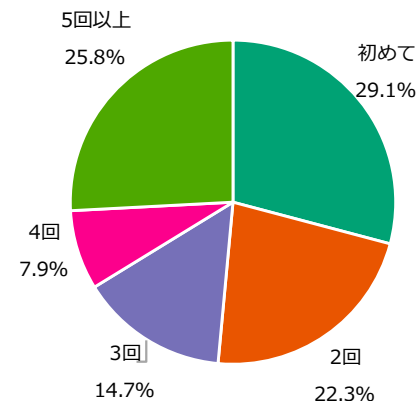
■ 性別 (n=1,939)



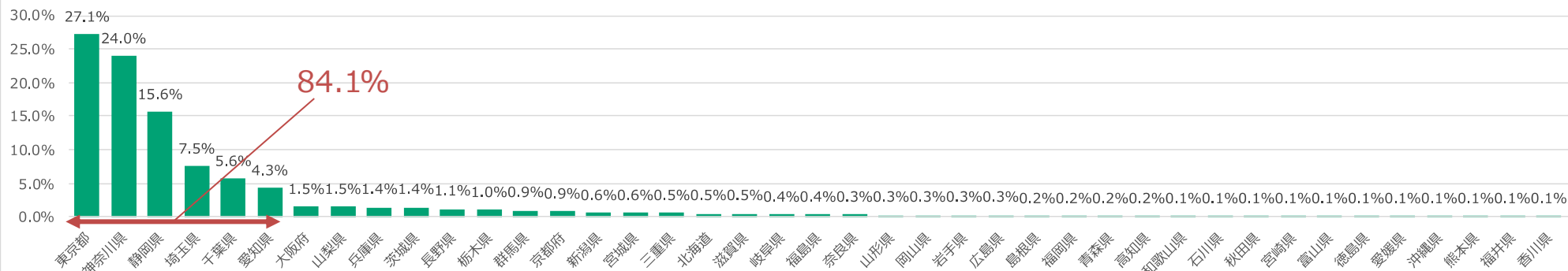
■ 年齢 (n=1,939)



■ 来訪回数 (n=1,939)



■ 居住地 (n=1,939)



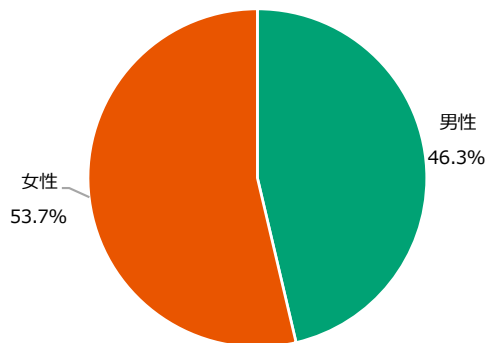
観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）2泊以上周遊者の状況－基本属性

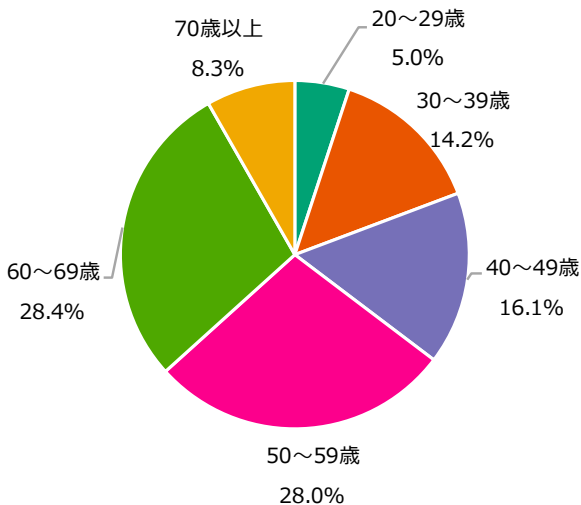
- 年齢では60代が最も多く（28.4%）、次いで50代が多い（28.0%）。宿泊者全体と同じく、50代以上が6割以上の割合となっている。
- 来訪回数は初めてが多く（42.2%）、次いで5回以上（24.3%）となる。宿泊者全体と比べ、初めての割合は10%以上高い割合となっている。
- 居住地は東京の割合が最も高く（27.1%）、約10ポイント減少して神奈川県（17.9%）となる。

2泊以上周遊者属性

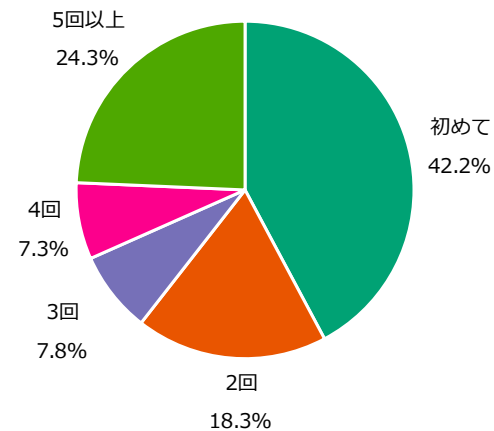
■ 性別（n=218）



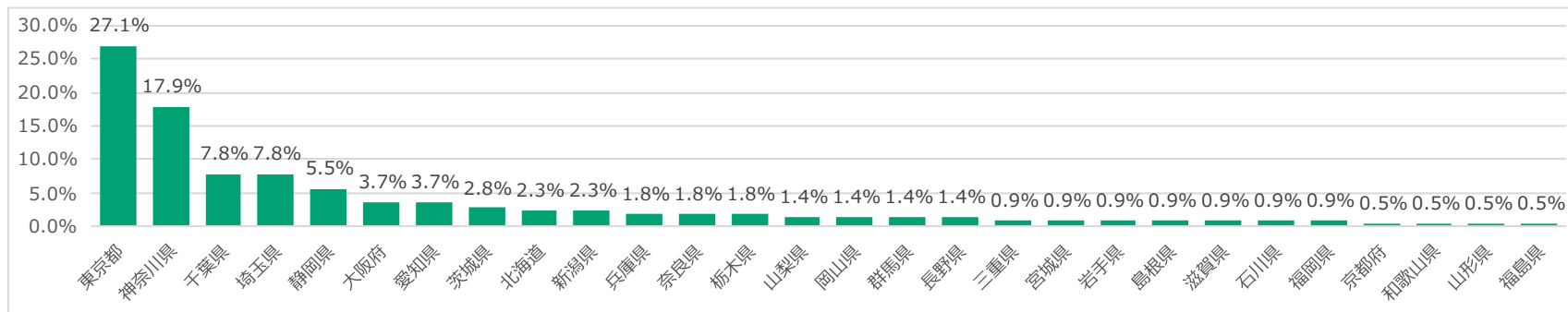
■ 年齢（n=218）



■ 来訪回数（n=218）



■ 居住地（n=218）



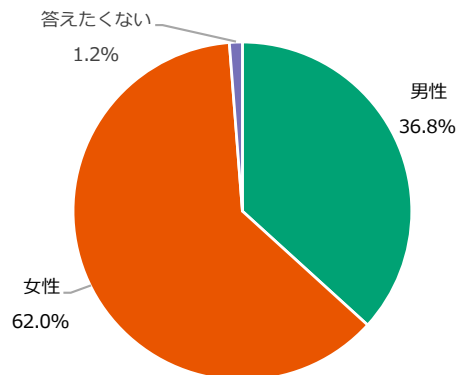
観光アンケート 回答結果（クロス分析）

滞在期間（泊数）日帰りの状況－基本属性

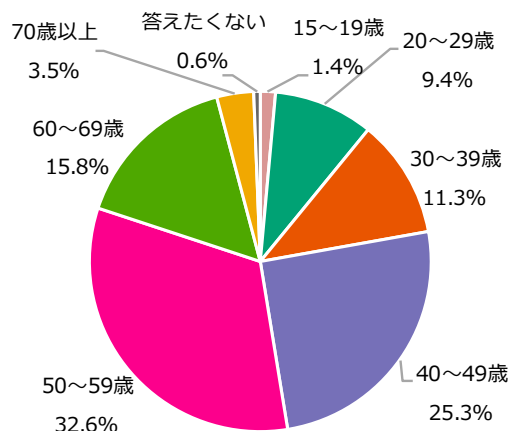
- ・年齢では50代が最も多く（32.6%）、次いで40代（25.3%）、60代（15.8%）となる。
- ・来訪回数は5回以上が最も多い（40.5%）。
- ・居住地では、静岡県内の割合が圧倒的に多い。

日帰り

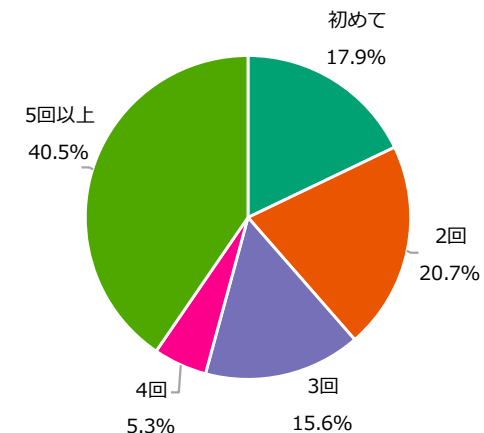
■ 性別（n=487）



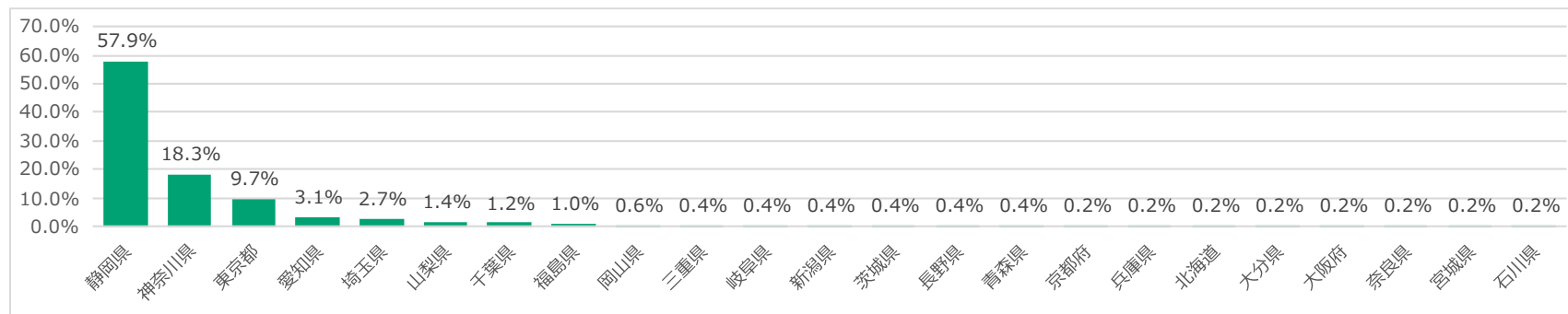
■ 年齢（n=487）



■ 来訪回数（n=487）



■ 居住地（n=487）

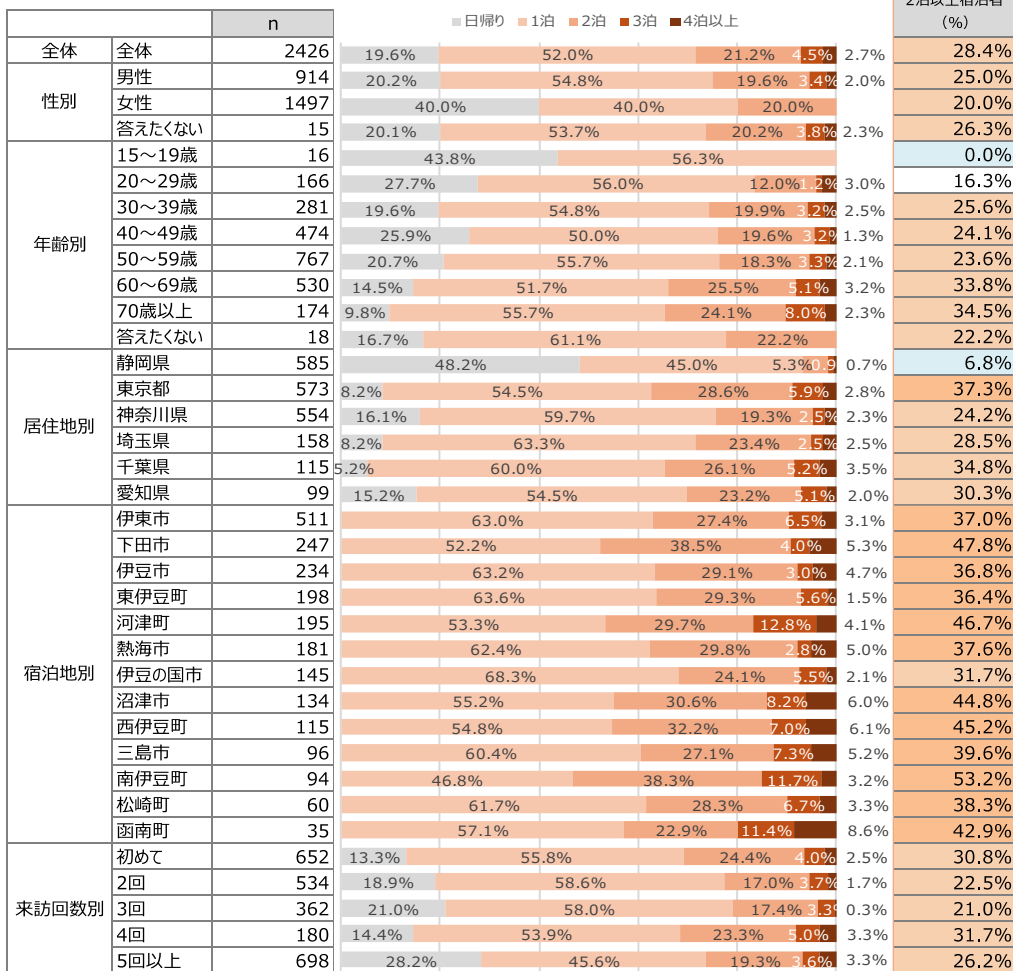


観光アンケート 回答結果 (クロス分析)

滞在期間 (泊数) の状況-基本属性別

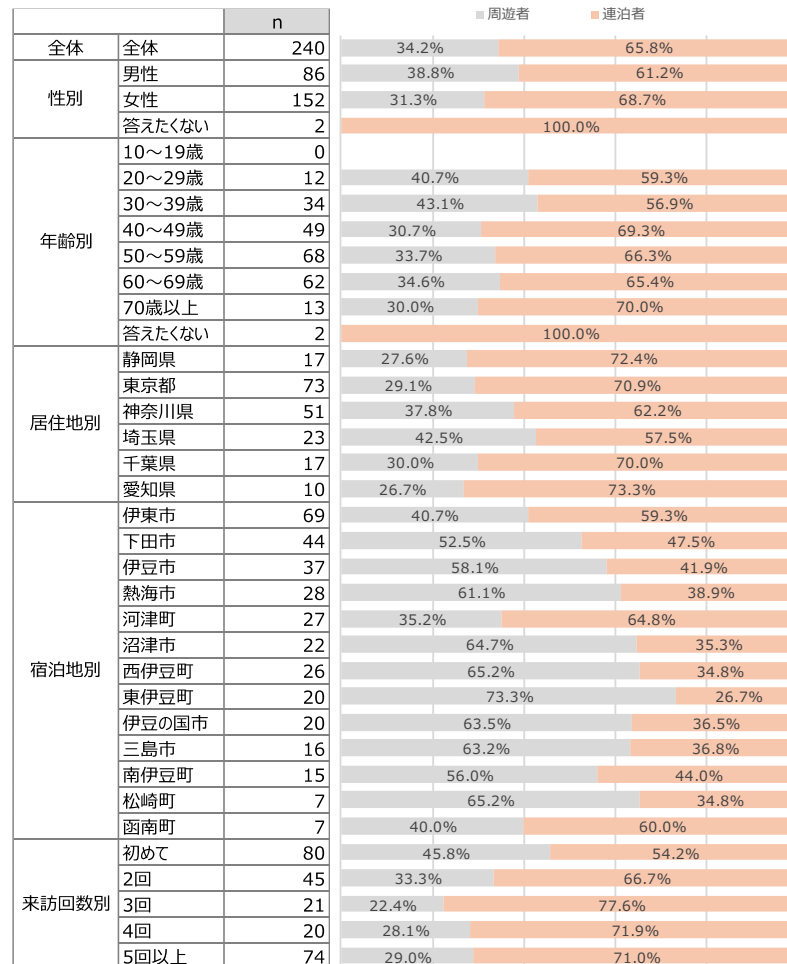
- ・南伊豆町、下田市、河津町の滞在者は5割前後が2泊以上となっている。
- ・今年初めての来訪者が最も宿泊率が高い。その内訳は4割強が周遊者となっている。
- ・同一市町への連泊率が最も高いのは河津町。次いで、函南町、伊東市と続く。

伊豆半島旅行者数



2泊以上宿泊者ベース

2泊以上宿泊者の「連泊旅行」or「周遊旅行」状況

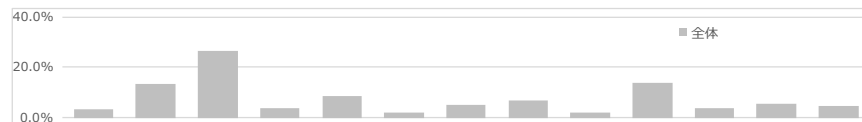


観光アンケート 回答結果 (クロス分析)

滞在期間 (泊数) の状況 - 滞在地別

- ・連泊率が高いのは伊東市、下田市、河津町。
- ・周遊率が高いのは伊東市、下田市、伊豆市、熱海市、沼津市、東伊豆町。
- ・周遊の組み合わせとして高い割合を示しているのは伊東市と伊豆の国市、松崎町と河津町、東伊豆町と伊東市などが挙げられる。

2泊以上連泊者の宿泊地



2泊以上周遊者の宿泊地



	n	三島市	下田市	伊東市	伊豆の国市	伊豆市	函南町	南伊豆町	東伊豆町	松崎町	河津町	沼津市	熱海市	西伊豆町
全体	419	3.3%	13.4%	26.7%	3.8%	8.6%	2.1%	5.3%	6.7%	1.9%	14.1%	3.8%	5.7%	4.5%
性別	男性	159	1.3%	14.5%	25.8%	6.3%	5.0%	1.9%	6.9%	2.5%	14.5%	5.7%	6.9%	1.9%
	女性	257	4.7%	12.5%	26.8%	2.3%	10.9%	2.3%	4.3%	1.6%	14.0%	2.7%	5.1%	6.2%
	答えたくない	3	-	33.3%	66.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	15~19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	16	6.3%	12.5%	31.3%	-	12.5%	-	6.3%	-	6.3%	-	12.5%	12.5%
	30~39歳	41	12.2%	12.2%	22.0%	-	19.5%	-	4.9%	9.8%	-	12.2%	2.4%	2.4%
	40~49歳	79	2.5%	16.5%	22.8%	3.8%	7.6%	1.3%	5.1%	5.1%	6.3%	16.5%	5.1%	3.8%
	50~59歳	120	3.3%	15.8%	21.7%	2.5%	7.5%	3.3%	6.7%	6.7%	-	12.5%	5.8%	6.7%
	60~69歳	117	1.7%	9.4%	35.0%	4.3%	8.5%	1.7%	2.6%	8.5%	1.7%	16.2%	3.4%	3.4%
	70歳以上	42	-	9.5%	26.2%	11.9%	2.4%	4.8%	9.5%	4.8%	2.4%	14.3%	-	14.3%
答えたくない	4	-	50.0%	50.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地別	静岡県	28	-	10.7%	32.1%	3.6%	10.7%	-	7.1%	3.6%	7.1%	3.6%	10.7%	10.7%
	東京都	155	1.3%	13.5%	23.9%	3.2%	5.2%	3.9%	5.2%	8.4%	1.9%	23.2%	3.2%	3.2%
	神奈川県	95	2.1%	16.8%	30.5%	6.3%	8.4%	1.1%	7.4%	1.1%	12.6%	2.1%	5.3%	5.3%
	埼玉県	28	7.1%	17.9%	21.4%	3.6%	7.1%	-	-	-	-	10.7%	-	10.7%
	千葉県	23	4.3%	4.3%	30.4%	4.3%	13.0%	-	-	13.0%	-	8.7%	8.7%	4.3%
愛知県	22	9.1%	4.5%	45.5%	-	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	-	4.5%	-	
宿泊地別	三島市	14	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下田市	56	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊東市	112	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊豆の国市	16	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	伊豆市	36	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-	-
	函南町	9	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-	-
	南伊豆町	22	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-	-
	東伊豆町	28	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	-
	松崎町	8	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-
	河津町	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-
来訪回数別	初めて	109	1.8%	17.4%	20.2%	4.6%	15.6%	-	4.6%	6.4%	3.7%	11.9%	2.8%	2.8%
	2回	80	5.0%	10.0%	31.3%	3.8%	7.5%	2.5%	6.3%	3.8%	1.3%	15.0%	2.5%	6.3%
	3回	59	-	22.0%	25.4%	-	6.8%	5.1%	6.8%	5.1%	-	16.9%	5.1%	1.7%
	4回	41	2.4%	17.1%	24.4%	4.9%	4.9%	-	2.4%	4.9%	-	22.0%	7.3%	4.9%
	5回以上	130	5.4%	6.9%	30.8%	4.6%	5.4%	3.1%	5.4%	10.0%	2.3%	11.5%	3.8%	6.9%

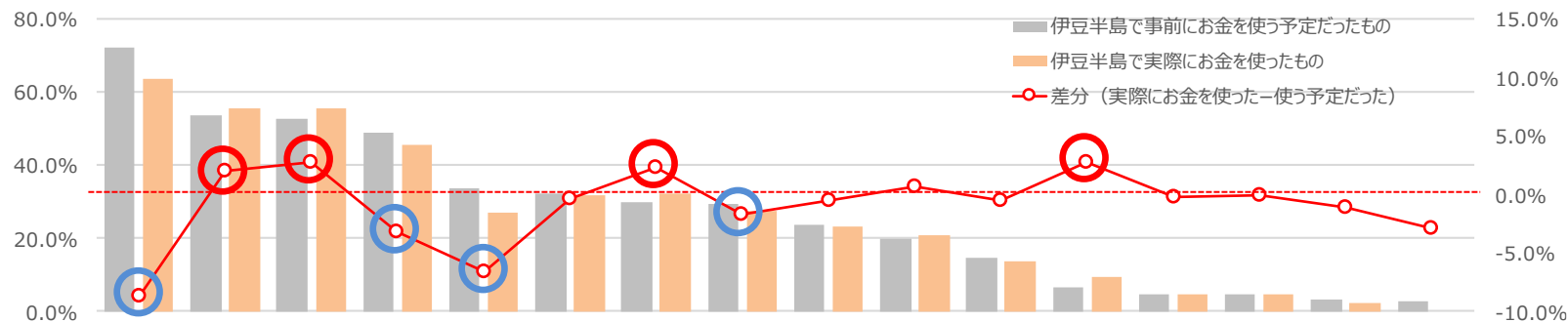
	n	三島市	下田市	伊東市	伊豆の国市	伊豆市	函南町	南伊豆町	東伊豆町	松崎町	河津町	沼津市	熱海市	西伊豆町
全体	218	11.0%	28.4%	35.3%	13.8%	22.9%	2.8%	12.8%	20.2%	6.9%	14.7%	20.2%	20.2%	15.1%
性別	男性	101	9.9%	32.7%	30.7%	15.8%	17.8%	3.0%	11.9%	23.8%	8.9%	18.8%	17.8%	18.8%
	女性	117	12.0%	24.8%	39.3%	12.0%	27.4%	2.6%	13.7%	17.1%	5.1%	11.1%	22.2%	21.4%
	答えたくない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	15~19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳	11	27.3%	45.5%	18.2%	9.1%	36.4%	-	18.2%	36.4%	-	9.1%	18.2%	27.3%
	30~39歳	31	19.4%	12.9%	38.7%	22.6%	25.8%	-	12.9%	19.4%	3.2%	25.8%	35.5%	32.3%
	40~49歳	35	5.7%	37.1%	45.7%	17.1%	22.9%	-	14.3%	28.6%	11.4%	14.3%	8.6%	14.3%
	50~59歳	61	6.6%	31.1%	41.0%	13.1%	24.6%	4.9%	9.8%	19.7%	8.2%	11.5%	19.7%	14.8%
	60~69歳	62	12.9%	19.4%	27.4%	4.8%	21.0%	4.8%	12.9%	17.7%	6.5%	16.1%	21.0%	21.0%
	70歳以上	18	5.6%	50.0%	27.8%	27.8%	11.1%	-	16.7%	5.6%	5.6%	16.7%	16.7%	22.2%
答えたくない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地別	静岡県	12	-	50.0%	41.7%	8.3%	8.3%	-	16.7%	25.0%	8.3%	-	25.0%	8.3%
	東京都	59	10.2%	27.1%	32.2%	10.2%	13.6%	3.4%	20.3%	22.0%	10.2%	16.9%	11.9%	28.8%
	神奈川県	39	10.3%	41.0%	35.9%	17.9%	17.9%	-	5.1%	23.1%	5.1%	12.8%	12.8%	15.4%
	埼玉県	17	5.9%	11.8%	23.5%	11.8%	23.5%	-	11.8%	11.8%	-	11.8%	41.2%	35.3%
	千葉県	17	-	17.6%	47.1%	23.5%	29.4%	5.9%	11.8%	29.4%	11.8%	17.6%	5.9%	11.8%
愛知県	8	-	-	83.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宿泊地別	三島市	24	100.0%	16.7%	16.7%	20.8%	25.0%	-	4.2%	25.0%	8.3%	16.7%	33.3%	29.2%
	下田市	62	6.5%	100.0%	19.4%	9.7%	12.9%	1.6%	12.9%	12.9%	4.8%	4.8%	16.1%	21.0%
	伊東市	77	5.2%	15.6%	100.0%	13.0%	23.4%	1.3%	5.2%	19.5%	1.3%	15.6%	9.1%	15.6%
	伊豆の国市	30	16.7%	20.0%	33.3%	100.0%	26.7%	3.3%	-	23.3%	-	16.7%	20.0%	20.0%
	伊豆市	50	12.0%	16.0%	36.0%	16.0%	100.0%	4.0%	6.0%	14.0%	4.0%	12.0%	16.0%	16.0%
	函南町	6	-	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	100.0%	16.7%	-	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%
	南伊豆町	28	3.6%	28.6%	14.3%	-	10.7%	3.6%	100.0%	10.7%	14.3%	10.7%	10.7%	7.1%
	東伊豆町	44	13.6%	18.2%	34.1%	15.9%	15.9%	-	6.8%	100.0%	2.3%	4.5%	4.5%	11.4%
	松崎町	15	13.3%	20.0%	6.7%	-	13.3%	6.7%	26.7%	6.7%	100.0%	40.0%	-	20.0%
	河津町	32	12.5%	9.4%	37.5%	15.6%	18.8%	6.3%	9.4%	6.3%	18.8%	100.0%	21.9%	28.1%
来訪回数別	初めて	92	12.0%	23.9%	37.0%	16.3%	32.6%	2.2%	9.8%	23.9%	10.9%	13.0%	18.5%	20.7%
	2回	40	15.0%	17.5%	32.5%	10.0%	22.5%	5.0%	12.5%	15.0%	-	15.0%	32.5%	25.0%
	3回	17	11.8%	41.2%	47.1%	5.9%	23.5%	-	-	17.6%	5.9%	23.5%	23.5%	35.3%
	4回	16	6.3%	43.8%	31.3%	6.3%	18.8%	-	25.0%	6.3%	6.3%	31.3%	12.5%	18.8%
	5回以上	53	7.5%	35.8%	32.1%	17.0%	7.5%	3.8%	18.9%	22.6%	5.7%	9.4%	15.1%	11.3%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）、土産（水産加工物）の4カテゴリが目立つ結果となった。
- 土産（菓子）、食事（海鮮以外）、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、土産（その他）の差分がプラスとなっている。

全体



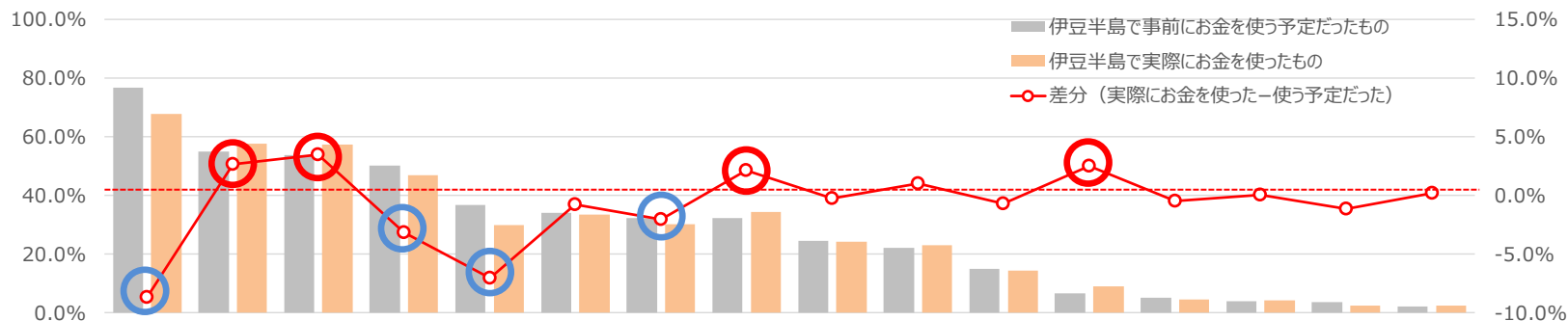
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	土産（水産物：生鮮食品）	交通バス・タクシー等	買物（スーパー・コンビニ・ドラッグストア）	土産（水産加工物）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	2426	72.4%	53.5%	52.8%	48.8%	33.7%	32.1%	29.8%	29.2%	23.9%	20.0%	14.4%	6.4%	4.7%	4.5%	3.3%	2.9%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	2426	63.8%	55.6%	55.6%	45.5%	27.1%	31.7%	32.0%	27.5%	23.3%	20.7%	13.8%	9.2%	4.5%	4.5%	2.2%	0.0%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	2426	-8.7%	2.1%	2.8%	-3.2%	-6.6%	-0.3%	2.3%	-1.7%	-0.5%	0.7%	-0.5%	2.8%	-0.2%	-0.1%	-1.1%	-2.9%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）の4カテゴリが目立つ結果となった。
- 土産（菓子）、食事（海鮮以外）、土産（水産加工物）、土産（その他）の差分がプラスとなっている。

宿泊者全体



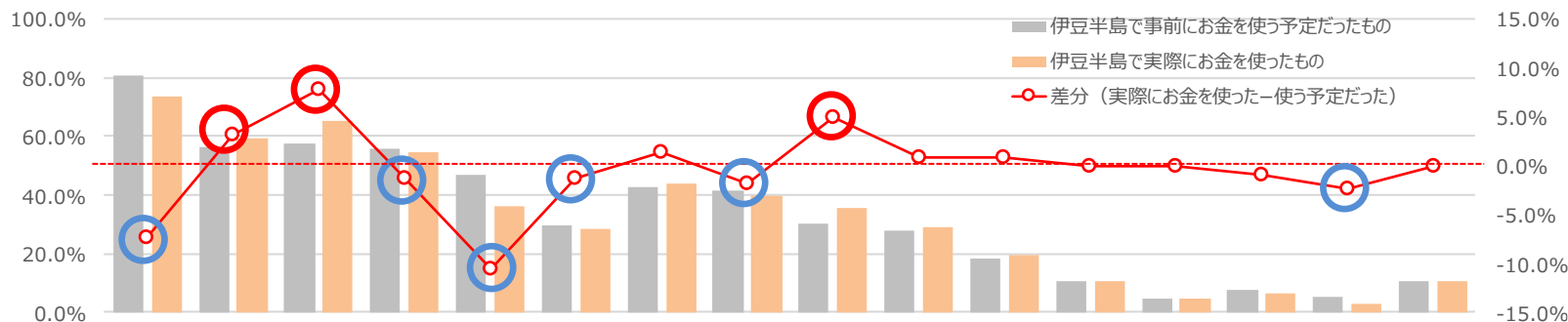
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	土産（水産物：生鮮食品）	交通（バス・タクシー等）	買物（スーパー・コンビニ・ドラッグストア）	土産（水産加工物）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	1939	76.6%	55.0%	53.7%	50.1%	36.7%	34.1%	32.2%	32.1%	24.4%	22.1%	15.0%	6.5%	5.0%	4.0%	3.5%	2.2%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	1939	67.9%	57.6%	57.1%	46.9%	29.7%	33.4%	30.1%	34.2%	24.1%	23.1%	14.3%	9.0%	4.5%	4.1%	2.3%	2.4%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	1939	-8.7%	2.6%	3.5%	-3.1%	-7.0%	-0.8%	-2.1%	2.1%	-0.3%	1.0%	-0.7%	2.5%	-0.5%	0.1%	-1.2%	0.2%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会損失）は、食事（海鮮）、土産（菓子）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産加工物）、土産（水産物：生鮮食品）、体験（ガイド・案内人）の6カテゴリが目立つ結果となった。中でも、食事（海鮮）や土産（水産物：生鮮食品）の機会ロスが大きいことが伺える。
- 食事（海鮮以外）、土産（菓子）、土産（農産物：生鮮食品）は、予定より支出が大きく上回っている。

2泊以上周遊者属性



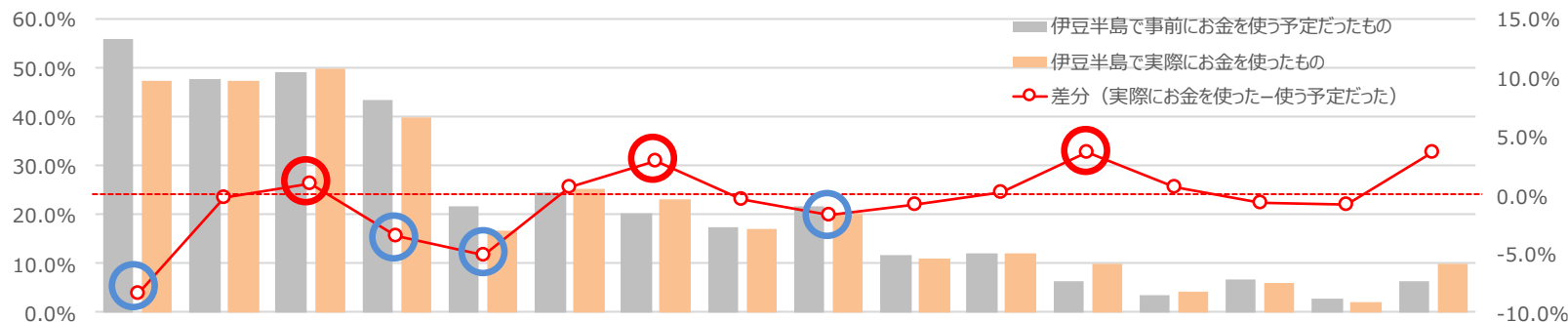
	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	土産（水産物：生鮮食品）	交通バス・タクシー等	買物（スーパー・コンビニ）	土産（水産加工物）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	218	80.7%	56.4%	57.8%	56.0%	46.8%	29.8%	42.7%	41.7%	30.3%	28.0%	18.3%	10.6%	4.6%	7.3%	5.0%	10.6%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	218	73.4%	59.6%	65.6%	54.6%	36.2%	28.4%	44.0%	39.9%	35.3%	28.9%	19.3%	10.6%	4.6%	6.4%	2.8%	10.6%
差分（実際にお金を使ったー使う予定だった）	218	-7.3%	3.2%	7.8%	-1.4%	-10.6%	-1.4%	1.4%	-1.8%	5.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	-0.9%	-2.3%	0.0%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス＝予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）、土産（農産物:生鮮食品）の4カテゴリが目立つ結果となった。
- 食事（海鮮以外）、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、土産（その他）の差分がプラスとなっている。

日帰り

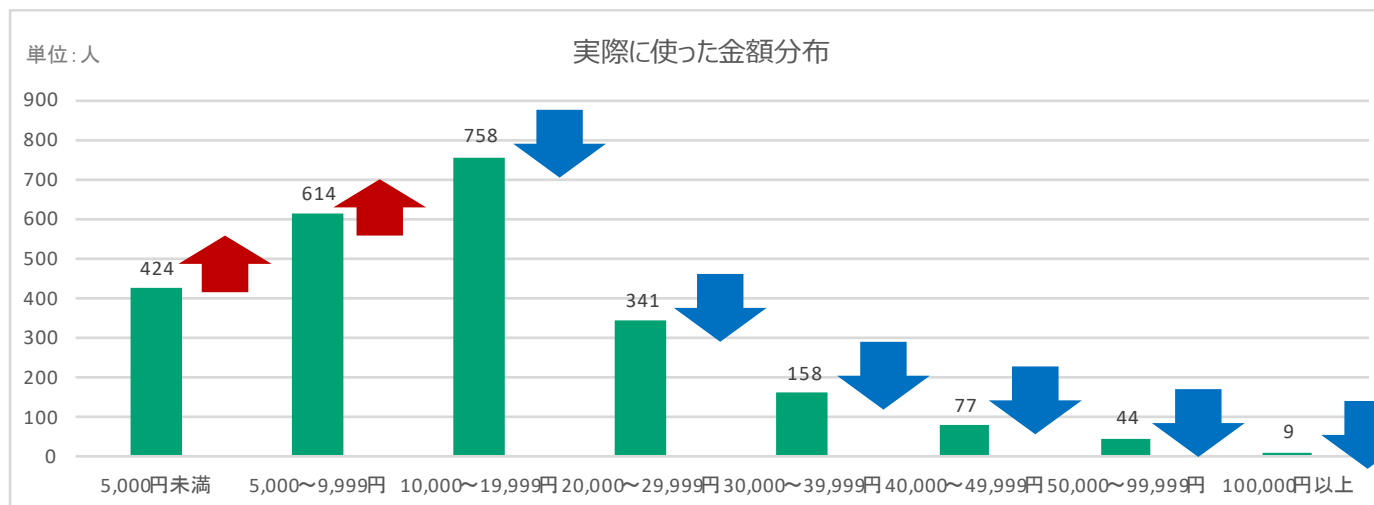
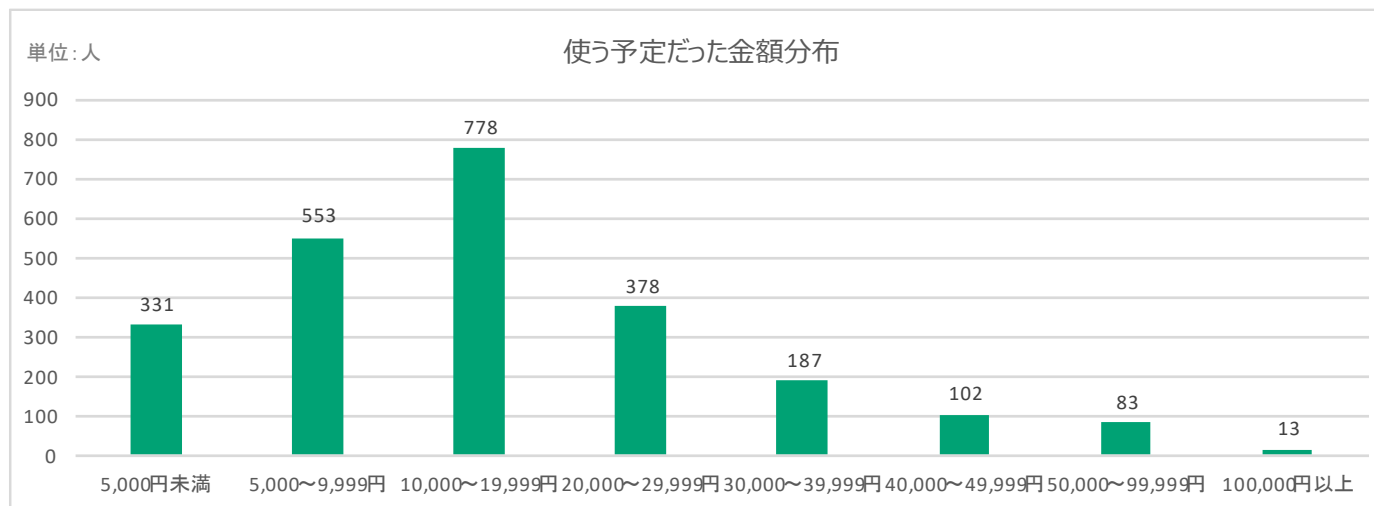


	n	食事（海鮮）	土産（菓子）	食事（海鮮以外）	施設入場料（観光施設等）	土産（水産物：生鮮食品）	交通バス・タクシー等	買物（スーパー・コンビニ・ドラッグストア）	土産（水産加工物）	土産（農産物：生鮮食品）	土産（地酒・地ビール）	土産（農産加工品）	土産（その他）	体験（アウトドア・スポーツ）	土産（工芸品）	体験（ガイド・案内人）	その他
伊豆半島で事前にお金を使う予定だったもの	487	55.9%	47.6%	49.1%	43.5%	21.8%	24.6%	20.3%	17.2%	21.8%	11.7%	11.9%	6.2%	3.5%	6.6%	2.7%	6.2%
伊豆半島で実際にお金を使ったもの	487	47.4%	47.4%	50.1%	40.0%	16.6%	25.3%	23.2%	16.8%	20.1%	10.9%	12.1%	9.9%	4.1%	6.0%	1.8%	9.9%
差分（実際にお金を使った－使う予定だった）	487	-8.4%	-0.2%	1.0%	-3.5%	-5.1%	0.6%	2.9%	-0.4%	-1.6%	-0.8%	0.2%	3.7%	0.6%	-0.6%	-0.8%	3.7%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（金額）

- 使う予定であった金額、実際に使った金額の、平均値・中央値・最頻値はいずれも10,000～19,999円。
- 実際に使った金額の分布は、金額が高くなるほど人数が減少傾向となっている。



観光アンケート 回答結果 (クロス分析)

事前の消費意向と実際の使途の分析 (属性別)

- 40代～70代で、食事（海鮮）の差分（機会ロス）が10%弱発生している。
- 60代や3泊の宿泊者は、土産（水産物：生鮮食品）の差分が10%超と大きい。
- 20～40代や4泊以上の宿泊者において、施設入場料（観光施設等）での機会ロスが大きい。

事前にお金を使う予定だったもの

		n	（食	（土	（施
			事	産	設
			（海	（水	（施
			鮮	産	設
			）	物	入
			）	：生	場
				鮮食	料
				品）	等
					）
全体	全体	2426	72.4%	33.7%	48.8%
性別	男性	914	73.2%	33.6%	43.2%
	女性	1497	72.1%	33.9%	52.4%
	答えたくない	15	53.3%	20.0%	20.0%
年齢別	15～19歳	16	75.0%	25.0%	37.5%
	20～29歳	166	74.7%	21.1%	57.2%
	30～39歳	281	76.5%	33.5%	56.9%
	40～49歳	474	69.8%	28.7%	52.3%
	50～59歳	767	72.6%	36.0%	48.0%
	60～69歳	530	73.0%	38.3%	45.5%
	70歳以上	174	69.0%	37.4%	33.3%
	答えたくない	18	61.1%	27.8%	38.9%
居住地別	首都圏1都3県	1400	75.2%	35.9%	48.3%
	静岡県	585	61.2%	28.4%	44.8%
	その他	441	78.5%	33.8%	55.6%
宿泊地別	南伊豆	341	79.8%	42.2%	46.0%
	東伊豆	1085	77.6%	36.5%	52.5%
	中伊豆	510	72.5%	37.3%	51.6%
	西伊豆	309	79.6%	42.1%	47.2%
泊数別	日帰り	487	55.9%	21.8%	43.5%
	1泊	1302	74.8%	35.5%	49.4%
	2泊	490	80.8%	38.8%	51.4%
	3泊	92	79.3%	45.7%	54.3%
	4泊以上	55	76.4%	32.7%	47.3%

実際にお金を使ったもの

（食	（土	（施
事	産	設
（海	（水	（施
鮮	産	設
）	物	入
）	：生	場
	鮮食	料
	品）	等
		）
63.8%	27.1%	45.5%
65.6%	29.4%	41.6%
62.7%	25.7%	48.2%
53.3%	20.0%	20.0%
56.3%	18.8%	37.5%
67.5%	15.7%	48.8%
73.3%	29.2%	51.6%
61.4%	22.8%	46.0%
62.7%	29.9%	47.6%
63.2%	27.9%	44.0%
59.8%	32.2%	29.9%
50.0%	27.8%	27.8%
66.2%	29.6%	44.4%
51.6%	20.5%	42.4%
72.1%	27.9%	53.5%
70.7%	34.0%	42.5%
69.2%	28.1%	49.6%
62.9%	29.2%	48.0%
71.8%	39.2%	47.6%
47.4%	16.6%	40.0%
65.7%	29.0%	45.5%
72.9%	31.2%	51.0%
72.8%	34.8%	50.0%
67.3%	25.5%	40.0%

機会ロス = 差分(実際 - 予定)

（食	（土	（施
事	産	設
（海	（水	（施
鮮	産	設
）	物	入
）	：生	場
	鮮食	料
	品）	等
		）
-8.7%	-6.6%	-3.2%
-7.5%	-4.2%	-1.6%
-9.4%	-8.2%	-4.2%
0.0%	0.0%	0.0%
-18.8%	-6.3%	0.0%
-7.2%	-5.4%	-8.4%
-3.2%	-4.3%	-5.3%
-8.4%	-5.9%	-6.3%
-9.9%	-6.1%	-0.4%
-9.8%	-10.4%	-1.5%
-9.2%	-5.2%	-3.4%
-11.1%	0.0%	-11.1%
-9.0%	-6.4%	-3.9%
-9.6%	-7.9%	-2.4%
-6.3%	-5.9%	-2.0%
-9.1%	-8.2%	-3.5%
-8.4%	-8.4%	-2.9%
-9.6%	-8.0%	-3.5%
-7.8%	-2.9%	0.3%
-8.4%	-5.1%	-3.5%
-9.1%	-6.5%	-3.9%
-8.0%	-7.6%	-0.4%
-6.5%	-10.9%	-4.3%
-9.1%	-7.3%	-7.3%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の用途の分析（予実金額層別）

- 比較的ボリュームゾーンである「実際の支出が5,000～9,999円」の回答者層は、食事（海鮮）・土産（水産物：生鮮食品）のカテゴリで大きな機会ロスが生じている。
- 実際の支出が「10,000～19,999円」～「30,000～39,999円」の回答者層は、3つのカテゴリで機会ロスが生じているものの、10%未満に留まった。
- 40,000円以上になると、機会ロスの割合が大きいく。

予定額	事前にお金を使う予定だったもの				実際にお金を使ったもの			機会ロス = 差分(実際-予定)		
	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)
全体	2426	72.4%	33.7%	48.8%	63.8%	27.1%	45.5%	-8.7%	-6.6%	-3.2%
5,000円未満	331	41.7%	14.8%	34.1%	35.3%	10.6%	33.2%	-6.3%	-4.2%	-0.9%
5,000～9,999円	553	64.2%	28.4%	46.8%	53.5%	21.3%	41.8%	-10.7%	-7.1%	-5.1%
10,000～19,999円	779	77.8%	36.8%	53.0%	69.8%	29.7%	49.9%	-8.0%	-7.2%	-3.1%
20,000～29,999円	378	82.3%	37.8%	52.6%	73.8%	33.1%	51.9%	-8.5%	-4.8%	-0.8%
30,000～39,999円	187	88.2%	48.7%	49.7%	82.4%	41.2%	45.5%	-5.9%	-7.5%	-4.3%
40,000～49,999円	102	91.2%	40.2%	58.8%	79.4%	30.4%	50.0%	-11.8%	-9.8%	-8.8%
50,000～99,999円	83	92.8%	49.4%	47.0%	78.3%	41.0%	43.4%	-14.5%	-8.4%	-3.6%
100,000円以上	13	92.3%	69.2%	53.8%	84.6%	46.2%	53.8%	-7.7%	-23.1%	0.0%

実際の支出額	事前にお金を使う予定だったもの				実際にお金を使ったもの			機会ロス = 差分(実際-予定)		
	n	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)	(食事 海鮮)	生(土産 鮮水産 食品物)	等(施設 観光入 施場設 料)
全体	2426	72.4%	33.7%	48.8%	63.8%	27.1%	45.5%	-8.7%	-6.6%	-3.2%
5,000円未満	424	42.0%	16.7%	35.1%	34.2%	11.8%	31.1%	-7.8%	-5.0%	-4.0%
5,000～9,999円	615	68.6%	30.9%	47.5%	53.8%	23.3%	41.8%	-14.8%	-7.6%	-5.7%
10,000～19,999円	758	80.3%	38.8%	52.9%	74.0%	29.8%	50.5%	-6.3%	-9.0%	-2.4%
20,000～29,999円	341	84.8%	39.6%	55.1%	79.5%	37.5%	55.7%	-5.3%	-2.1%	0.6%
30,000～39,999円	158	87.3%	41.1%	51.9%	85.4%	34.8%	48.1%	-1.9%	-6.3%	-3.8%
40,000～49,999円	77	93.5%	44.2%	50.6%	76.6%	37.7%	49.4%	-16.9%	-6.5%	-1.3%
50,000～99,999円	44	90.9%	54.5%	59.1%	84.1%	47.7%	52.3%	-6.8%	-6.8%	-6.8%
100,000円以上	9	100.0%	55.6%	66.7%	88.9%	55.6%	66.7%	-11.1%	0.0%	0.0%

観光アンケート 回答結果（クロス分析）

事前の消費意向と実際の使途の分析（当初の予定額の金額層と実際の支出金額層別）

- 実際の支出が5,000～9,999円の層を見てみると、予定額も同様に5,000～9,999円となっている層は61.5%に留まった。予定額が10,000～19,999円の層が25.9%となっている。その他の実支出額の層と比較しても、**予定額に対して同水準で下ブレしている層は見受けられない。**
- 予定額が10,000円以上の層においては、予定以上に支出が大きくなっているケースも一定数みられる。特に、10万円以上の実支出額の層では、予定額が50,000～99,999円だった割合が過半を占めた。

(予定額) (実支出額)	n	5,000円未満	5,000～9,999円	10,000～19,999円	20,000～29,999円	30,000～39,999円	40,000～49,999円	50,000～99,999円	100,000円以上
全体	2426	13.6%	0.0%	31.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5,000円未満	424	67.5%	25.2%	4.7%	1.2%	0.7%	0.5%	0.2%	0.0%
5,000～9,999円	615	6.2%	61.5%	25.9%	3.9%	1.6%	0.7%	0.3%	0.0%
10,000～19,999円	758	0.7%	8.6%	69.7%	14.5%	4.1%	1.3%	1.1%	0.1%
20,000～29,999円	341	0.6%	0.9%	18.5%	58.7%	12.6%	5.0%	2.6%	1.2%
30,000～39,999円	158	0.0%	0.0%	4.4%	22.2%	53.2%	12.0%	7.6%	0.6%
40,000～49,999円	77	0.0%	0.0%	2.6%	3.9%	15.6%	54.5%	23.4%	0.0%
50,000～99,999円	44	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	9.1%	18.2%	63.6%	6.8%
100,000円以上	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	44.4%

※各行において、列方向の和が100.0%

参考：伊豆半島内での支出予定品目と実際の支出品目との比較（全体）

- 順位が下がった品目は、土産（水産物：生鮮食品）である。
- 順位が上がった品目は、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、土産（水産加工物）である。

予定品目ランキング

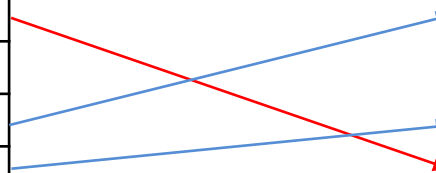
順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=2,426)

実際の支出品目ランキング

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=2,426)



参考：伊豆半島内での支出予定品目の比較

青：全体と比較して順位が2段階以上上がったもの
 赤：全体と比較して順位が2段階以上下がったもの

全体のランキング（予定）

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=2,426)

男性・女性ランキング（予定）

男性

女性

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	施設入場料（観光施設等）
4.	土産（菓子）↓
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=914)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1497)

旅行形態・年齢ランキング（予定）

夫婦・カップル旅行

子ども連れ家族旅行

2泊以上

首都圏1都3県

静岡県

それ以外

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	土産（水産加工物）↑
7.	買物（スーパー等）
8.	交通 バス・タクシー等 ↓
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,067)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	施設入場（観光施設等）↑
3.	土産（菓子）
4.	食事（海鮮以外）
5.	買物（スーパー等）↑
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（水産加工物）
8.	交通 バス・タクシー等 ↓
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=370)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等） ↓
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産加工物）↑
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=637)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,400)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	買物（スーパー等）
7.	土産（農産物：生鮮食品）↑
8.	交通 バス・タクシー等 ↓
9.	土産（水産加工物）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=585)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	施設入場（観光施設等）
4.	食事（海鮮以外）
5.	土産（水産物：生鮮食品）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	買物（スーパー等）
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=441)

参考：伊豆半島内での実際の支出品目の比較

青：予定と比較して順位が2段階以上上がったもの
 赤：予定と比較して順位が2段階以上下がったもの

全体のランキング（実際）

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=2,426)

男性・女性ランキング（実際）

男性

女性

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	交通 バス・タクシー等
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=914)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場料（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	交通 バス・タクシー等
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1497)

旅行形態・年齢ランキング（実際）

夫婦・カップル旅行

子ども連れ家族旅行

2泊以上

首都圏1都3県

静岡県

それ以外

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	土産（水産物：生鮮食品）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1,067)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産加工物）
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=370)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産加工物）
7.	交通 バス・タクシー等
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=637)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	食事（海鮮以外）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	交通 バス・タクシー等
6.	買物（スーパー等）
7.	土産（水産加工物）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（農産物：生鮮食品）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=1400)

順位	品目
1.	食事（海鮮以外）
2.	食事（海鮮）
3.	土産（菓子）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	買物（スーパー等）
6.	土産（水産物：生鮮食品）
7.	土産（農産物：生鮮食品）
8.	交通 バス・タクシー等
9.	土産（水産加工物）
10.	土産（地酒・地ビール）

(n=585)

順位	品目
1.	食事（海鮮）
2.	土産（菓子）
3.	食事（海鮮以外）
4.	施設入場（観光施設等）
5.	交通 バス・タクシー等
6.	土産（水産加工物）
7.	買物（スーパー等）
8.	土産（水産物：生鮮食品）
9.	土産（地酒・地ビール）
10.	土産（農産物：生鮮食品）

(n=441)

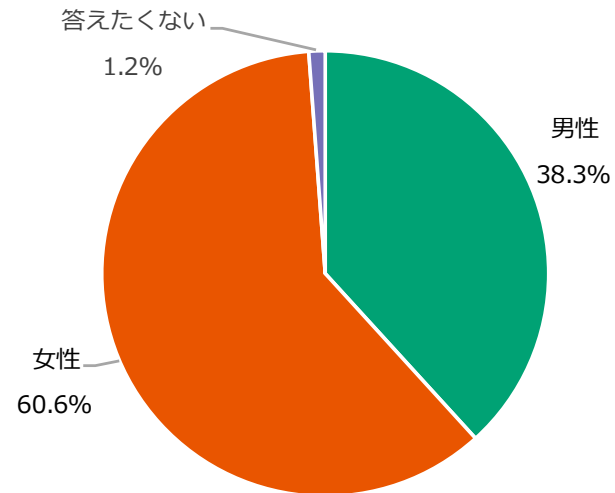
観光アンケート調査結果
2023年2月・2024年2月の単月比較

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

性別

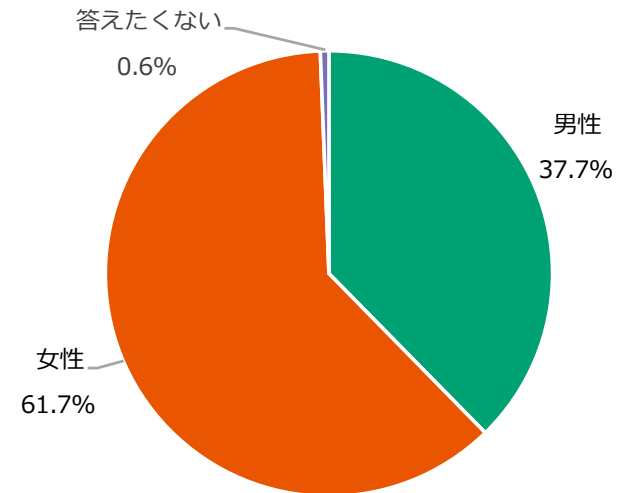
- 2024年2月は、2023年2月と同じく女性が6割強を占めた。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



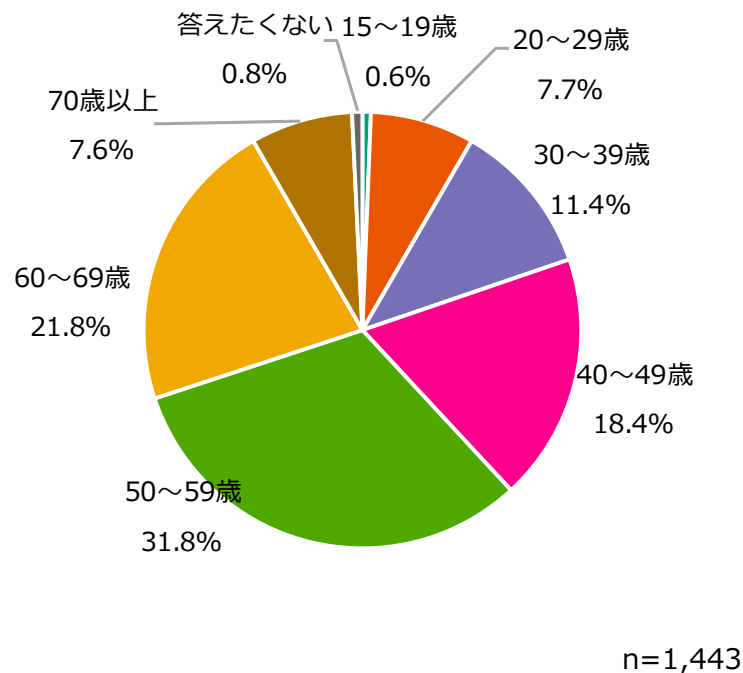
n=645

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

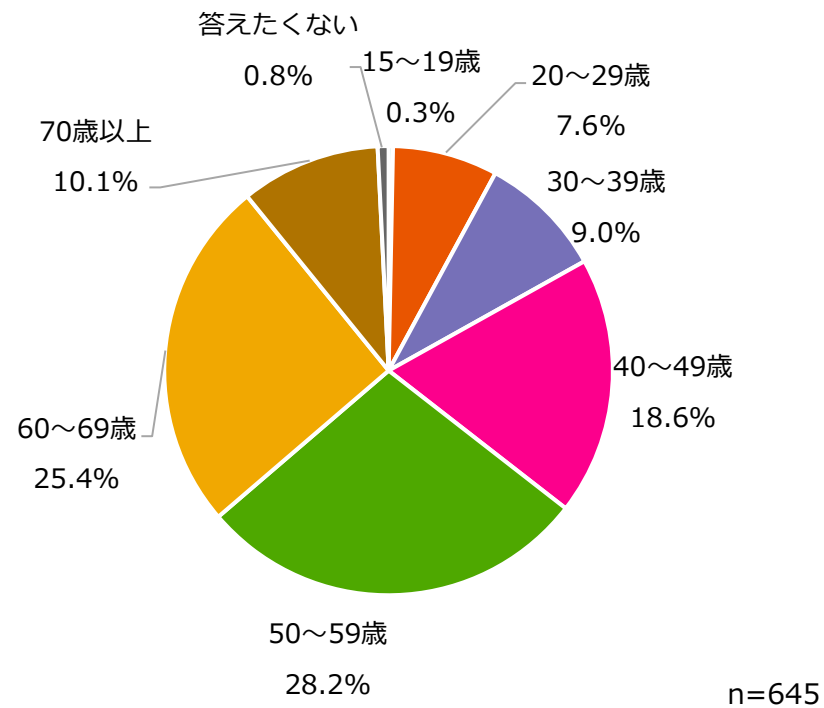
年齢

- 2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。
- 2023年2月と比べて、60代や70代以上の割合が3～4%程度増加し、50代は4%弱減少した。

2023年2月



2024年2月

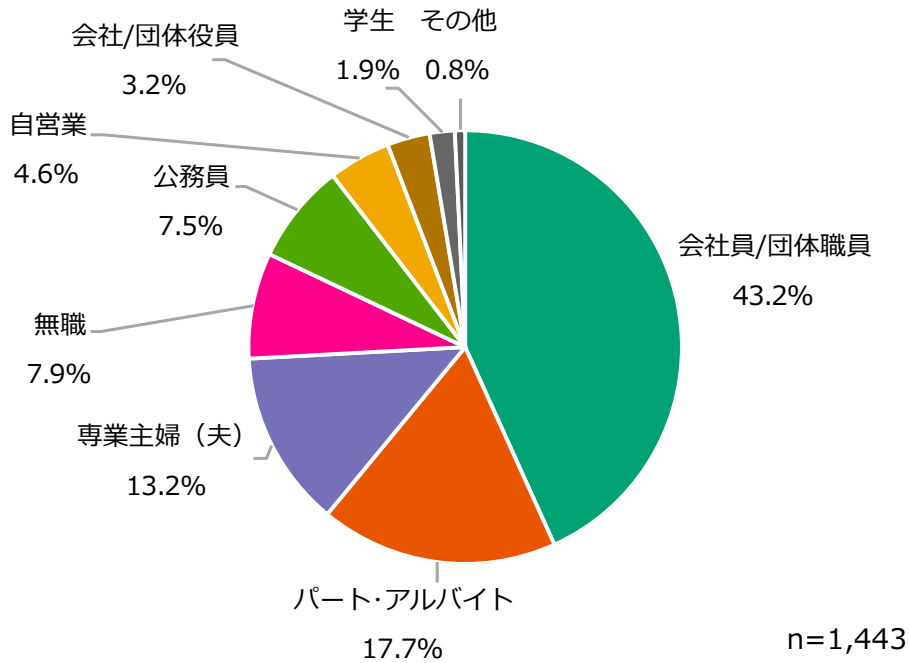


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

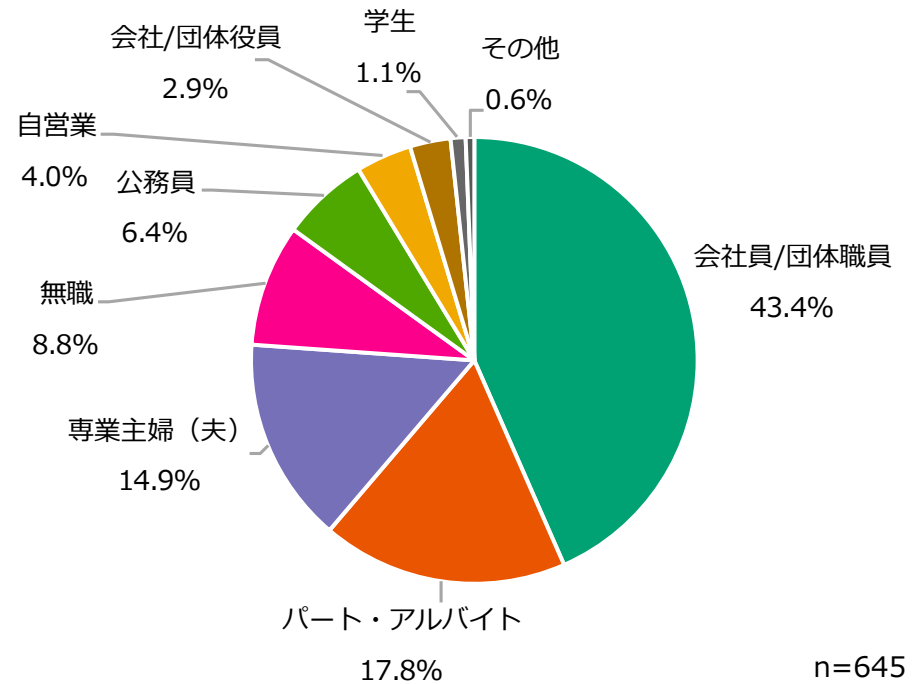
職業

- 2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。
- 2023年2月と比べて、専業主婦（夫）の割合が2%弱増加した。

2023年2月



2024年2月



【その他】※回答数の多い順

自由業（3名）、派遣社員（3名）、フリーライター（1名、以降同じ）、フリーランス、清掃員、福祉職員、保育士

【その他】※いずれも1名

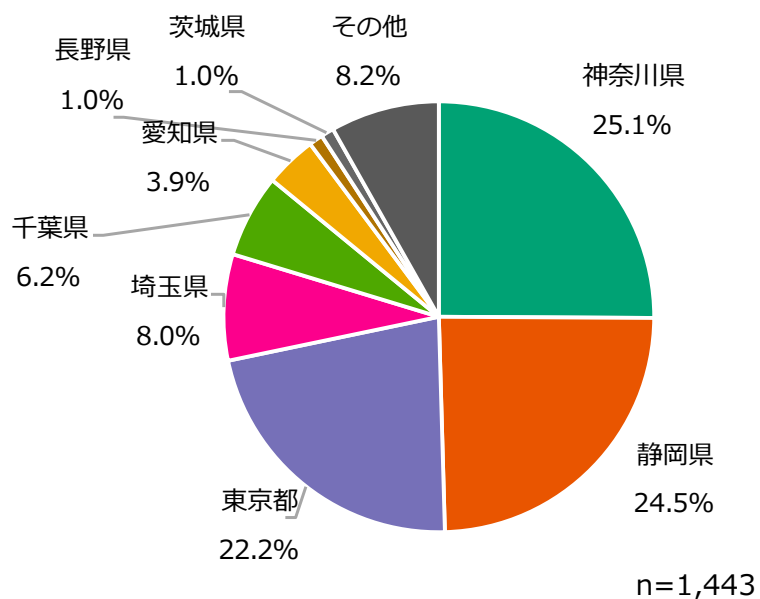
医師、契約社員、放課後児童支援員、派遣社員

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

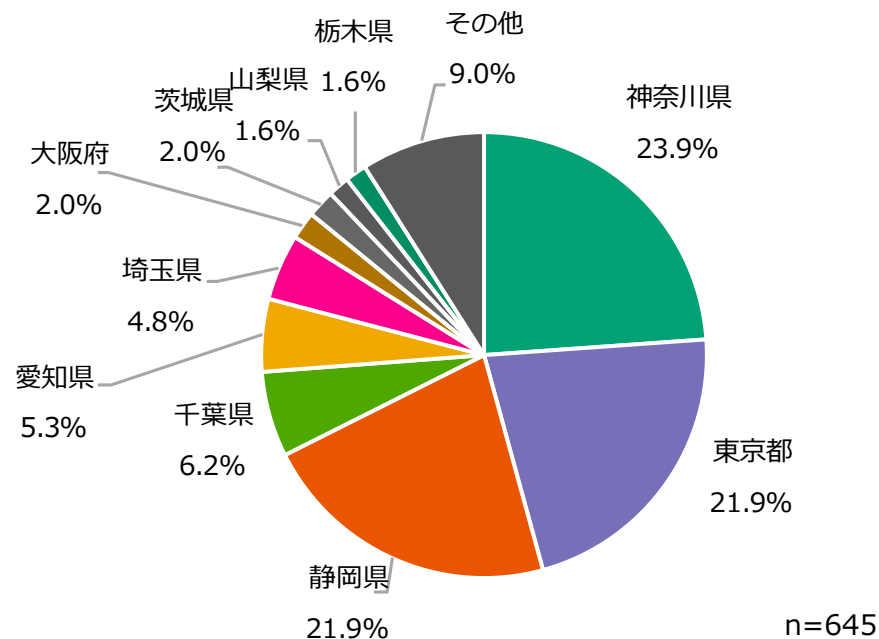
居住地（都道府県名）

- 2024年2月で最も多くを占めたのは、2023年2月と同じく神奈川県となった。
- 2023年2月は2位が静岡県、3位が東京都だったのに対し、2024年2月では静岡県と東京都が横並びで2位となった。

2023年2月



2024年2月



【その他】※回答数の多い順

京都府、群馬県、山梨県、岐阜県、大阪府、栃木県、兵庫県、三重県、滋賀県、石川県、福岡県、福島県、新潟県、山口県、和歌山県、佐賀県、秋田県、北海道、岩手県、宮崎県、山形県、鹿児島県、青森県、長崎県、奈良県、富山県

【その他】※回答数の多い順

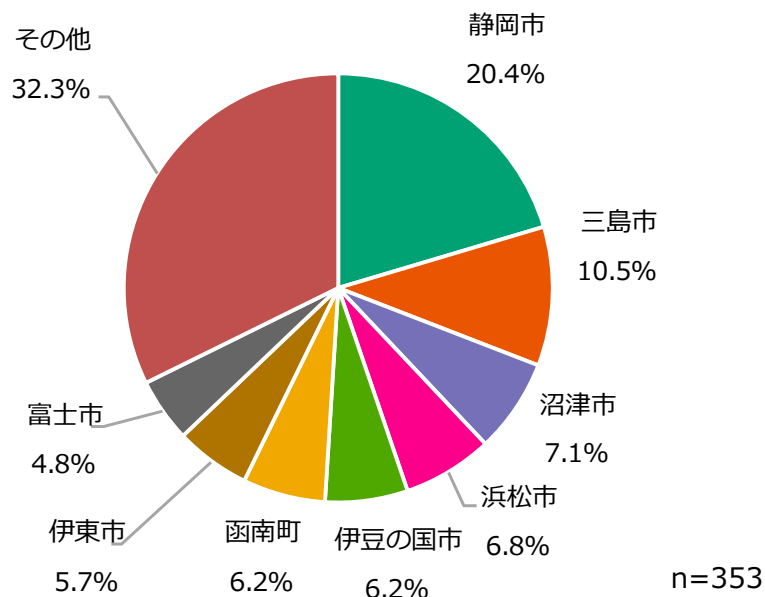
兵庫県、群馬県、長野県、三重県、新潟県、北海道、宮城県、岡山県、岩手県、京都府、岐阜県、広島県、山形県、島根県、徳島県、滋賀県、石川県、秋田県、青森県

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

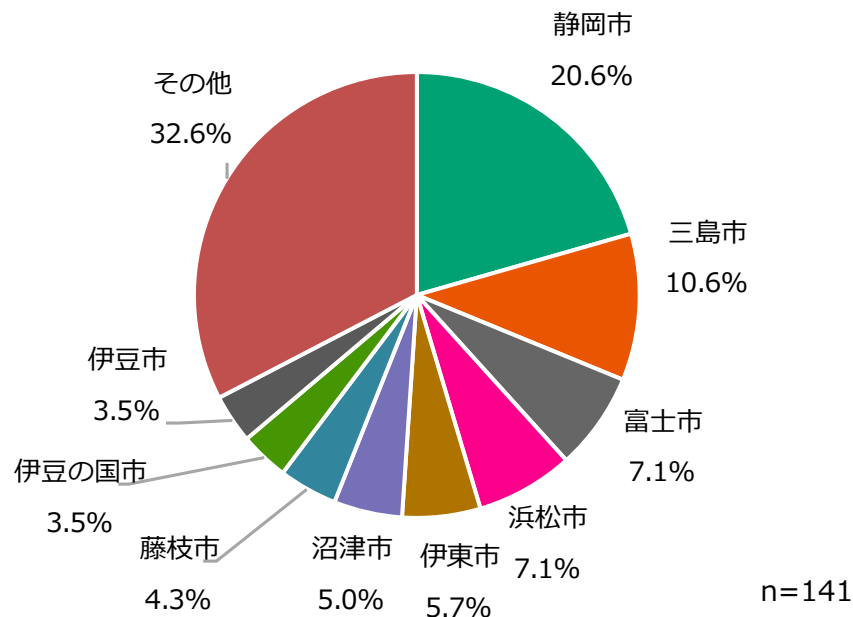
静岡県に居住している場合の市町名（単一回答）

- 2024年2月で最も多くを占めたのは、2023年2月と同じく静岡市となった。2位も三島市で変化なし。
- 2023年2月は沼津市が3位だったのに対し、2024年2月は富士市が3位となった。

2023年2月



2024年2月



【その他】※回答数の多い順

伊豆市、熱海市、磐田市、下田市、掛川市、焼津市、長泉町、藤枝市、袋井市、東伊豆町、富士宮市、湖西市、御殿場市、清水町、松崎町、裾野市、島田市、河津町、御前崎市、小山町、南伊豆町

【その他】※回答数の多い順

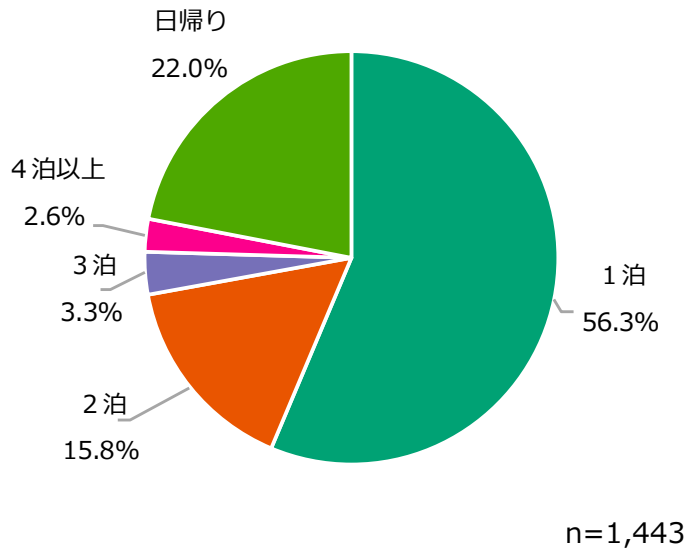
函南町、御殿場市、長泉町、清水町、下田市、島田市、掛川市、裾野市、東伊豆町、焼津市、熱海市、磐田市、吉田町、富士宮市、河津町、牧之原市、菊川市、袋井市、西伊豆町

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

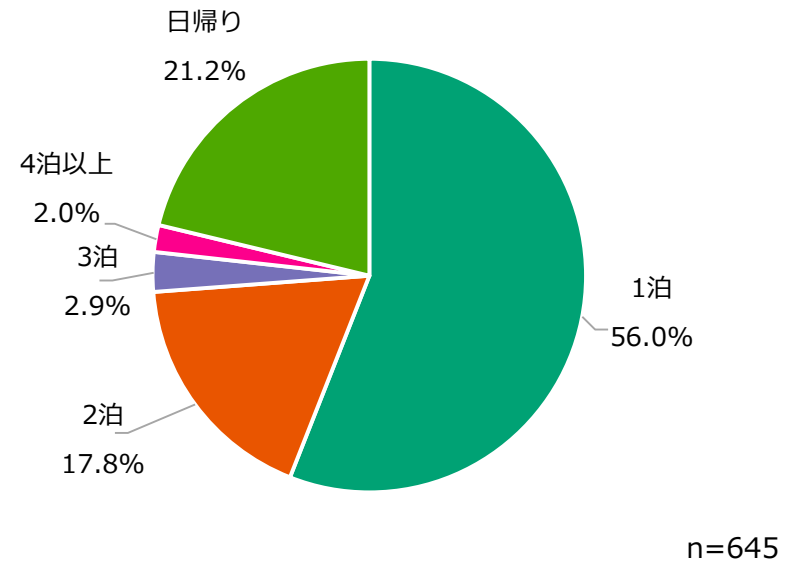
問1. 今回の旅行で伊豆半島に何泊しましたか。（単一回答）

- 2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。
- 2023年2月と比べて、2泊の割合が2%増加した。

2023年2月



2024年2月

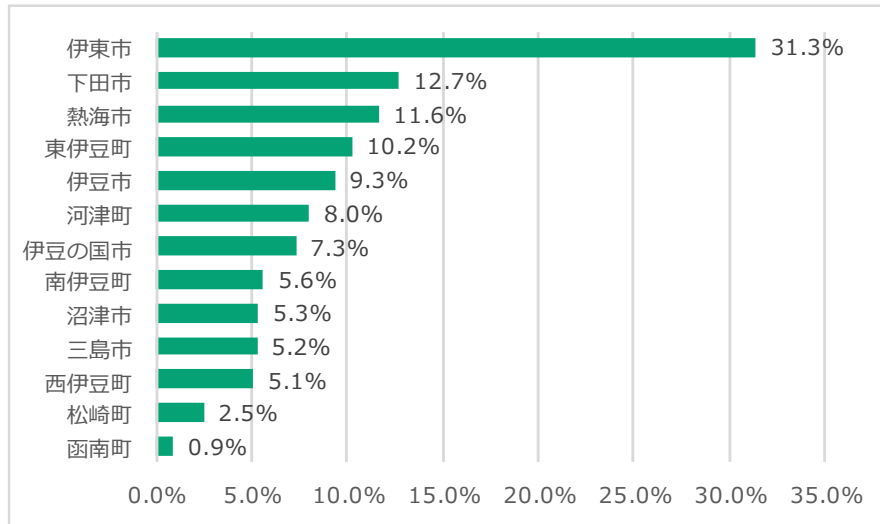


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問1-2. 今回の旅行でどこに宿泊しましたか。（複数回答）

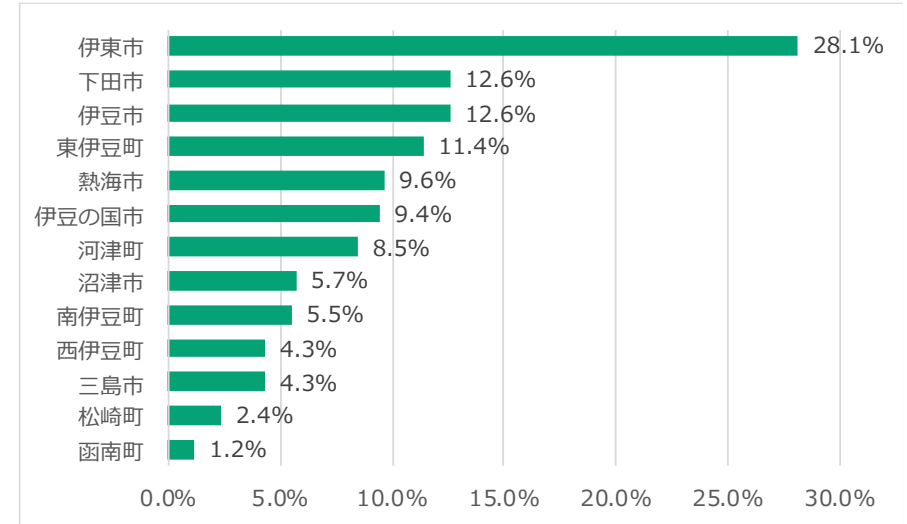
- 2024年2月は、2023年2月と同じく伊東市が最も多くを占めた。
- 2023年2月では5位だった伊豆市が、2024年2月では3位に浮上している。

2023年2月



n=1,126

2024年2月



n=508

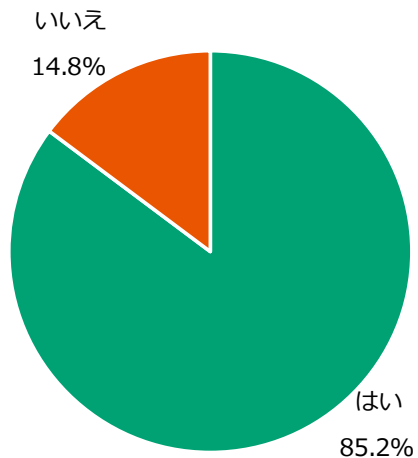
※地理的な偏りは補正しない

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問1-3. 夕食・朝食は宿泊施設内でとりましたか。（とる予定ですか）（単一回答）

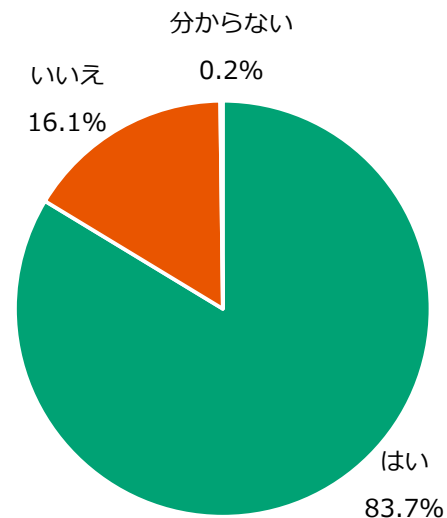
- 2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。
- 2023年2月と比べて、「はい」が1.5%減少した。

2023年2月



n=1,085

2024年2月



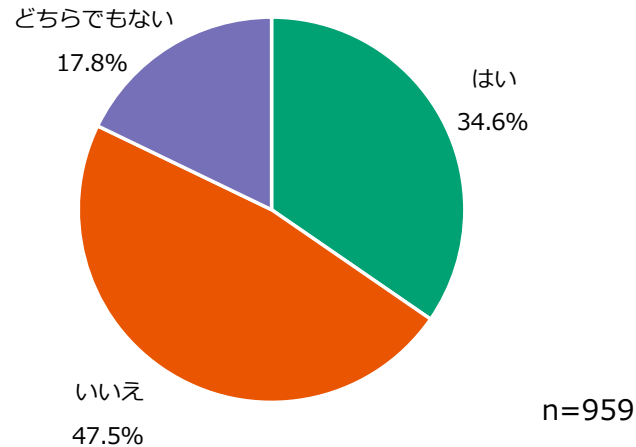
n=508

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

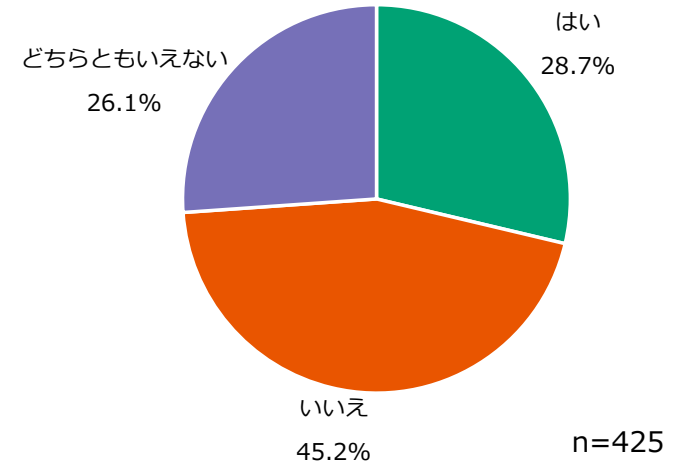
問1-4. 問1-3で「はい」とお答えした方に伺います。夕食、朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたいですか。（単一回答）

- 2024年2月は、2023年2月と比較して「はい」「いいえ」がともに減少した。
- 「どちらともいえない」が8%強増加している。

2023年2月



2024年2月



その理由

「はい」

- 外でも地元のもの食べてみたい
- 海産物を食べたい
- 宿の夕食はボリュームが多すぎる
- 個人店舗にも魅力を感じる
- 町を満喫したい
- ホテルの食事があまりよくない など

「いいえ」

- ゆっくりしたい、移動したくない
- 宿の食事が美味しい
- 愛犬と一緒になので
- 徒歩圏内に飲食店がない
- バイキング目的だから
- 旅館独自の食事を楽しみたい など

その理由

「はい」

- 地元の飲食店を楽しみたい
- 海鮮を食べたい
- いろいろなものを食べたい
- 土地の名産品を楽しみたい
- 口コミで評価が高いお店で食べてみたい
- 好きな店がある など

「いいえ」

- ゆっくり過ごしたい
- 面倒
- 宿の食事が美味しい
- 外食で飲酒すると車が使えない
- 食事できるところが遠い
- 宿を満喫したい など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

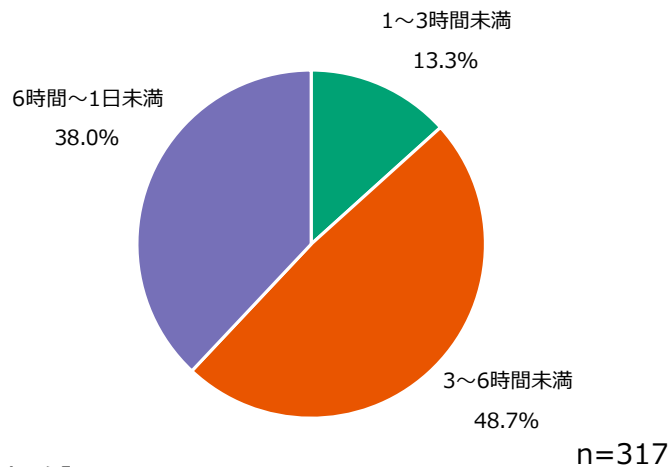
問2.伊豆半島でのおおよその滞在時間をお答えください。

- 2024年2月は、2023年2月と比較して日帰りの滞在時間が増加傾向となった。
- 宿泊では、2023年2月と比べて大きな滞在時間の変化はみられない。2日以上が1.6%減少した。

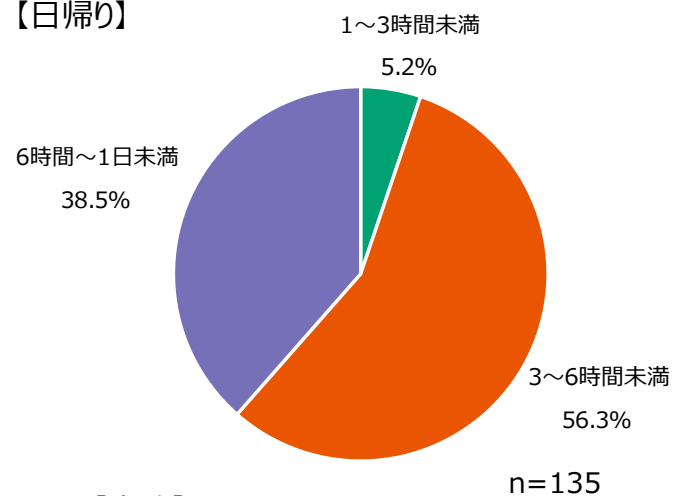
2023年2月

2024年2月

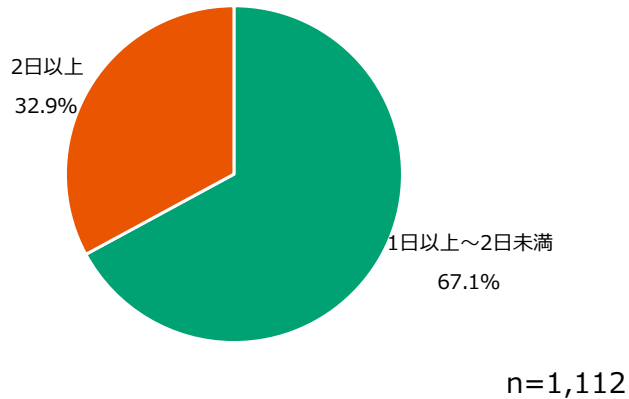
【日帰り】



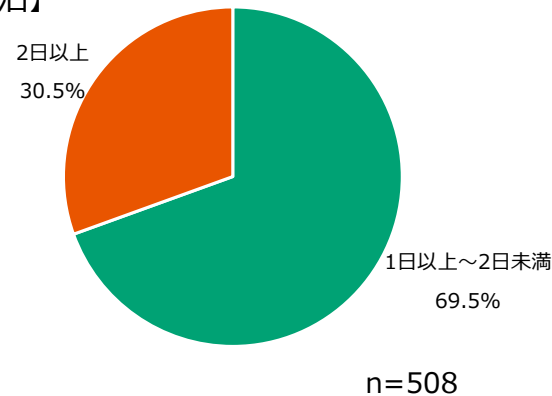
【日帰り】



【宿泊】



【宿泊】

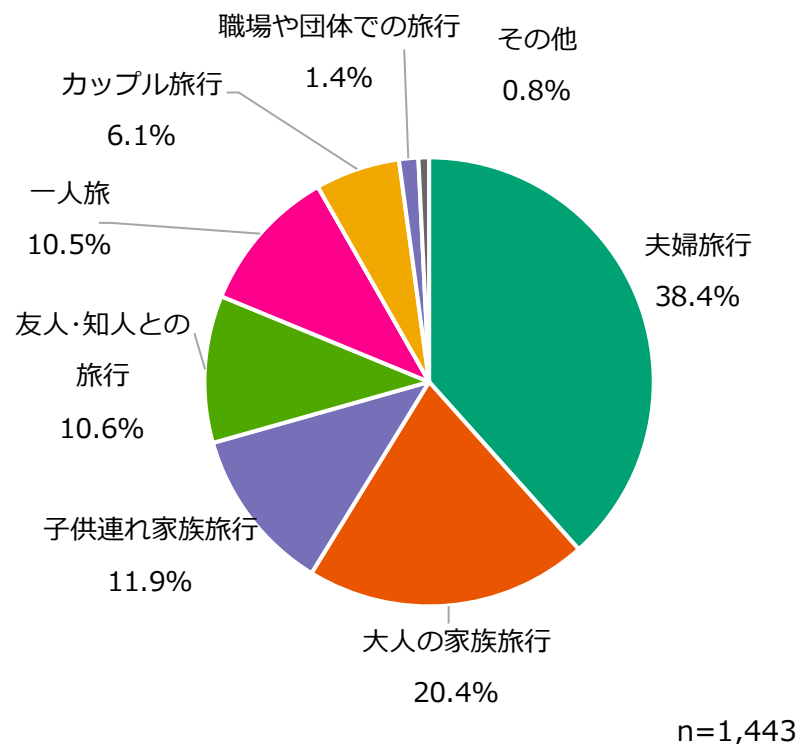


伊豆旅行アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

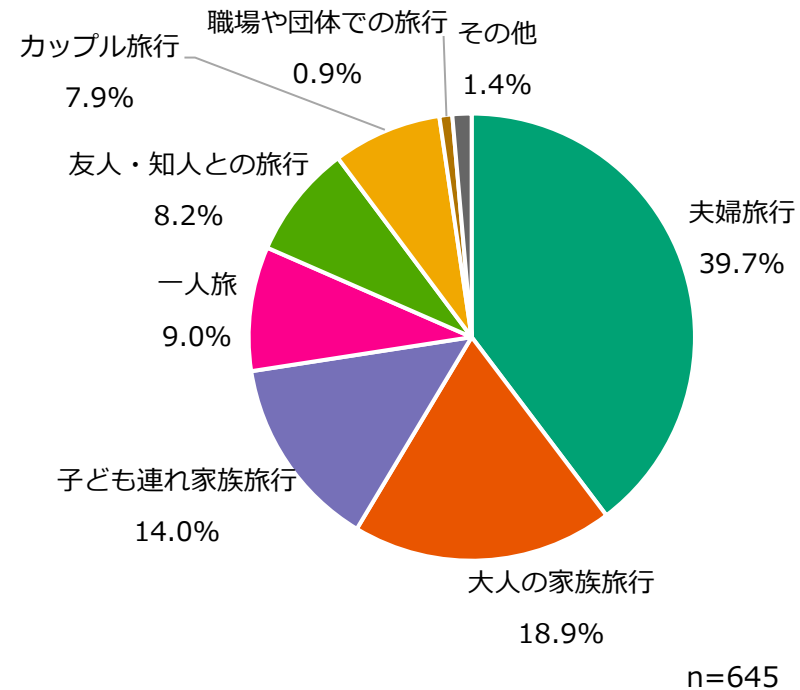
問4. 今回の旅行は、どなたと一緒に来ましたか。（単一回答）

- 2024年2月は、2023年2月と同じく夫婦旅行が最も多く、4割弱を占めた。
- 友人・知人との旅行割合は若干増加し、一人旅と順位が入れ替わった。

2023年2月



2024年2月

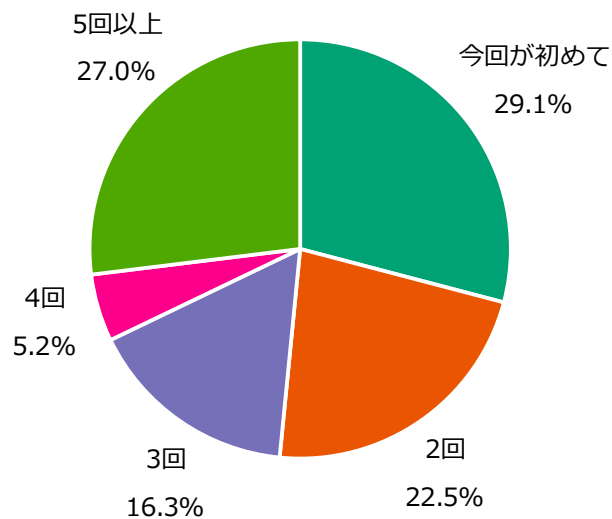


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問5. 伊豆半島への訪問頻度について、「直近1年間」での来訪回数を教えてください。（単一回答）

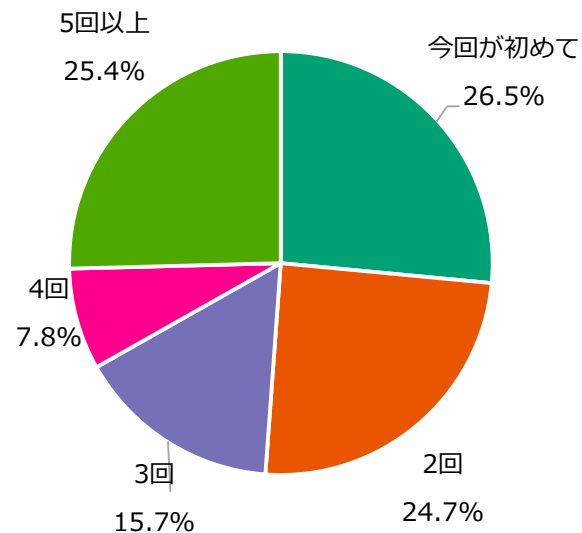
- 2024年2月は、2023年2月と比較して2回、4回の割合が増加した。
- 一方で、初めて、3回、5回の割合が減少している。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



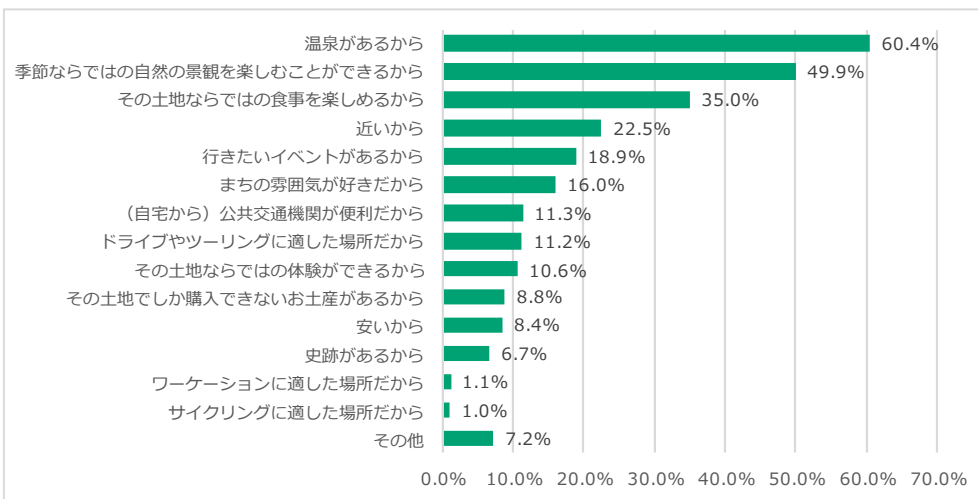
n=645

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問6. 今回、旅行先として伊豆半島を選んだ理由をお答えください。（複数回答）

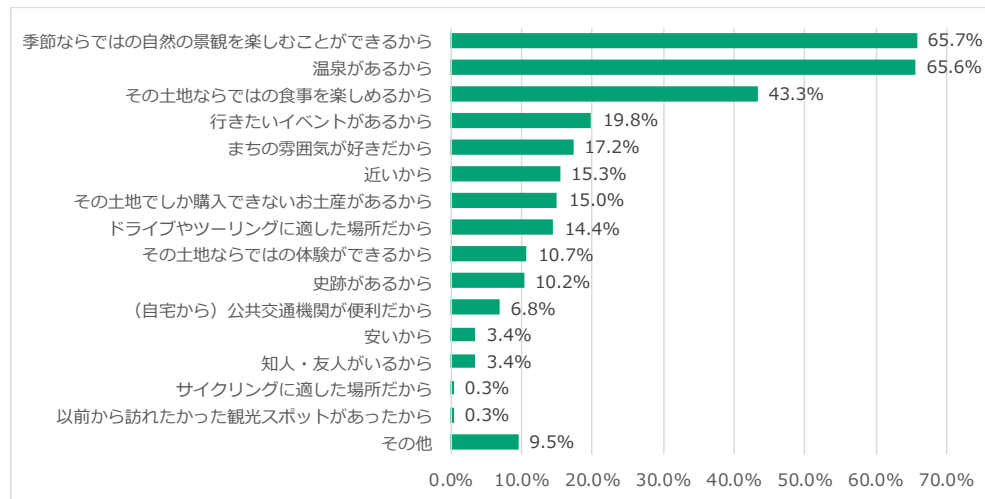
- 2023年2月は「温泉があるから」が1位だったのに対し、2024年2月は「季節ならではの自然の景観を楽しむことができるから」が1位となっている。
- ただし、割合としては「温泉があるから」も2023年2月より増加した。

2023年2月



n=1,350

2024年2月



n=645

【その他】

- ウォーキング
- キャッシュレスキャンペーンを実施していたから
- イチゴ狩り
- イズー
- クライミングスポットがあるから
- この時期暖かいから など

【その他】

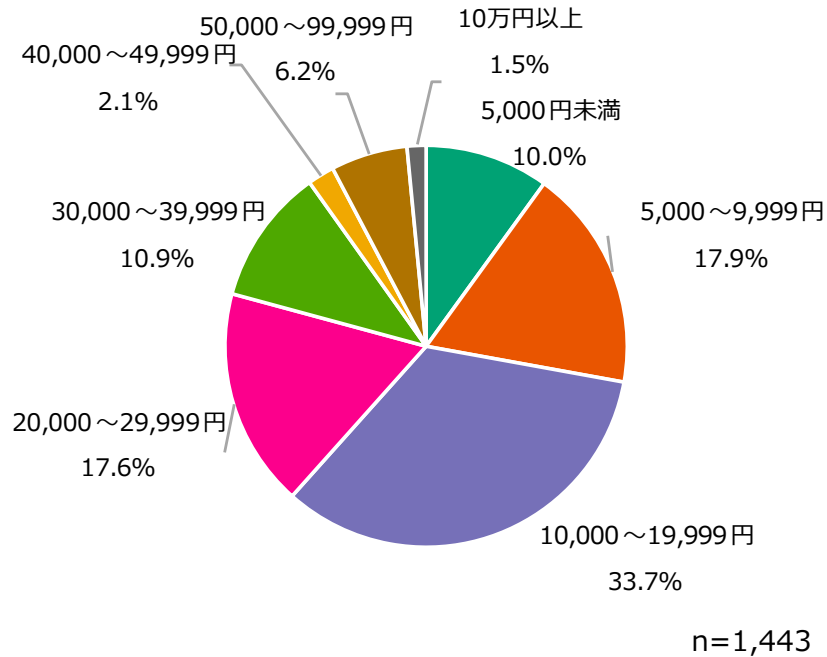
- サーフィン
- お墓参り
- 用事
- ダイビング
- ペットと泊まれるホテルがあるから
- ワーケーションに適した場所だから など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

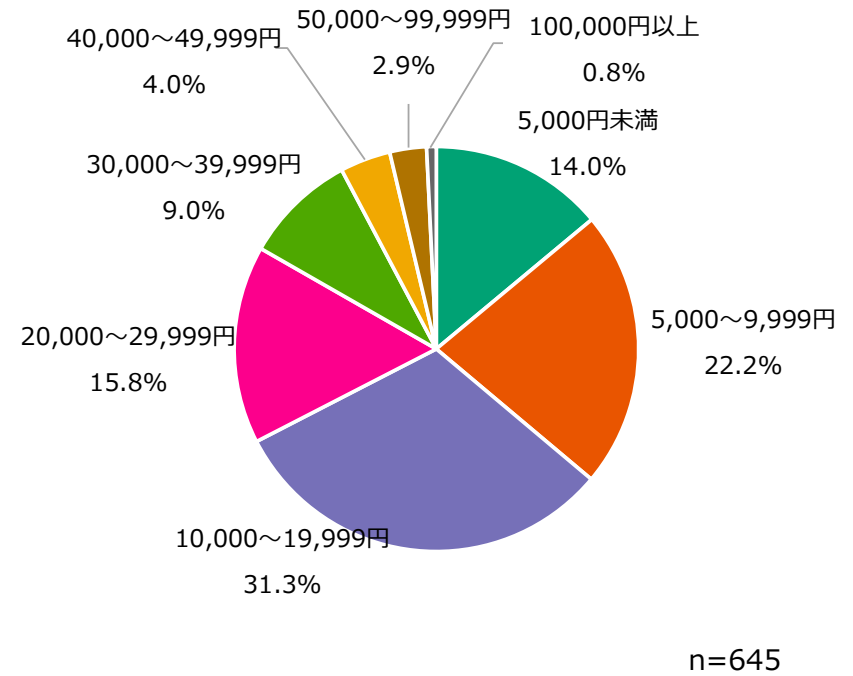
問8. 今回の旅行で、事前の予定では伊豆半島で一人あたり、お金をいくら使うつもりでしたか。（宿泊費を除く）（単一回答）

- 2023年2月と比較して、2024年2月は5,000円未満、5,000～9,999円、4万円台の割合が増加した。

2023年2月



2024年2月

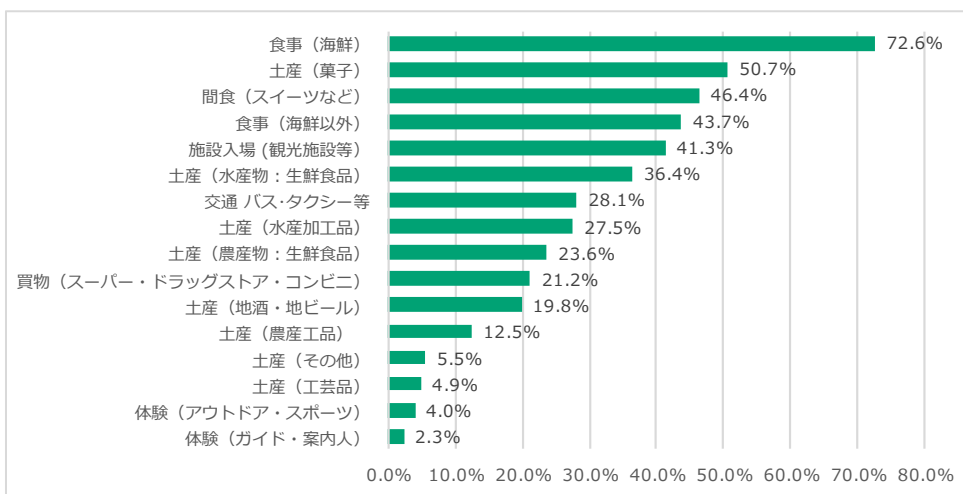


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問8-2. 問8でお聞きした使うつもりであった金額に含まれるものを教えてください。（複数回答）

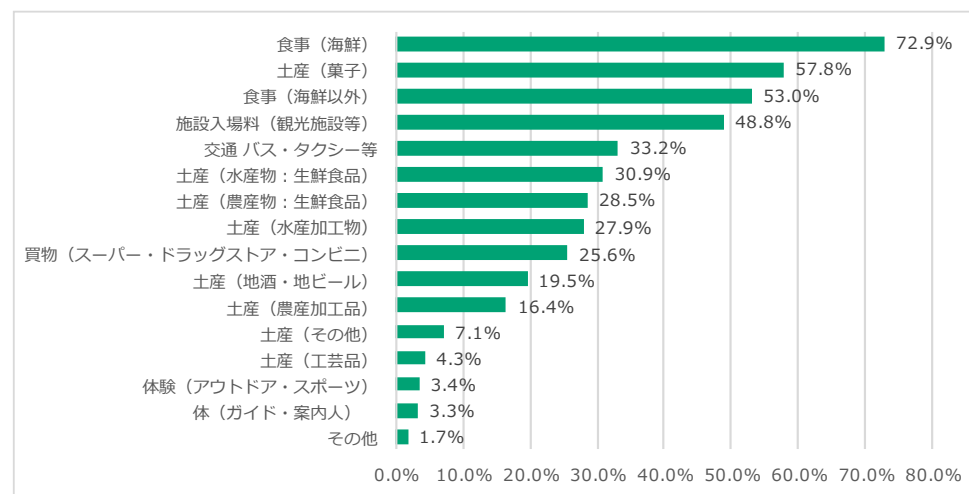
- 2023年2月と比較して、2024年2月では食事（海鮮以外）の割合が1割弱増加した。
- その他では、施設入場料（観光施設等）や交通（バス・タクシー等）も増加している。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



n=645

- 2024年2月は「間食（スイーツなど）」は選択肢から除外

【その他】

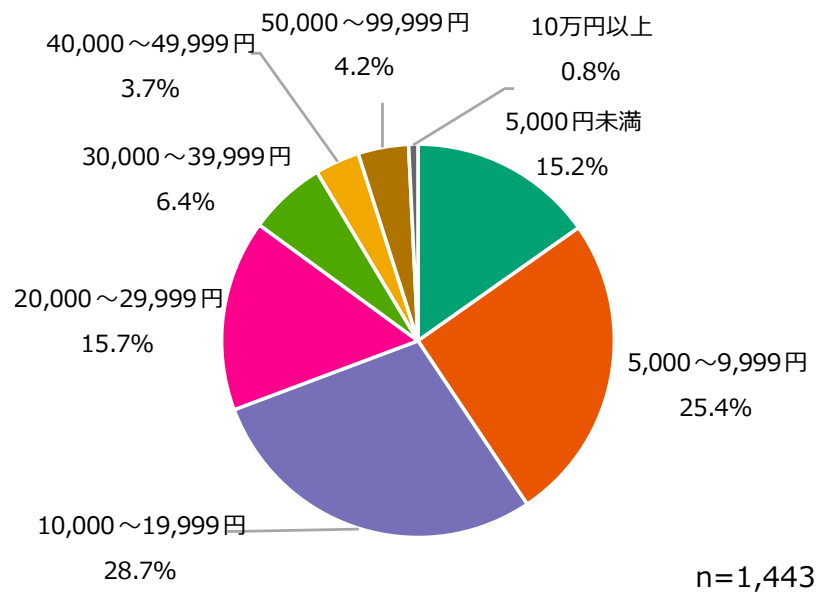
- 駐車場代
- ガソリン代
- いちご狩り
- 屋台
- ご朱印、おまもり
- ドッグラン
- アニメグッズ
- エステ など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

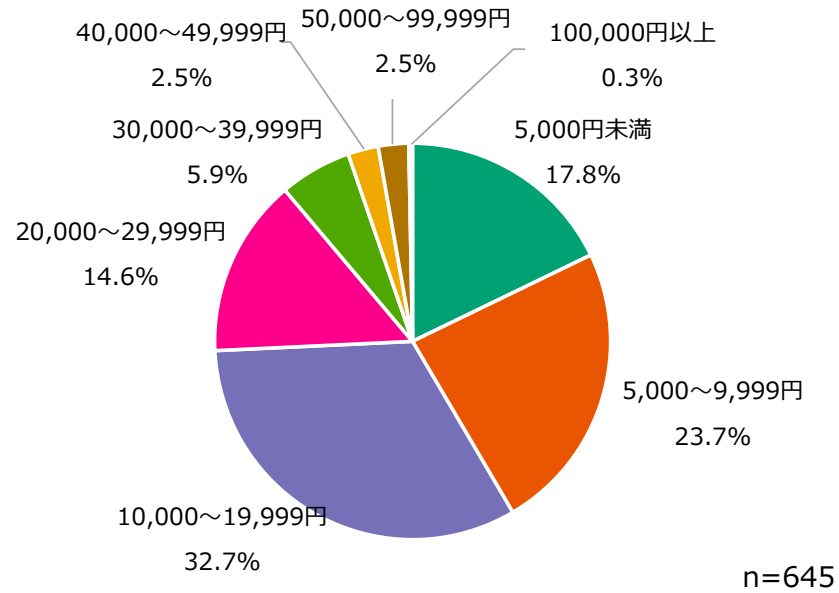
問9. 今回の旅行中、伊豆半島で実際に使った一人あたりの金額（宿泊費を除く）を教えてください。（単一回答）

- 2023年2月と比較して、2024年2月は1万円台が5%増加した。また、5,000円未満も3%弱増加している。その他の割合は減少した。

2023年2月



2024年2月

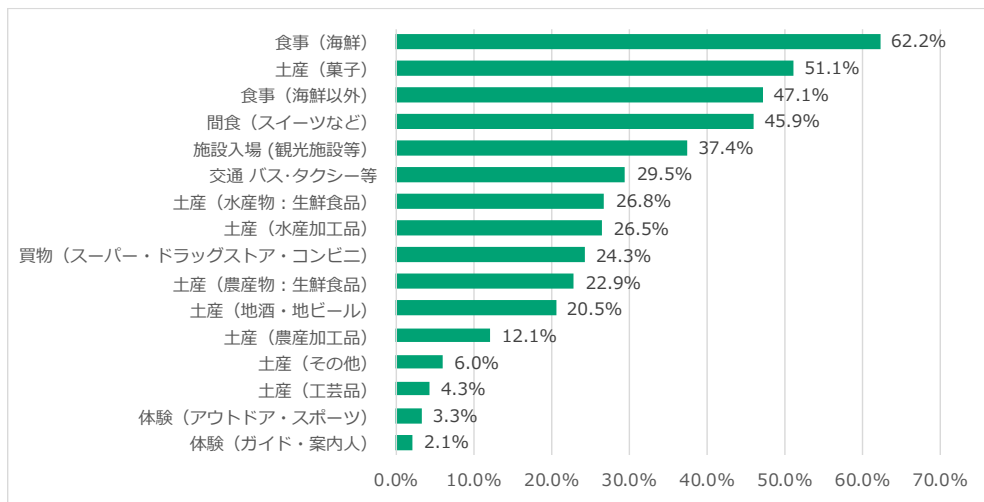


観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問9-2. 問9でお聞きしたお金は何に使いましたか。教えてください。（複数回答）

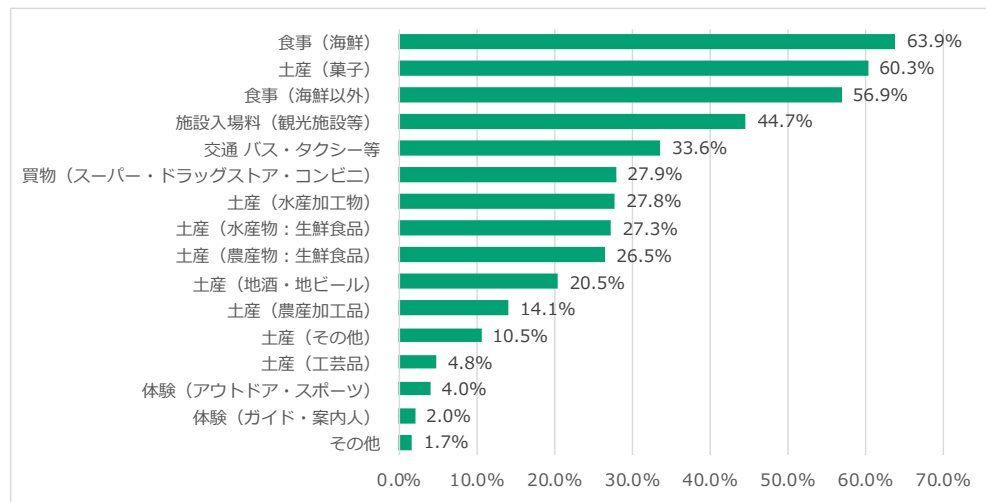
- 上位10項目はいずれも支出行動は増加しており、2024年2月の1～3位は、2023年2月と変わらず食事（海鮮）、土産（菓子）、食事（海鮮以外）となった。
- 特に土産（菓子）、食事（海鮮以外）では、9ポイント程度アップとなり、施設入場も7ポイントアップとなった。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



n=645

【その他】

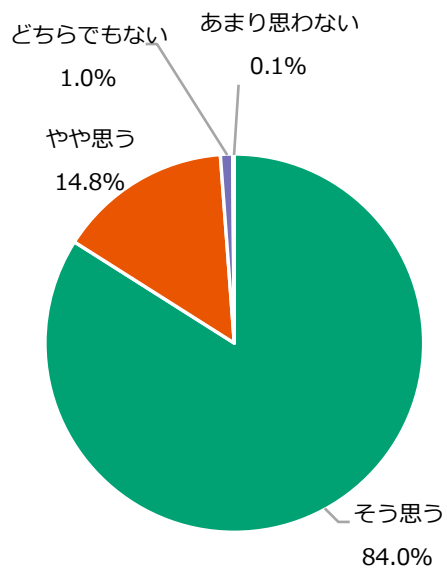
- 駐車場代
- ガソリン代
- アニメグッズ
- 御朱印、おまもり
- 日帰り温泉
- 娯楽施設（射的）
- サボテンの寄せ植え など

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問12. 今後、伊豆半島に来たいと思いますか。（単一回答）

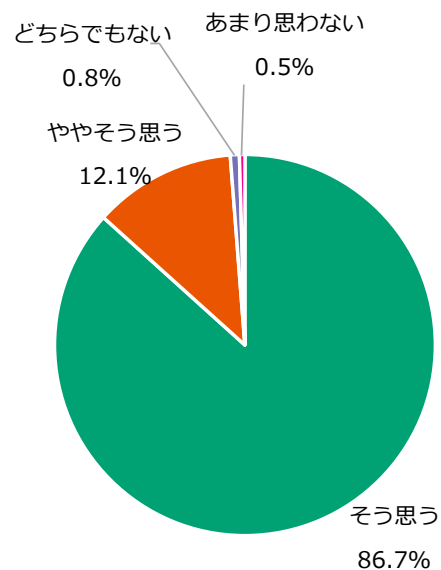
- 2024年2月は、2023年2月と同じく「そう思う」「やや思う」が99%程度を占めた。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



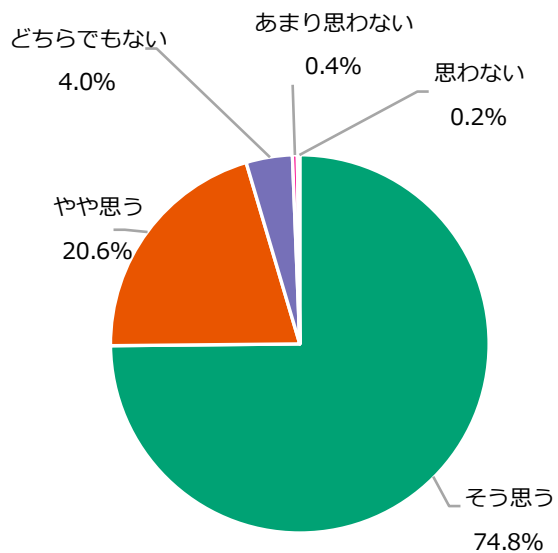
n=645

観光アンケート 回答結果（単純集計） 2023年2月・2024年2月の単月比較

問13. あなたの身近な人に伊豆半島の訪問を勧めたいと思いますか。(単一回答)

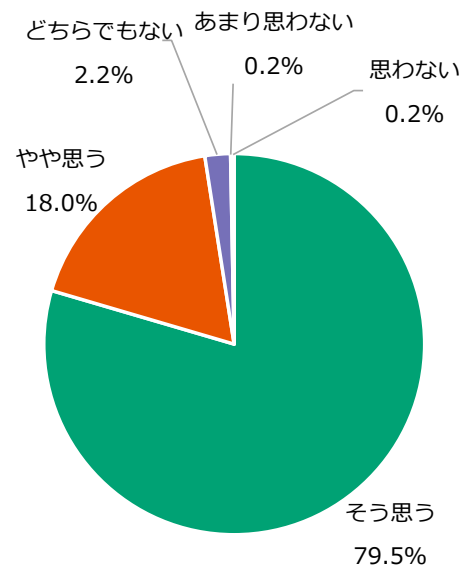
- 2024年2月は、2023年2月と比べて「そう思う」が5%弱増加した。
- 「そう思う」の「やや思う」の合算では、2%程度増加している。

2023年2月



n=1,443

2024年2月



n=645

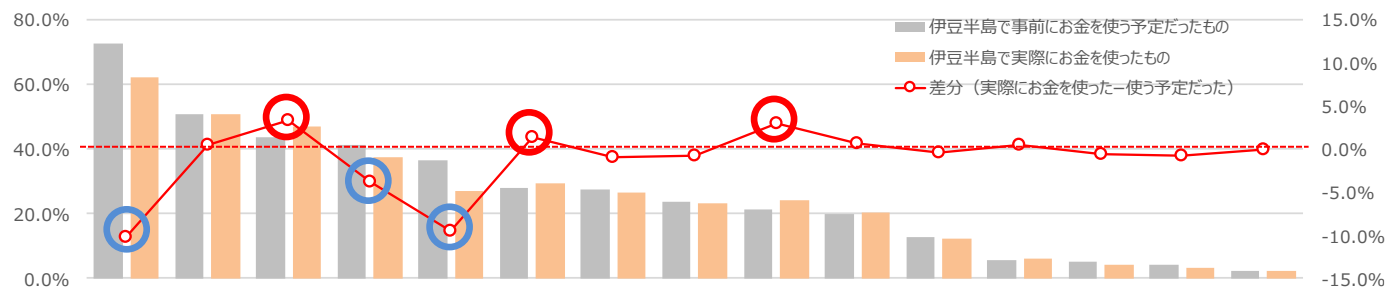
観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年2月・2024年2月の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス = 予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、2024年2月と2023年2月でともに食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 2024年2月は、2023年2月と比べて土産（菓子）や土産（その他）の差分が増加している。

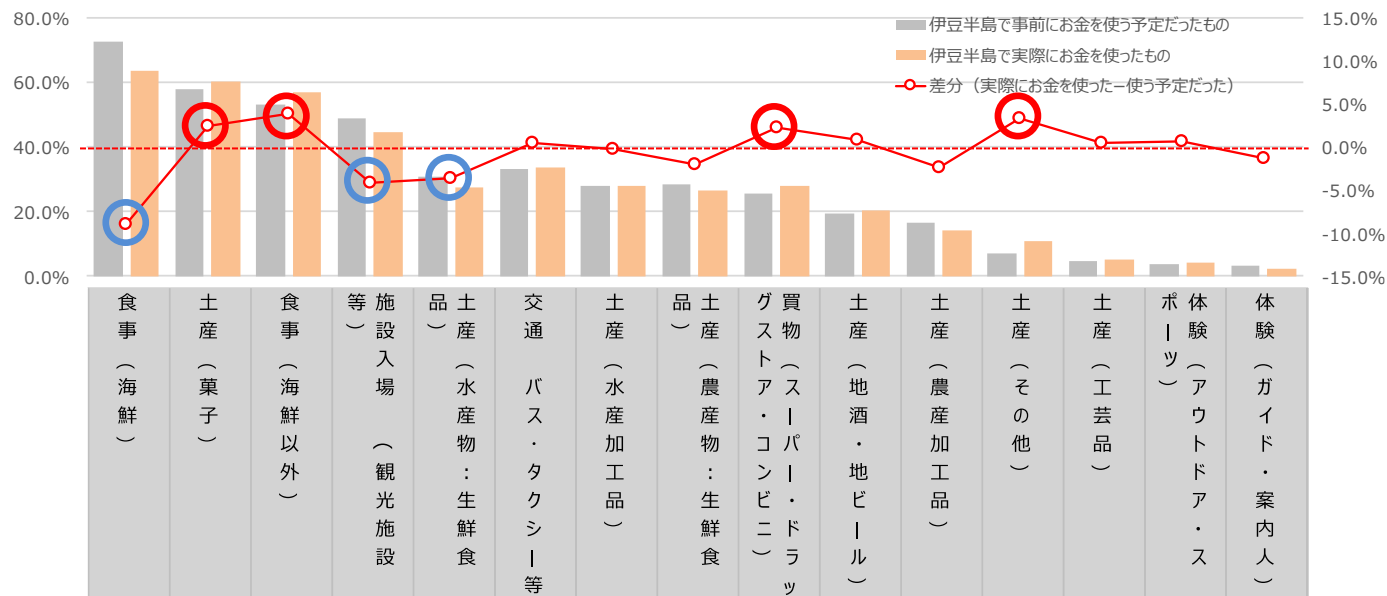
全体

2023年2月



n=1,443

2024年2月



n=645

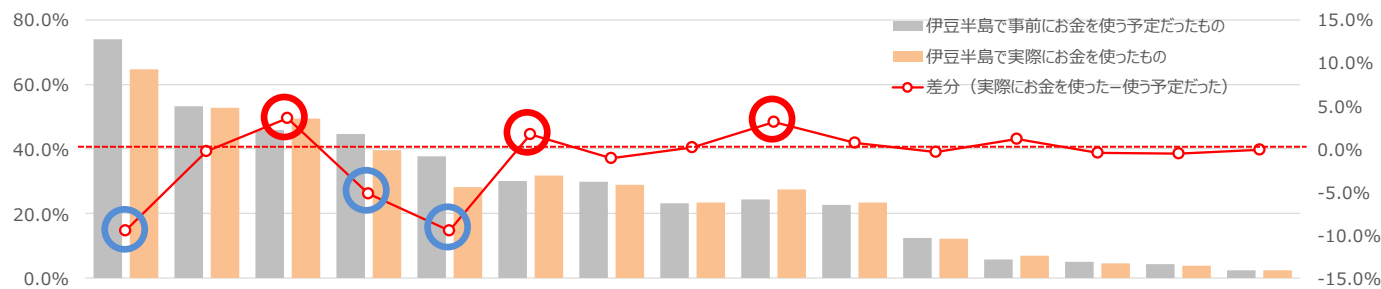
観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年2月・2024年2月の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 差分マイナス= 予定よりもそのカテゴリについてのお金を使っていない（機会ロス）は、日帰りを含めた全体と同じく、2024年2月と2023年2月でともに食事（海鮮）、施設入場料（観光施設等）、土産（水産物:生鮮食品）の3カテゴリが目立つ結果となった。
- 2024年2月は、2023年2月と比べて土産（菓子）や土産（その他）の差分が増加している。一方で、交通（バス・タクシー等）の差分は減少した。

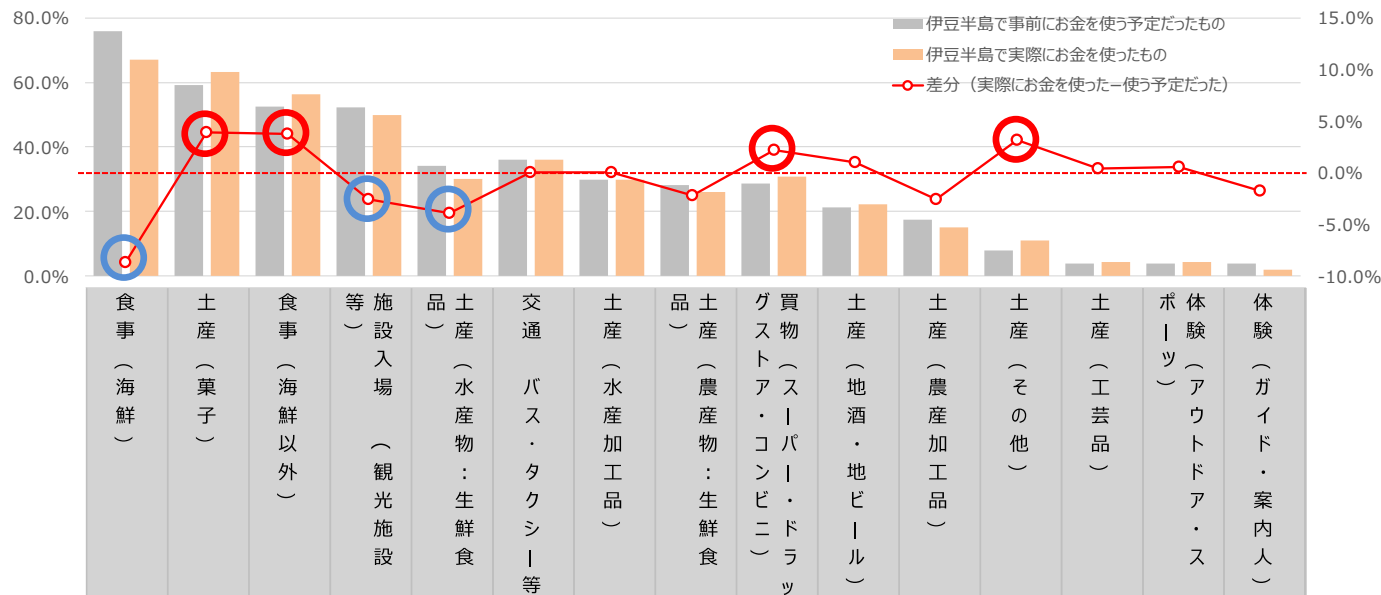
宿泊者全体

2023年2月



n=1,126

2024年2月



n=508

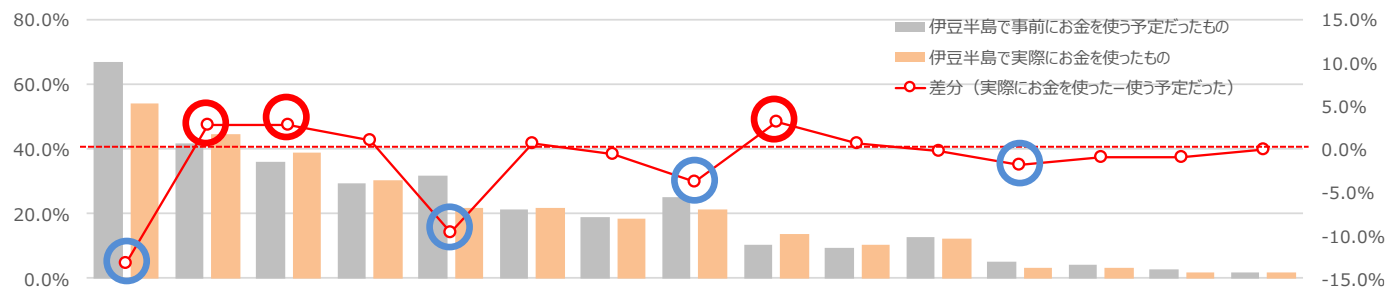
観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年2月・2024年2月の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（アイテム・消費項目）

- 日帰りでは、2023年2月で差がプラスになっていた施設入場（観光施設等）および土産（菓子）が2024年2月にマイナスになっている。一方で、土産（その他）はプラスに転じた。
- その他では、土産（水産物：生鮮食品）および土産（農産物：生鮮食品）の差のマイナス幅が減少した。

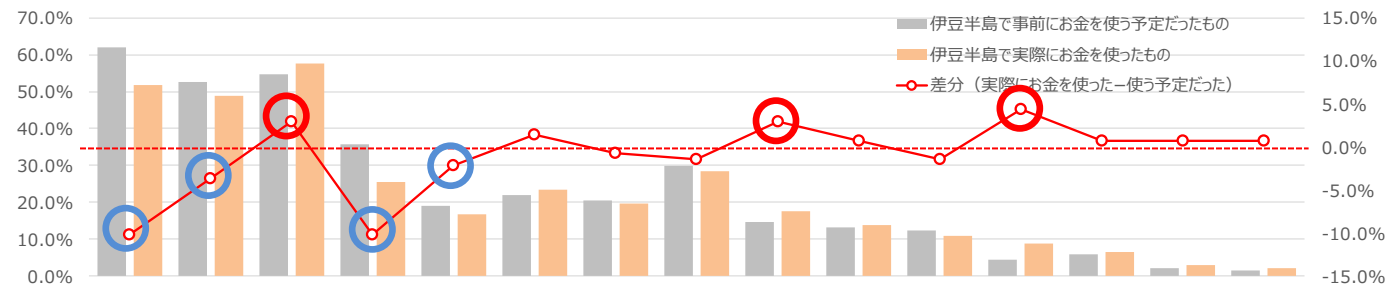
日帰り

2023年2月



n=317

2024年2月



n=137

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年2月・2024年2月の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（属性別）

- 2024年2月は、2023年2月と比べて30代～50代の食事（海鮮）、土産（水産物：生鮮食品）の差分（機会ロス）が減少した。一方で、60代・70代の食事（海鮮）、60代の土産（水産物・生鮮食品）の差分（機会ロス）が増加した。
- 施設入場料は30代以下で機会ロスが大きい

機会ロス = 差分(実際-予定)

2023年2月

		n	(食 事 海 鮮)	(土 産 物 : 生 鮮 食 品)	(施 設 入 場 料 等)
全体	全体	1443	-10.3%	-9.6%	-3.8%
性別	男性	552	-9.8%	-8.5%	-2.5%
	女性	874	-11.0%	-10.2%	-4.6%
	答えたくない	17	5.9%	-11.8%	-5.9%
年齢別	15～19歳	9	0.0%	-11.1%	-11.1%
	20～29歳	111	-8.1%	-8.1%	-12.6%
	30～39歳	165	-15.2%	-9.1%	2.4%
	40～49歳	265	-8.7%	-8.3%	-7.5%
	50～59歳	459	-11.3%	-11.8%	-0.4%
	60～69歳	314	-10.5%	-9.2%	-5.1%
	70歳以上	109	-5.5%	-7.3%	-5.5%
	答えたくない	11	-9.1%	0.0%	0.0%
居住地別	首都圏1都3県	887	-10.0%	-10.1%	-3.5%
	静岡県	353	-9.3%	-9.3%	-4.8%
	その他	203	-13.3%	-7.4%	-3.4%
宿泊地別	南伊豆	206	-10.7%	-13.6%	-3.4%
	東伊豆	689	-9.0%	-8.4%	-5.4%
	中伊豆	256	-10.2%	-4.3%	-4.3%
	西伊豆	145	-7.6%	-12.4%	-9.0%
泊数別	日帰り	317	-13.2%	-9.8%	0.9%
	1泊	813	-10.7%	-11.2%	-5.3%
	2泊	228	-7.5%	-5.3%	-5.7%
	3泊	48	0.0%	-6.3%	-6.3%
	4泊以上	37	-8.1%	-2.7%	2.7%

2024年2月

		n	(食 事 海 鮮)	(土 産 物 : 生 鮮 食 品)	(施 設 入 場 料 等)
全体	全体	645	-9.0%	-3.6%	-4.2%
性別	男性	239	-10.9%	-5.0%	-3.8%
	女性	403	-7.9%	-3.0%	-4.5%
	答えたくない	3	0.0%	33.3%	0.0%
年齢別	15～19歳	2	0.0%	-50.0%	-50.0%
	20～29歳	49	-10.2%	10.2%	-10.2%
	30～39歳	58	-5.2%	5.2%	-10.3%
	40～49歳	120	-9.2%	-1.7%	-8.3%
	50～59歳	182	-6.0%	-3.8%	-1.1%
	60～69歳	164	-11.6%	-11.6%	0.0%
	70歳以上	65	-12.3%	-4.6%	-4.6%
	答えたくない	5	-20.0%	20.0%	0.0%
居住地別	首都圏1都3県	366	-11.5%	-6.8%	-3.3%
	静岡県	141	-7.1%	-1.4%	-9.2%
	その他	138	-4.3%	2.9%	-1.4%
宿泊地別	南伊豆	92	-16.3%	-7.6%	-2.2%
	東伊豆	293	-7.2%	-5.5%	-1.7%
	中伊豆	140	-5.0%	-5.7%	0.7%
	西伊豆	63	-9.5%	9.5%	-3.2%
泊数別	日帰り	137	-10.2%	-2.2%	-10.2%
	1泊	361	-9.4%	-4.2%	-3.6%
	2泊	115	-7.8%	-1.7%	0.9%
	3泊	19	-5.3%	-15.8%	-5.3%
	4泊以上	13	0.0%	0.0%	0.0%

観光アンケート 回答結果（クロス分析） 2023年2月・2024年2月の単月比較

事前の消費意向と実際の使途の分析（予実金額層別）

- 2024年2月は、2023年2月と比較して全体的に差分が少ない傾向がある。
- ただし、予定額や実支出額が50,000～99,999円の層は、2023年2月と比較して差分のマイナスが大きくなった。

機会ロス = 差分(実際-予定)

2023年2月 予定額

	n	(食 事 鮮)	生(土 鮮水産 食産 品物):	等(施 観設 光入 施場 設料)
全体	1443	-10.3%	-9.6%	-3.8%
5,000円未満	144	-10.4%	-2.8%	2.1%
5,000～9,999円	258	-12.0%	-10.1%	-0.8%
10,000～19,999円	487	-9.4%	-8.4%	-5.3%
20,000～29,999円	254	-11.4%	-16.9%	-3.5%
30,000～39,999円	158	-12.7%	-8.2%	-1.9%
40,000～49,999円	31	0.0%	-16.1%	-25.8%
50,000～99,999円	89	-4.5%	-3.4%	-5.6%
100,000円以上	22	-18.2%	-13.6%	-22.7%

2024年2月 予定額

	n	(食 事 鮮)	生(土 鮮水産 食産 品物):	等(施 観設 光入 施場 設料)
全体	645	-9.0%	-3.6%	-4.2%
5,000円未満	90	-6.7%	-2.2%	-1.1%
5,000～9,999円	143	-11.2%	-0.7%	-11.2%
10,000～19,999円	202	-7.4%	-5.0%	0.0%
20,000～29,999円	102	-11.8%	-4.9%	-3.9%
30,000～39,999円	58	-10.3%	1.7%	-3.4%
40,000～49,999円	26	-3.8%	-7.7%	-3.8%
50,000～99,999円	19	-10.5%	-21.1%	-15.8%
100,000円以上	5	0.0%	0.0%	0.0%

実際の支出額

	n	(食 事 鮮)	生(土 鮮水産 食産 品物):	等(施 観設 光入 施場 設料)
全体	1443	-10.3%	-9.6%	37.5%
5,000円未満	220	-15.9%	-10.5%	-3.6%
5,000～9,999円	366	-11.2%	-8.5%	-3.3%
10,000～19,999円	414	-8.7%	-10.1%	-3.1%
20,000～29,999円	227	-7.0%	-7.0%	-6.2%
30,000～39,999円	92	-10.9%	-18.5%	-4.3%
40,000～49,999円	53	-9.4%	-7.5%	0.0%
50,000～99,999円	60	-8.3%	-3.3%	-1.7%
100,000円以上	11	-9.1%	-27.3%	-27.3%

実際の支出額

	n	(食 事 鮮)	生(土 鮮水産 食産 品物):	等(施 観設 光入 施場 設料)
全体	645	-9.0%	-3.6%	-4.2%
5,000円未満	115	-8.7%	1.7%	-6.1%
5,000～9,999円	153	-13.7%	-2.0%	-9.8%
10,000～19,999円	211	-7.6%	-8.5%	-0.5%
20,000～29,999円	94	-7.4%	2.1%	-2.1%
30,000～39,999円	38	-2.6%	-13.2%	-2.6%
40,000～49,999円	16	-6.3%	0.0%	6.3%
50,000～99,999円	16	-12.5%	-6.3%	-12.5%
100,000円以上	2	0.0%	0.0%	0.0%

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【年齢別】

- ・50代が最も多く、31.6%を占めた。次いで60代が21.8%、40代が19.5%となっている。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

【職業別】

- ・会社員/団体職員が最も多く43.3%を占め、次いでパート・アルバイト、専業主婦（夫）の順となっている。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

【居住地別】

- ・居住地は、静岡県24.1%、東京都23.6%、神奈川県22.8%が上位を構成している。
- ・宿泊者の居住地は、東京都が最も多く、次いで神奈川県。TOP6で全体の84.1%を占める。日帰りでは静岡県が40%を占める。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

【来訪回数】

- ・宿泊者では直近一年間の旅行で初めてが42.2%と最も多く、日帰りでは5回以上が40.5%と最も多い。
- ・2024年2月は、2023年2月と比較して2回、4回の割合が微増し、初めて、3回、5回の割合は微減している。

【旅行形態別・人数】

- ・夫婦旅行が最も多く、37.1%を占め、次いで大人の家族旅行、子ども連れ家族旅行となっている。
- ・2人での旅行が58.7%と最も多く、次いで1人10.8%、3人9.9%、4人3.2%と続く。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

【宿泊数】

- ・1泊が最も多く、53.7%を占めた。次いで2泊が20.2%、日帰りが20.1%となっている。
- ・南伊豆町、下田市、河津町の滞在者は5割前後が2泊以上となっている。
- ・伊東市、下田市、伊豆市、熱海市、沼津市、東伊豆町が、周遊滞在の拠点となる可能性を有している。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【夕食・朝食について】

- ・宿泊施設内でとった（とる予定の）ケースが圧倒的に多く、84.3%を占めた。
- ・上記のうち、「夕食・朝食を宿泊施設以外の飲食店でとってみたい」と回答したのが34.3%。「とってみたいと思わない」が42.8%となった。（大きな差はない）。
- ・2024年2月と2023年2月との比較において、大きな違いは見受けられない。

観光アンケート 回答結果（まとめ）

【事前の消費意向と消費実態】

◆全体：機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場（観光施設等）、土産（水産物：生鮮食品）、土産（水産加工物）の4カテゴリで多く発生している。2024年2月は、2023年2月と比べて土産（菓子）や土産（その他）の差分が増加している。

◆宿泊者全体：機会ロスの傾向は全体と同様。2024年2月は、2023年2月と比べて土産（菓子）や土産（その他）の差分が増加している。一方で、交通（バス・タクシー等）の差分は減少した。

◆2泊以上：機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場（観光施設等）、土産（水産加工物）、土産（水産物：生鮮食品）、交通、体験（ガイド・案内人）の6カテゴリが目立つ結果となった。食事（海鮮以外）、土産（菓子）、土産（農産物：生鮮食品）は、予定より支出が大きく上回っている。

◆日帰り：機会ロスは、食事（海鮮）、施設入場（観光施設等）、土産（水産物：生鮮食品）、土産（農産物：生鮮食品）が目立つ結果となった。食事（海鮮以外）、買物（スーパー・ドラッグストア・コンビニ）、土産（その他）の差分がプラスとなっている。2023年2月で差分がプラスになっていた施設入場（観光施設等）および土産（菓子）が2024年2月にマイナスになっている。一方で、土産（その他）はプラスに転じた。その他では、土産（水産物：生鮮食品）および土産（農産物：生鮮食品）の差分のマイナス幅が減少した。

◆属性別：40代～70代で、食事（海鮮）の差分（機会ロス）が10%弱発生している。60代や3泊の宿泊者は、土産（水産物：生鮮食品）の差分が10%超と大きい。20～40代で施設入場料（観光施設等）での機会ロスが大きい。2024年2月は、2023年2月と比べて30代～50代の食事（海鮮）、土産（水産物：生鮮食品）の機会ロスが減少した。

◆予実金額層別：比較的ボリュームゾーンである「実際の支出が5,000～9,999円」の回答者層は、食事（海鮮）・土産（水産物：生鮮食品）のカテゴリで大きな機会ロスが生じている。実際の支出が「10,000～19,999円」～「30,000～39,999円」の回答者層は、3つのカテゴリで機会ロスが生じているものの、10%未満に留まった。40,000円以上になると、機会ロスの割合が大きい。2024年2月は、2023年2月と比較して全体的に差分が少ない傾向がある。

観光アンケート 回答結果から見える考察・方向性

◆属性と来訪動向

・属性については、引き続き神奈川・東京を中心とした首都圏からの50代前後の夫婦、2名の宿泊旅行、県内・近隣県からの日帰りが核となっているが、アンケート調査終盤の2024年2月単体で見ると前年同月比で60代以上の構成比が29.4%から35.5%と増加していること、全期間を通して県内客の割合が下がり、東京・神奈川以外の首都圏や北関東などの遠方からの来訪割合が増加傾向にあることなどから、コロナのリスク低下の安心感からシニア層の遠出を含め全般的な観光行動への意欲が回復してきたことが数値上に現れてきたものと推察される。また、伊豆半島を選んだ理由が「季節ならではの自然の景観を楽しむことができるから」が1位となったこと、「温泉があるから」の回答も前年に比べ15%程度と大きく上昇していることも、同様の傾向の現れではないかと思われる。一方で、宿泊・日帰りの割合を見ると、宿泊・日帰りの割合に変化が少なく、宿泊率が下がっている可能性もあり、客室提供数などの影響も確認したい。

・日帰り観光客の伊豆半島での滞在時間については、2024年2月は1～3時間未満が8%減少し、3～6時間未満が約8%増加しているものの、消費額としては9,999円以下の割合が増加していることから、滞在時間延長と消費額拡大の連動に課題がないか確認したい。

◆事前の消費意向と消費実態

【食事（海鮮）】

・期間中、最も販売機会ロスが出ていると思われる項目。ボリュームゾーンである40代～70代では、いずれも食事（海鮮）の機会ロスが10%弱発生している。予算よりも支出が下回る原因はいろいろ考えられるが、「目的の店、イメージした店にたどりつかなかった」「思っていたメニューと違った」「思っていたよりも価格が高かった」などの理由が考えられる。年代別の傾向を見ると、20～30代では大きな機会ロスが出ていないため、世代間の違い（食事に対する予算感・訪問地・情報収集手段など）に拠る可能性も仮説として考えられる。ミスマッチの要因について現場の聞き取りや今後のアンケート設問の追加などより踏み込んだ情報収集により、解決策を検討していく必要がある。

【土産（水産物：生鮮食品）／（農産物：生鮮食品）】

・食事（海鮮）に次いで、ロスの割合が高い項目であり、予定品目ランキング5位となっているが、支出ランキングでは8位になっている。伊豆は水産物がおいしいイメージが一般的に定着しており、新鮮な魚などをイメージしやすいため、事前に予定していたと回答する割合が高まっていると思われるが、実際の購入タイミングでは持ち帰り方法（時間）・調理の問題によって、購入を躊躇するケースが多いものと思われる。一方、2泊以上の周遊者においては、土産（農産物：生鮮食品）の支出の割合は予定を超えている。農産物は自家用車での持ち運びが容易であり、新鮮さや価格面でも首都圏からの観光客のニーズに合っていると思われる。現在は、当地域において水産物程の強いイメージの定着がされていないものと思われるが、域内消費額拡大に資するポテンシャルの高さがうかがえる。

◆事前の消費意向と消費実態（つづき）

【施設入場料（観光施設など）】

・ 50代から70代では機会ロスの割合が比較的低いものの、20代～40代において高く出ている項目。比較的天候などの影響を受けやすい項目でもあるが、明確に40代以下でロスが出ている傾向があるため、今後の顧客層転換を見据え、ニーズとのミスマッチがないか、情報発信に課題がないか等、その要因についても把握したい。

・2023年2月と2024年2月の比較では、機会ロスが拡大している。

(参考)

静岡県データプラットフォームから見える観光動向

静岡県データプラットフォーム分析（伊豆エリア）

静岡県データプラットフォームを基に、伊豆エリアの宿泊者の属性（居住地、年代など）を把握し、動向の分析を行った。

静岡県データプラットフォームとは：

● 宿泊データ

店頭販売、国内ネット販売、海外向けサイトの販売、それぞれの販売を担う企業からデータを収集し、宿泊実績や宿泊予約動向を推計し、情報提供を行っている。

データ数は約2億件、日本全体の総宿泊数は約5億959万泊（観光庁宿泊旅行統計調査2019年）。

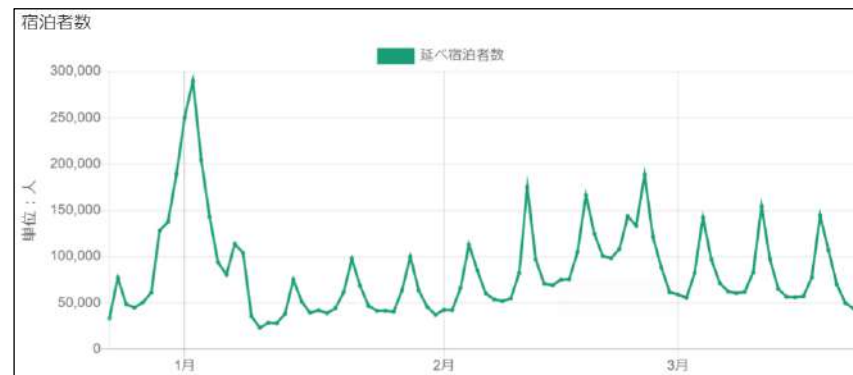
実績による集計・ランキングは、宿泊実績・予約データに公開されている総宿泊数を掛け合わせて算出。

● 人流データ

ブログウォッチャーの人流データ

県内約2,000スポットから抽出。約250メートルメッシュにおける人流データの総数を表示。

※一部スポット別でも閲覧が可能



【イメージ】

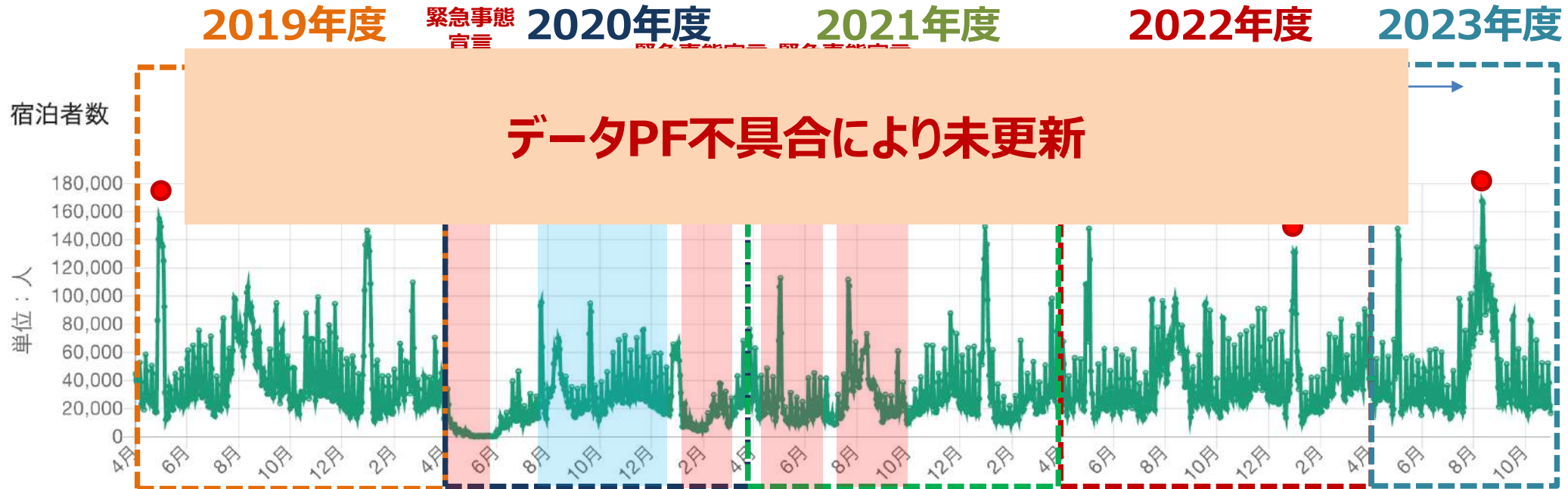


【イメージ】

長期傾向把握

2019年4月から2024年2月までの動向を把握する

延べ宿泊者数



低調であった2021年度に比べ、2022年度以降は増加に転じている。2023年度のGWは2019年度の水準には戻らなかったものの、8月には2019年度以降で最も多い宿泊者数を記録した。

長期傾向把握

2019年4月から2024年2月までの動向を把握する

居住地別

性別



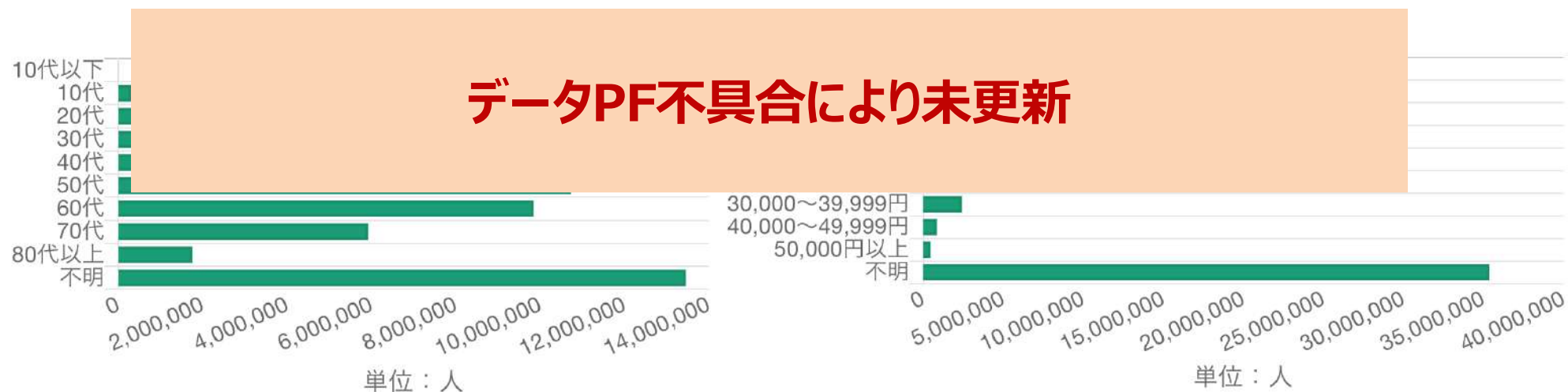
宿泊者の居住都道府県では東京がトップ^oとなっており、神奈川、埼玉と続く。男女比では女性が50.26%となっており、男性を約9ポイント上回っている。

長期傾向把握

2019年4月から2024年2月までの動向を把握する

年齢層別

宿泊代別



宿泊者数を年代別に見ると、50代が最も多く、次いで60代、40代の順となっている。購入金額層では、10,000円～14,999円が最も多く、次いで15,000～19,999円が多い。

※システム上不明が発生。不明は除外して分析。

短期傾向把握

2023年度の動向を把握する

居住地別

2022年4月～2023年2月

順位 ↑	属性	値
1	東京都	4,081,188
2	神奈川県	2,711,409
3	埼玉県	1,673,495
4	静岡県	1,096,509
5	千葉県	996,693
6	愛知県	666,465
7	大阪府	339,257
8	茨城県	216,919
9	兵庫県	154,094
10	群馬県	153,215

2023年4月～2024年2月

順位	属性	値
1	東京都	4,124,957
2	神奈川県	2,714,673
3	埼玉県	1,751,394
4	千葉県	1,100,691
5	静岡県	875,302
6	愛知県	703,991
7	大阪府	353,147
8	茨城県	255,755
9	兵庫県	190,657
10	群馬県	189,467

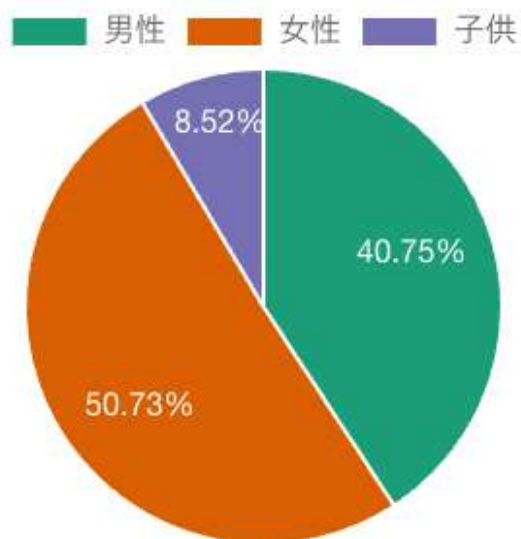
1～3位および6～10位は、2022年度と同じ居住地となった。千葉県と静岡県の順位のみ入れ替わっている。

短期傾向把握

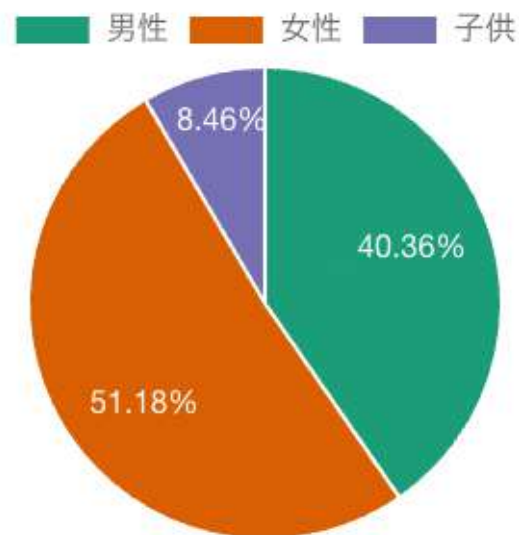
2023年度の動向を把握する

性別

2022年4月～2023年2月



2023年4月～2024年2月



2022年度の同期間に比べて、男女比率に大きな変化は見られない。

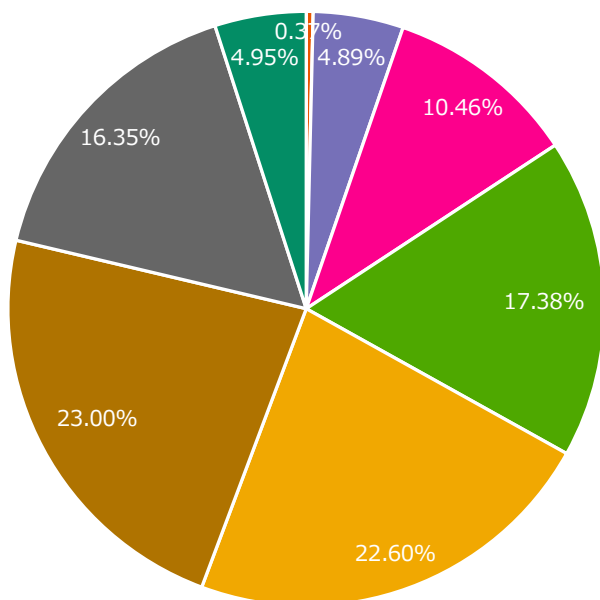
短期傾向把握

2023年度の動向を把握する

年齢層別 延べ宿泊人数

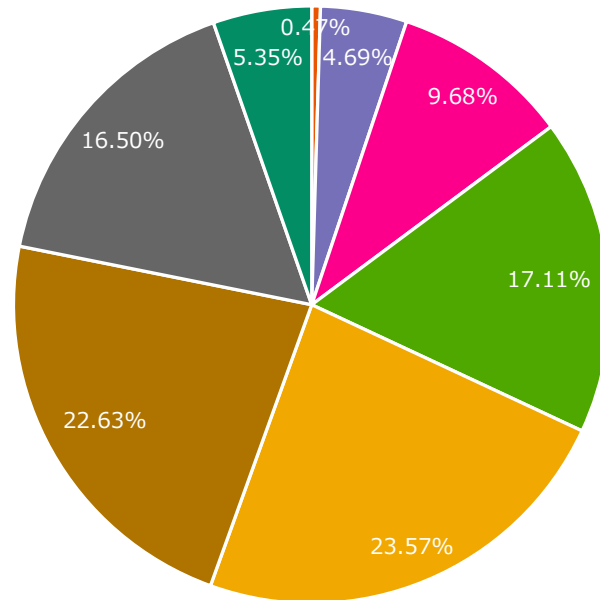
2022年4月～2023年2月

10代以下 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上



2023年4月～2024年2月

10代以下 10代 20代 30代 40代
50代 60代 70代 80代以上



※2022年度、2023年度ともに不明を除外した参考値

50代、60代、40代が多く、2022年度の同期間に比べて大きな変化は見られない。

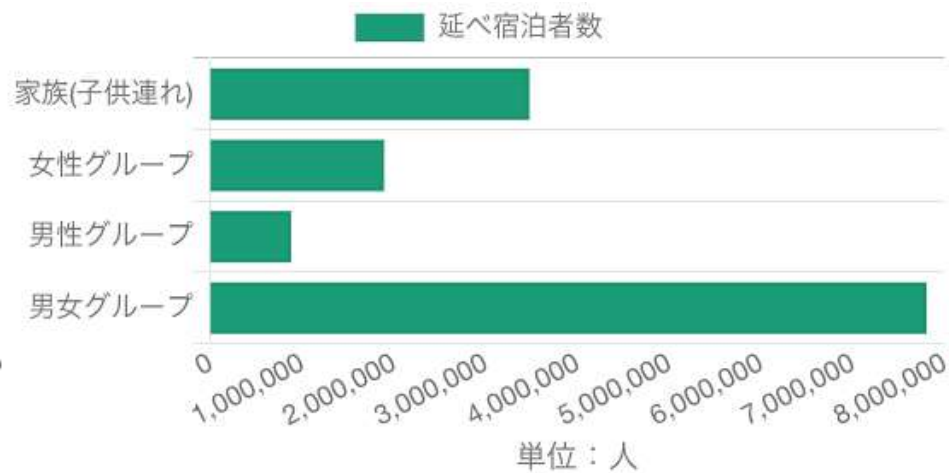
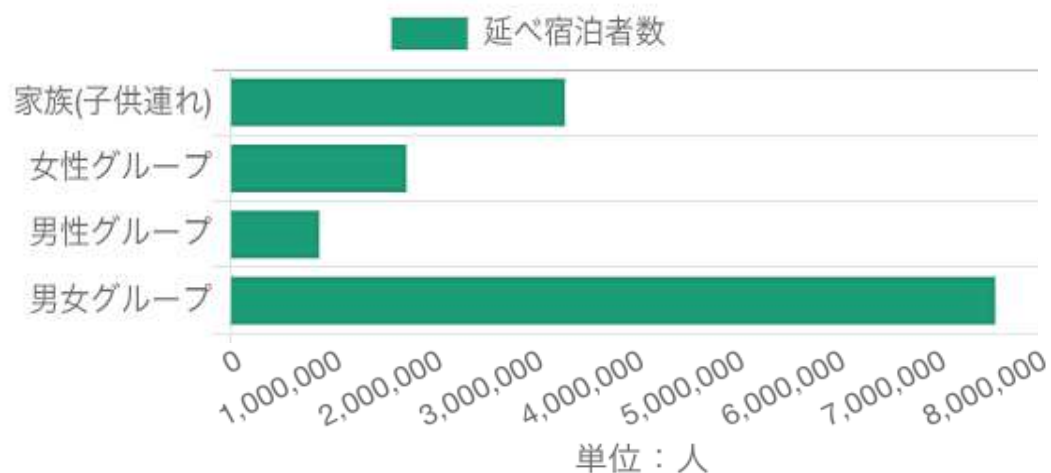
短期傾向把握

2023年度の動向を把握する

旅行形態別 延べ宿泊人数

2022年4月～2023年2月

2023年4月～2024年2月



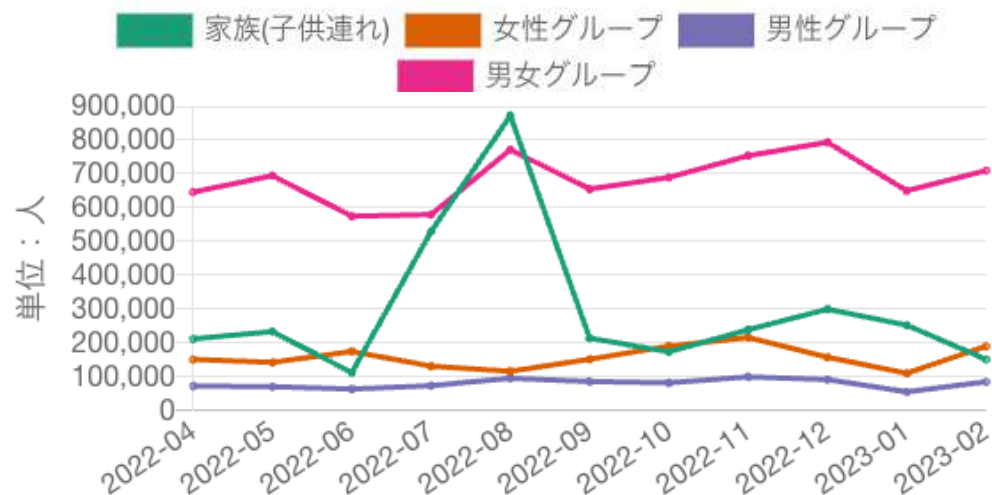
旅行形態別では、2022年度と比べて大きな変化は見られない。

短期傾向把握

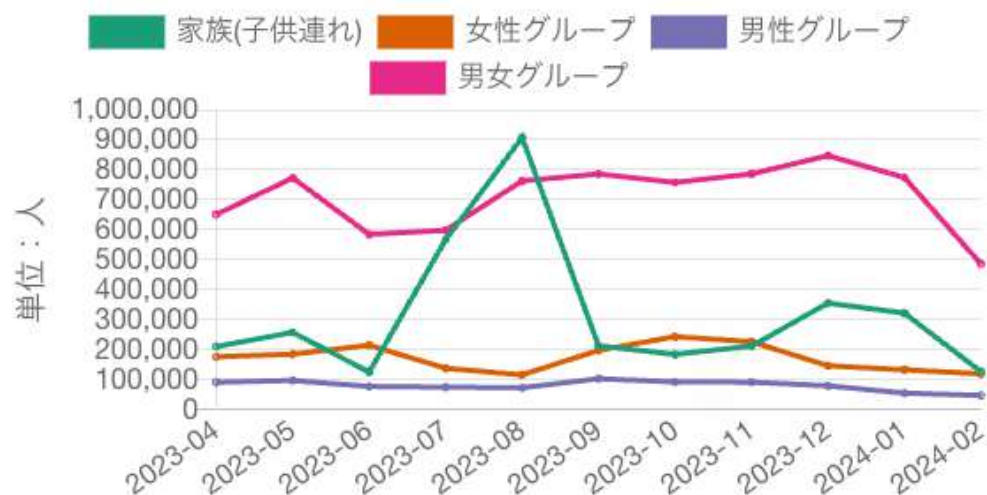
2023年度の動向を把握する

旅行形態別 延べ宿泊人数 月別

2022年4月～2023年2月



2023年4月～2024年2月



旅行形態別の月別推移では、2022年度と比較して大きな変化は見られない。ともに8月を除いて男女グループが最多となっている。8月は家族（子供連れ）が最多。

短期傾向把握

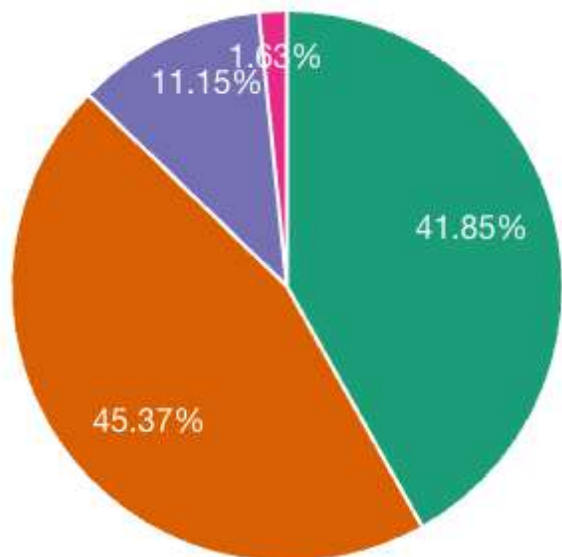
2023年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊人数

2022年4月～2023年2月

※4泊以下のみ抽出。最大59泊まであり。

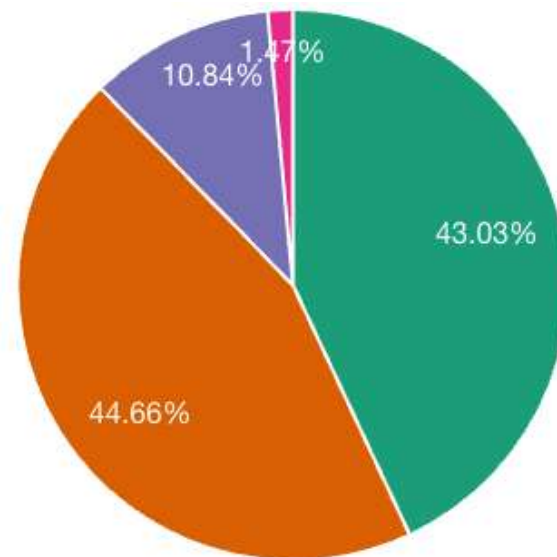
1泊 2泊 3泊 4泊



2023年4月～2024年2月

※4泊以下のみ抽出。最大12泊まであり。

1泊 2泊 3泊 4泊



宿泊日数を見ると、2022年度と比べて1泊の宿泊者の割合が若干大きくなっている。

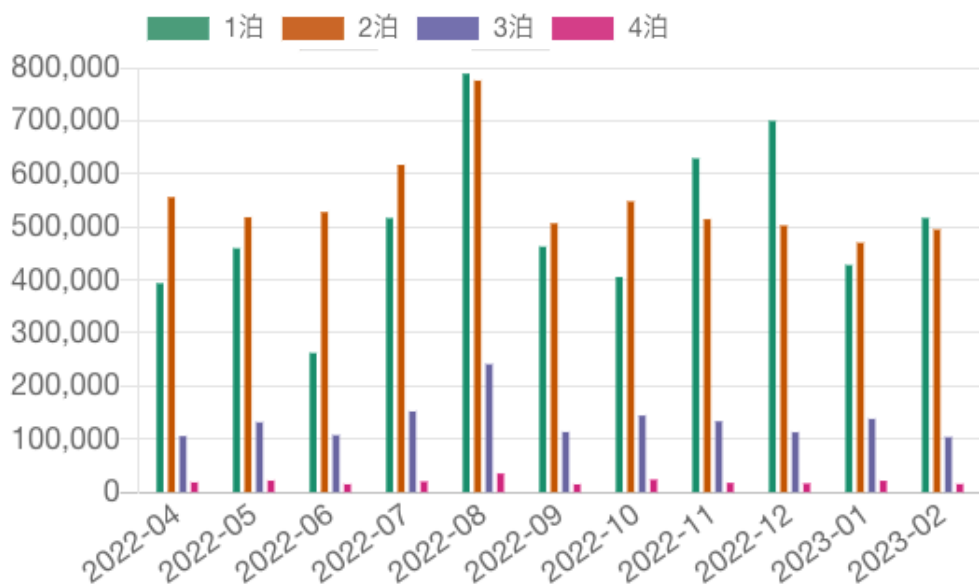
短期傾向把握

2023年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊者数 月別

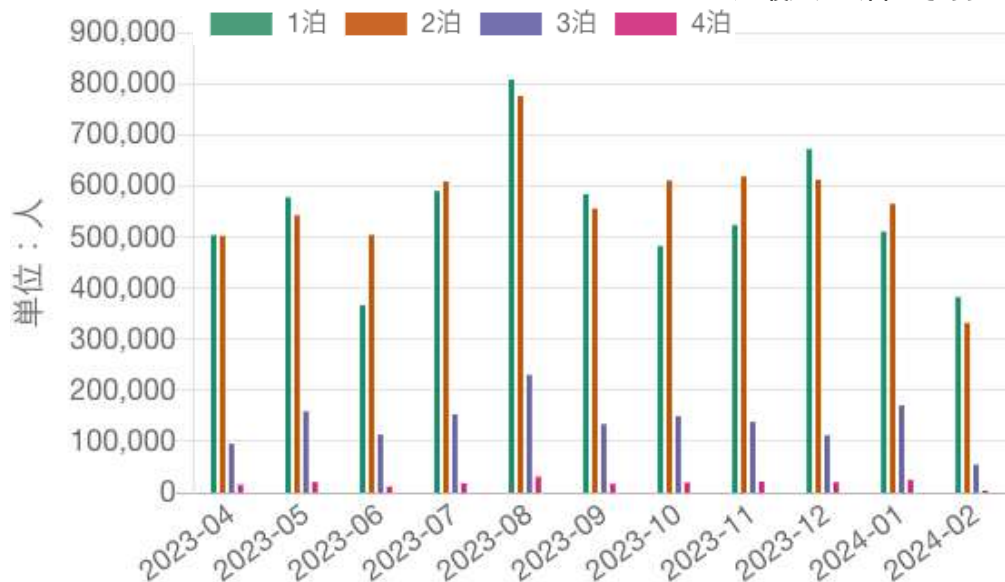
2022年4月～2023年2月

※4泊以下のみ抽出。最大59泊まであり。



2023年4月～2024年2月

※4泊以下のみ抽出。最大94泊まであり。



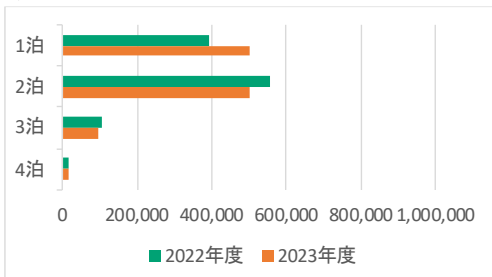
宿泊日数別宿泊者数の推移を見ると、2022年度は8月、11月、12月、2023年2月で1泊が最多となった。その他では2泊が最多となっている。2023年度は4月、5月、8月、9月、12月、2024年2月で1泊が最多。

短期傾向把握

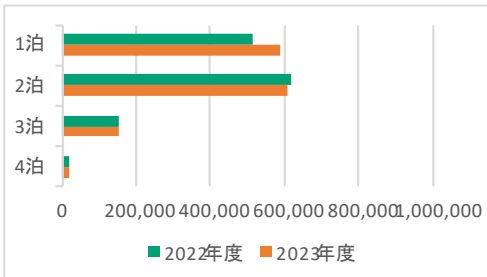
2023年度の動向を把握する

宿泊日数別 延べ宿泊者数 月別（表側を統一）

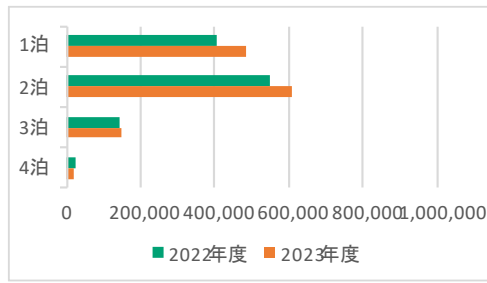
4月



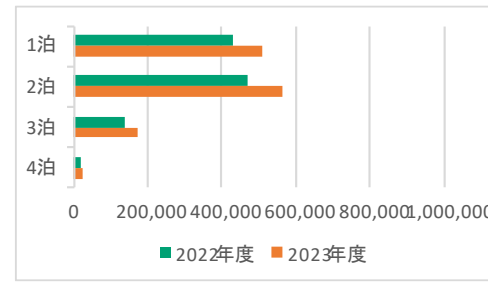
7月



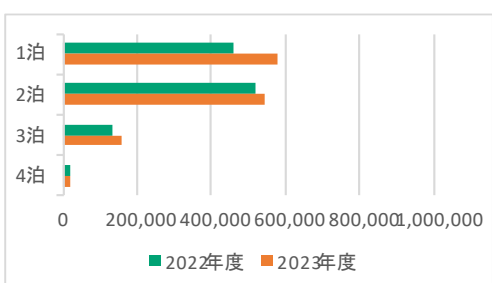
10月



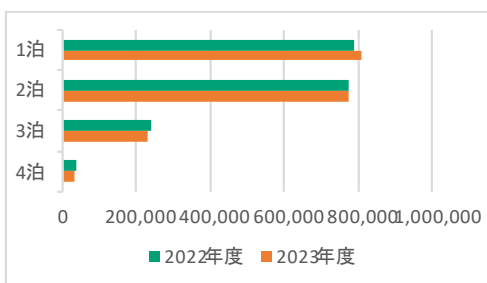
1月



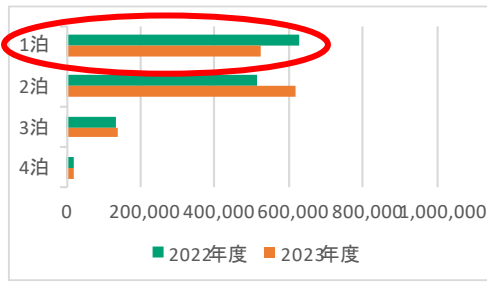
5月



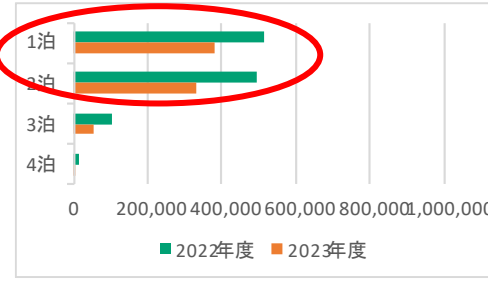
8月



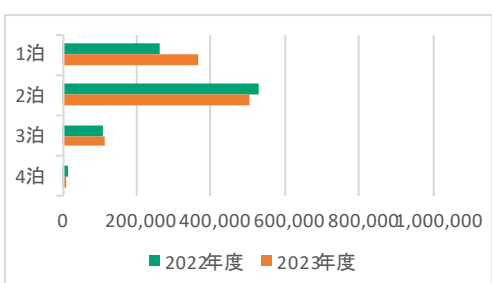
11月



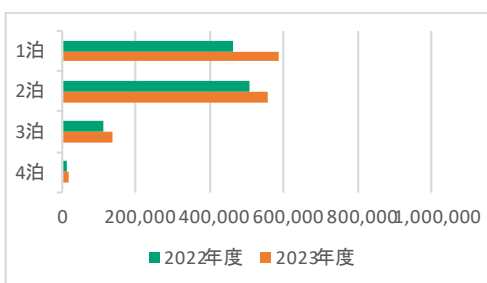
2月



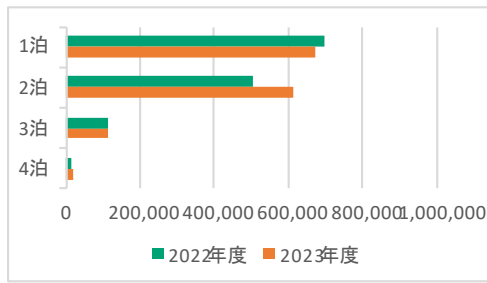
6月



9月



12月



※2023年11月は1泊が減少している。2月も減少傾向に見えるが、データ補正中の可能性あり。

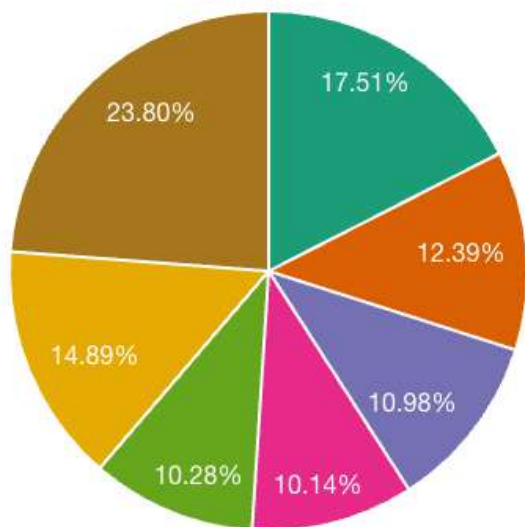
短期傾向把握

2023年度の動向を把握する

曜日別 延べ宿泊者数

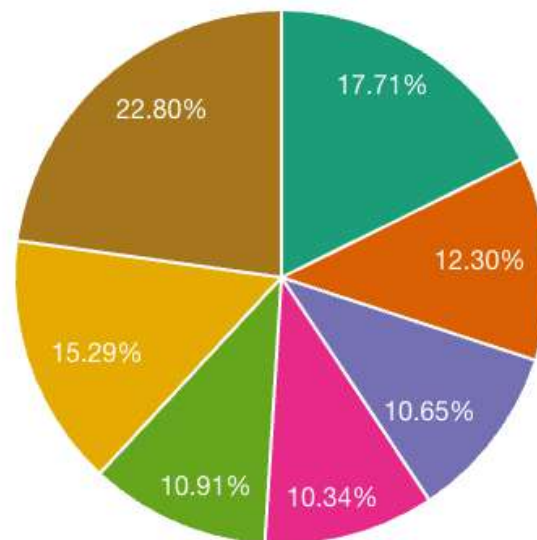
2022年4月～2023年2月

日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜



2023年4月～2024年2月

日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜



曜日別の割合で見ると、2022年度に比べて土曜の宿泊者が若干（1.0ポイント）減少し、木曜、金曜、日曜は微増となった。大きな変化は見られない。

静岡県データプラットフォーム分析（伊豆エリア全体）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	930,970	8.0%
静岡県静岡市清水区	892,769	7.7%
静岡県静岡市葵区	851,336	7.3%
静岡県静岡市駿河区	844,252	7.3%
静岡県富士宮市	597,819	5.1%
神奈川県藤沢市	582,605	5.0%
静岡県沼津市	492,836	4.2%
神奈川県小田原市	479,502	4.1%
静岡県伊東市	473,607	4.1%
静岡県御殿場市	436,857	3.8%

2023年4月～2024年2月

発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	905,644	8.1%
静岡県静岡市清水区	839,248	7.5%
静岡県静岡市葵区	778,482	6.9%
静岡県静岡市駿河区	760,415	6.8%
神奈川県藤沢市	585,784	5.2%
静岡県富士宮市	582,143	5.2%
神奈川県小田原市	497,908	4.4%
静岡県伊東市	462,663	4.1%
静岡県御殿場市	454,951	4.1%
静岡県沼津市	450,116	4.0%

コメント

- 1～4位はそれぞれ静岡県富士市、静岡県静岡市清水区、静岡県静岡市葵区、静岡県静岡市駿河区で変わらず。
- 神奈川県藤沢市が5位に浮上しており、シェアが0.2ポイント増加した。

*伊豆エリア：熱海市、沼津市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、西伊豆町、函南町、松崎町、清水町、長泉町
※それぞれの市町におけるTOP20を合算して算出した

静岡県データプラットフォーム分析（伊豆エリア全体）

来訪地分析

2022年4月～2023年2月



2023年4月～2024年2月

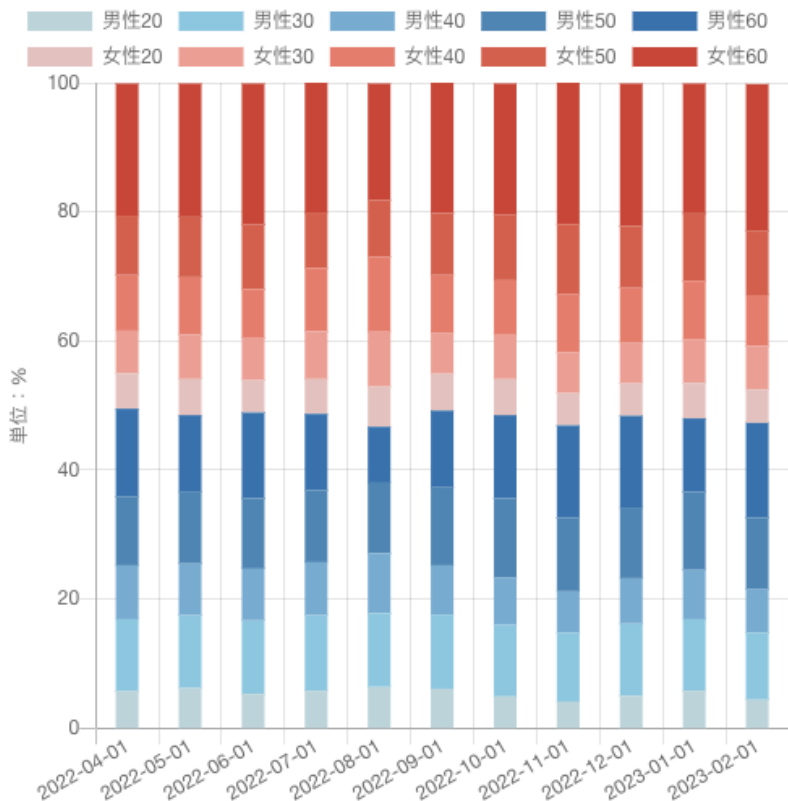


コメント

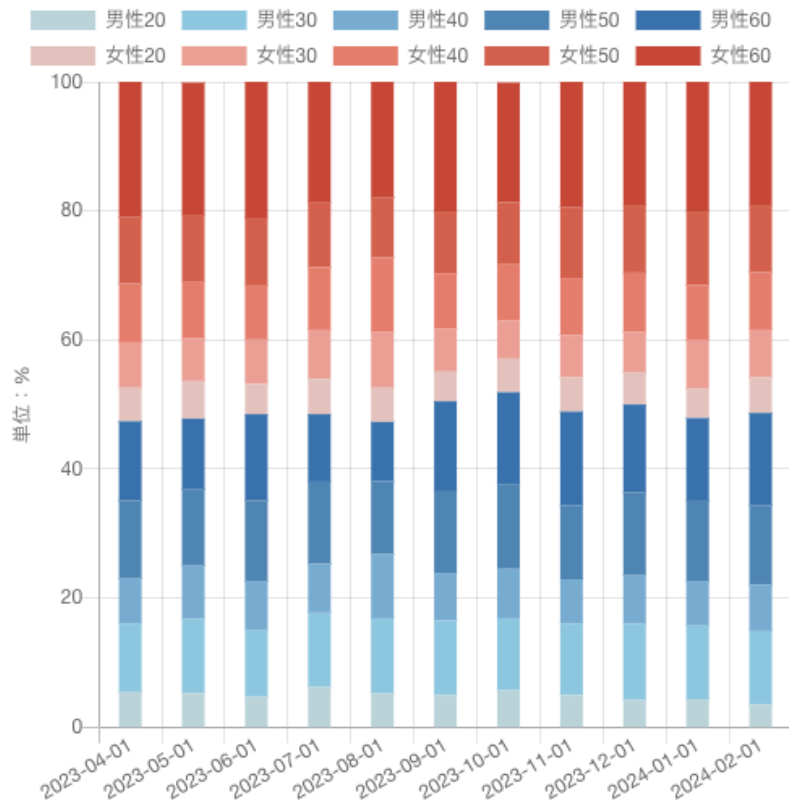
- 全体傾向として2022年度と大きく変わらず。
- 2022年度と比較して12月が減少、1月や2月が増加した。
- 1～2月は、特に熱海市や三島市、沼津市などへの来訪が増加している。一方で、河津町や東伊豆町、伊豆の国市などへの来訪は減少した。

属性分析

2022年4月～2023年2月



2023年4月～2024年2月



コメント

- 属性でも、2022年度と比べて大きな変化は見られない。
- 10月は、2022年度と比べて男性の割合が増加した。中でも、男性50代・60代の割合がそれぞれ1.0ポイント増加している。

静岡県データプラットフォーム分析（東伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

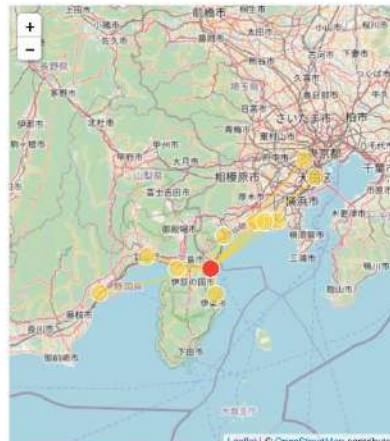
2023年4月～2024年2月

コメント

【熱海市】



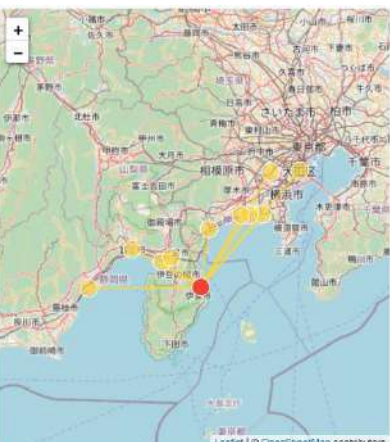
発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	166,557	7.3%
神奈川県小田原市	163,266	7.1%
静岡県富士市	148,714	6.5%
静岡県沼津市	146,870	6.4%
神奈川県茅ヶ崎市	133,645	5.8%
神奈川県平塚市	127,156	5.5%
東京都世田谷区	120,111	5.2%
東京都大田区	119,701	5.2%
静岡県伊東市	112,257	4.9%
神奈川県横浜市戸塚区	109,740	4.8%



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	185,232	7.6%
静岡県沼津市	179,250	7.4%
神奈川県小田原市	177,936	7.3%
静岡県富士市	150,775	6.2%
静岡県伊東市	137,725	5.6%
東京都世田谷区	130,633	5.4%
東京都大田区	129,423	5.3%
神奈川県平塚市	129,391	5.3%
静岡県静岡市葵区	119,297	4.9%
静岡県静岡市清水区	114,149	4.7%

・1位は神奈川県藤沢市で変化なし。前年度と比べて0.3ポイント割合が大きくなった。
 ・静岡県静岡市葵区が新たにランクインした。

【伊東市】



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	121,876	7.8%
静岡県沼津市	121,416	7.8%
静岡県三島市	93,486	6.0%
静岡県富士市	87,423	5.6%
神奈川県小田原市	86,058	5.5%
神奈川県平塚市	80,586	5.2%
静岡県静岡市駿河区	79,241	5.1%
神奈川県茅ヶ崎市	77,640	5.0%
東京都世田谷区	75,136	4.8%
東京都大田区	74,056	4.7%



発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	111,579	8.0%
静岡県沼津市	92,685	6.6%
静岡県三島市	83,815	6.0%
神奈川県小田原市	78,479	5.6%
神奈川県平塚市	77,854	5.6%
東京都大田区	74,217	5.3%
神奈川県横須賀市	72,369	5.2%
神奈川県茅ヶ崎市	70,874	5.1%
神奈川県横浜市港北区	69,494	5.0%
静岡県富士市	68,622	4.9%

・上位3位の順位に変化なし。
 ・1位の神奈川県藤沢市は、前年度と比べて0.2ポイント割合が大きくなった。
 ・神奈川県横須賀市、横浜市港北区が新たにランクインした。

静岡県データプラットフォーム分析（東伊豆エリア）

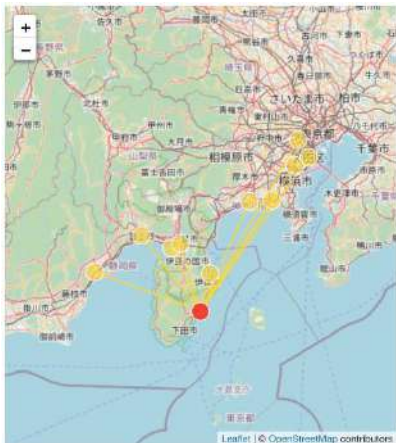
発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

2023年4月～2024年2月

コメント

【東伊豆町】



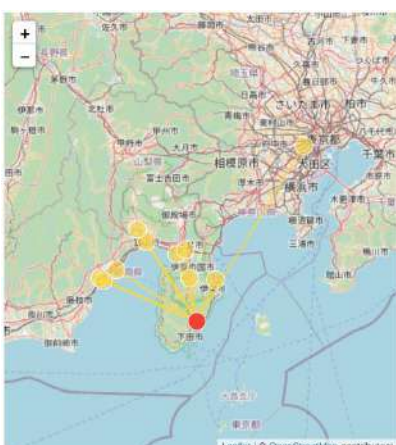
発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	23,485	7.5%
神奈川県藤沢市	20,239	6.4%
静岡県沼津市	18,058	5.7%
静岡県富士市	17,509	5.6%
東京都世田谷区	16,798	5.3%
東京都大田区	16,777	5.3%
神奈川県横浜市戸塚区	16,419	5.2%
静岡県三島市	16,136	5.1%
静岡県静岡市葵区	16,091	5.1%
神奈川県横須賀市	15,913	5.1%



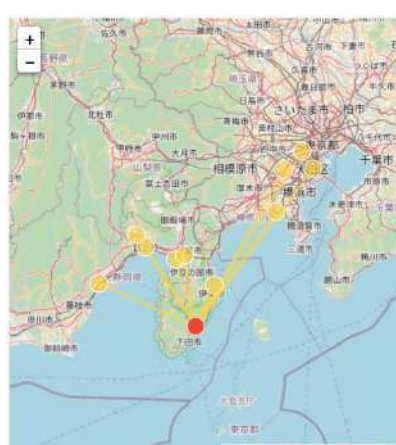
発地	来訪者数	シェア
神奈川県藤沢市	21,284	7.9%
静岡県沼津市	19,453	7.2%
東京都大田区	19,144	7.1%
東京都世田谷区	14,984	5.6%
神奈川県横浜市港北区	13,642	5.1%
神奈川県川崎市中原区	13,555	5.0%
神奈川県小田原市	13,436	5.0%
神奈川県横浜市青葉区	13,320	5.0%
神奈川県横浜市戸塚区	12,893	4.8%
静岡県富士市	12,268	4.6%

- ・神奈川県藤沢市が1位となり、前年度と比べて1.5ポイント割合が大きくなった。
- ・横浜市港北区、川崎市中原区、小田原市、横浜市青葉区が新たにランクインした。

【河津町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	18,637	9.0%
静岡県沼津市	16,803	8.1%
静岡県伊豆市	14,907	7.2%
静岡県静岡市葵区	13,346	6.4%
静岡県三島市	12,454	6.0%
静岡県富士市	11,919	5.7%
東京都世田谷区	11,573	5.6%
静岡県富士宮市	11,399	5.5%
神奈川県藤沢市	10,322	5.0%
静岡県静岡市清水区	10,226	4.9%



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	23,330	14.6%
静岡県沼津市	12,384	7.8%
神奈川県藤沢市	11,212	7.0%
東京都世田谷区	9,048	5.7%
静岡県富士市	8,381	5.3%
静岡県三島市	8,262	5.2%
静岡県静岡市清水区	7,956	5.0%
静岡県静岡市葵区	7,838	4.9%
東京都大田区	7,736	4.9%
神奈川県横浜市青葉区	6,451	4.0%

- ・上位2位の順位に変化なし。
- ・1位の静岡県伊東市は、前年度と比べて5.6ポイント割合が大きくなった。
- ・東京都大田区、横浜市青葉区が新たにランクインした。

静岡県データプラットフォーム分析（南伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

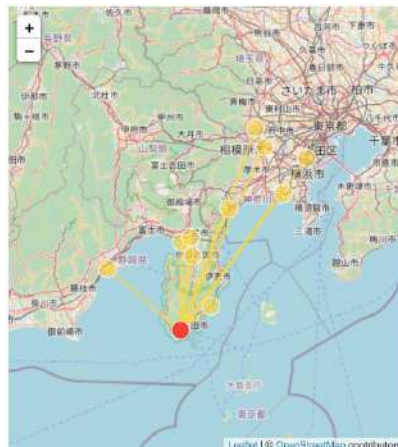
2023年4月～2024年2月

コメント

【南伊豆町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	8,313	7.7%
静岡県静岡市葵区	7,317	6.8%
静岡県三島市	6,475	6.0%
神奈川県茅ヶ崎市	6,061	5.6%
静岡県東伊豆町	6,060	5.6%
神奈川県大和市	6,012	5.6%
神奈川県藤沢市	5,828	5.4%
静岡県富士市	5,503	5.1%
静岡県静岡市駿河区	5,399	5.0%
静岡県静岡市清水区	5,273	4.9%



発地	来訪者数	シェア
静岡県東伊豆町	7,098	7.6%
神奈川県藤沢市	6,145	6.6%
東京都八王子市	5,181	5.6%
静岡県三島市	5,076	5.5%
神奈川県横浜市港北区	5,066	5.5%
静岡県静岡市葵区	4,996	5.4%
静岡県沼津市	4,911	5.3%
静岡県伊豆の国市	4,838	5.2%
静岡県伊東市	4,785	5.2%
静岡県静岡市駿河区	4,455	4.8%

・静岡県東伊豆町が1位となり、前年度と比べて2.0ポイント割合が大きくなった。

・東京都八王子市、横浜市港北区、静岡県伊豆の国市、静岡県伊東市が新たにランクインした。

【下田市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	53,679	10.6%
静岡県沼津市	39,232	7.7%
静岡県三島市	31,719	6.2%
静岡県富士市	31,224	6.1%
東京都世田谷区	29,034	5.7%
神奈川県藤沢市	28,658	5.6%
静岡県静岡市葵区	28,161	5.5%
静岡県静岡市駿河区	27,920	5.5%
東京都大田区	23,306	4.6%
神奈川県横浜市港北区	23,003	4.5%



発地	来訪者数	シェア
静岡県伊東市	37,332	8.5%
静岡県沼津市	34,787	8.0%
神奈川県藤沢市	31,691	7.2%
東京都世田谷区	25,583	5.9%
静岡県富士市	23,165	5.3%
静岡県三島市	23,145	5.3%
神奈川県横浜市港北区	22,166	5.1%
東京都大田区	21,684	5.0%
静岡県静岡市葵区	21,358	4.9%
東京都八王子市	20,562	4.7%

・上位2位の順位に変化なし。

・1位の静岡県伊東市は、前年度と比べて2.1ポイント割合が減少した。

・東京都八王子市が新たにランクインした。

静岡県データプラットフォーム分析（西伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

2023年4月～2024年2月

コメント

【沼津市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士宮市	388,965	13.5%
静岡県静岡市清水区	377,712	13.1%
静岡県御殿場市	319,942	11.1%
静岡県静岡市葵区	296,411	10.3%
静岡県静岡市駿河区	295,707	10.3%
静岡県富士市	207,247	7.2%
静岡県伊東市	181,810	6.3%
静岡県小山町	96,665	3.4%
静岡県浜松市中央区	90,248	3.1%
静岡県藤枝市	88,698	3.1%



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士宮市	399,336	13.7%
静岡県静岡市清水区	375,972	12.9%
静岡県御殿場市	337,726	11.6%
静岡県静岡市駿河区	290,970	10.0%
静岡県静岡市葵区	288,459	9.9%
静岡県富士市	214,570	7.3%
静岡県伊東市	169,933	5.8%
静岡県藤枝市	106,130	3.6%
静岡県小山町	95,926	3.3%
静岡県浜松市中央区	92,277	3.2%

・上位3位の順位に変化なし。
 ・1位の静岡県富士宮市は、前年度と比べて0.2ポイント割合が大きくなった。

【西伊豆町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	20,060	9.5%
静岡県静岡市清水区	19,204	9.0%
静岡県静岡市駿河区	16,310	7.7%
静岡県富士市	15,113	7.1%
静岡県静岡市葵区	14,490	6.8%
神奈川県藤沢市	12,019	5.7%
静岡県伊東市	11,946	5.6%
静岡県富士宮市	10,504	4.9%
静岡県三島市	10,240	4.8%
静岡県下田市	10,077	4.7%



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	15,736	8.2%
静岡県沼津市	14,796	7.7%
静岡県静岡市清水区	14,618	7.6%
静岡県静岡市葵区	11,970	6.2%
静岡県静岡市駿河区	11,924	6.2%
静岡県伊東市	11,399	5.9%
静岡県三島市	10,828	5.6%
神奈川県藤沢市	10,118	5.2%
静岡県函南町	8,627	4.5%
静岡県浜松市中央区	8,439	4.4%

・静岡県沼津市が1位となり、前年度比で1.1ポイント割合が大きくなった。
 ・静岡県函南町、静岡県浜松市中央区が新たにランクインした。

静岡県データプラットフォーム分析（西伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

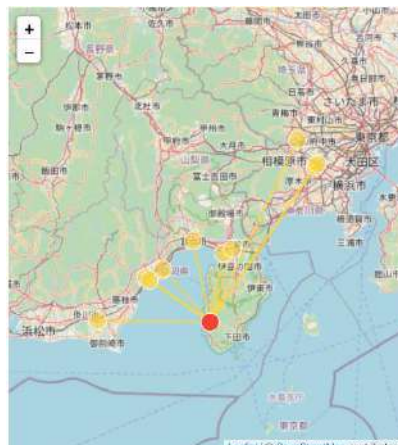
2023年4月～2024年2月

コメント

【松崎町】



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	11,534	10.7%
静岡県静岡市葵区	11,200	10.4%
静岡県静岡市駿河区	8,463	7.8%
静岡県静岡市清水区	7,098	6.6%
静岡県三島市	6,965	6.4%
静岡県菊川市	6,210	5.7%
静岡県焼津市	6,165	5.7%
静岡県富士市	4,769	4.4%
神奈川県藤沢市	4,625	4.3%
静岡県富士宮市	4,576	4.2%



発地	来訪者数	シェア
静岡県静岡市葵区	8,183	8.4%
静岡県静岡市駿河区	7,939	8.1%
静岡県沼津市	7,813	8.0%
静岡県富士市	7,665	7.9%
静岡県静岡市清水区	6,709	6.9%
東京都町田市	5,979	6.1%
静岡県三島市	4,822	4.9%
静岡県伊東市	4,807	4.9%
神奈川県藤沢市	4,667	4.8%
神奈川県横浜市港南区	4,232	4.3%

- ・静岡県静岡市葵区が1位となったが、前年度と比べて2.0ポイント割合が小さくなった。
- ・静岡県静岡市駿河区が2位となり、前年度と比べて0.3ポイント割合が大きくなった。

静岡県データプラットフォーム分析（中伊豆エリア）

発地分析（上位10位まで掲載）

2022年4月～2023年2月

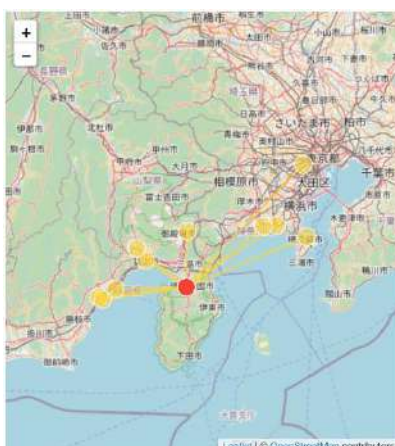
2023年4月～2024年2月

コメント

【伊豆の国市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	67,814	12.3%
静岡県静岡市葵区	45,885	8.3%
静岡県静岡市清水区	43,719	7.9%
静岡県静岡市駿河区	43,560	7.9%
静岡県富士宮市	31,043	5.6%
神奈川県藤沢市	30,256	5.5%
神奈川県横須賀市	25,408	4.6%
神奈川県茅ヶ崎市	23,797	4.3%
神奈川県小田原市	22,712	4.1%
静岡県浜松市中央区	21,983	4.0%



発地	来訪者数	シェア
静岡県富士市	62,751	14.2%
静岡県静岡市駿河区	31,783	7.2%
静岡県静岡市清水区	28,074	6.4%
静岡県静岡市葵区	28,065	6.4%
神奈川県藤沢市	27,275	6.2%
静岡県御殿場市	25,170	5.7%
静岡県富士宮市	20,931	4.7%
神奈川県茅ヶ崎市	20,875	4.7%
神奈川県横須賀市	20,120	4.6%
東京都世田谷区	19,199	4.4%

・1位は静岡県富士市で変化なし。割合は1.9ポイント増加した。

・静岡県静岡市駿河区が2位となったが、前年度と比べて0.7ポイント割合が小さくなった。

【伊豆市】



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	110,550	12.3%
静岡県富士市	95,208	10.6%
静岡県静岡市葵区	64,296	7.2%
静岡県静岡市清水区	58,936	6.6%
静岡県静岡市駿河区	57,308	6.4%
静岡県三島市	52,629	5.9%
神奈川県藤沢市	44,833	5.0%
静岡県富士宮市	44,496	5.0%
静岡県浜松市中央区	35,643	4.0%
静岡県裾野市	35,259	3.9%



発地	来訪者数	シェア
静岡県沼津市	84,037	10.9%
静岡県富士市	78,489	10.2%
静岡県三島市	53,380	6.9%
静岡県静岡市葵区	51,253	6.6%
静岡県静岡市清水区	50,843	6.6%
静岡県静岡市駿河区	48,858	6.3%
神奈川県藤沢市	40,069	5.2%
静岡県富士宮市	33,544	4.3%
静岡県裾野市	32,125	4.2%
静岡県浜松市中央区	31,199	4.0%

・上位2位の順位に変化なし。

・1位の静岡県沼津市は、前年度と比べて1.4ポイント割合が小さくなった。

・静岡県三島市が3位となり、前年度と比べて1.0ポイント割合が大きくなった。

静岡県データプラットフォーム分析（伊豆エリア）（まとめ）

【宿泊者の性別】

- 男女比では女性が51.18%となっており、男性を約11ポイント上回っている。
- 2022年4月～2023年2月と2023年度同期で、男女比率に大きな変化は見られない。

【宿泊者の居住地】

- 宿泊者の居住都道府県では東京都がトップとなっており、神奈川県、埼玉県と続く。
- 1～3位および6～10位は、2022年4月～2023年2月と2023年同期で同じ居住地となった。千葉県と静岡県の順位のみ入れ替わっている。

【宿泊日数・曜日別】

- 宿泊日数別宿泊者数の推移を見ると、2022年度は8月、11月、12月、2023年2月で1泊が最多となった。その他では2泊が最多となっている。2023年度は4月、5月、8月、9月、12月、2024年2月で1泊が最多。
- 曜日別の割合で見ると、2023年度は2022年度に比べて土曜の宿泊者が1.0ポイント減少している程度で大きな変化は見られない。

【宿泊者の年齢層】

- 宿泊者数を年代別に見ると、50代が最も多く、次いで60代、40代の順となっている。
- 2022年4月～2023年2月と2023年度同期で大きな変化は見られず、いずれも50代、60代、40代が多くなっている。

【旅行形態】

- 旅行形態別では、2022年4月～2023年2月と2023年度同期で大きな変化は見られない。
- 旅行形態別の月別推移でも、2022年4月～2023年2月と2023年度同期で大きな変化は見られない。ともに8月を除いて男女グループが最多となっている。8月は家族（子供連れ）が最多。

【人流】

- 伊豆エリア全体では、2022年4月～2023年2月と2023年度同期で大きな変化は見られない。
- 東伊豆では、2023年度は2022年度に比べて神奈川県藤沢市の割合が大きくなった。
- 南伊豆、西伊豆、中伊豆では、静岡県内からの来訪者の割合が大きい。特に沼津市や富士市からの来訪者が多かった。

- 伊豆半島全域を対象とした場合、1～2月を中心に全体数値は増加しているものの、宿泊・人流ともに前年同期と比べて属性・傾向での大きな変化は見られない。コロナ後の伊豆半島来訪観光客の観光動態・スタイルが一定程度固まってきたことがうかがえる。
- データプラットフォームで定量的な数値のモニタリングを行いながら、並行して観光消費額や消費傾向など質的な面をアンケート調査等で確認し、量と質の両面から動向を把握し、持続可能な観光に向けた課題抽出や機会の発見を行っていくことが引き続き重要。